見るマウス
操作説明書

Ver. 8.38

作者: topolo-Z

目次

概要

- はじめに
- 特徴
- 動作環境
- クリック操作の説明

インストール方法

- インストール

操作方法

- 起動方法
- 基本機能
- クリック操作の切り替え
- 頻繁にクリック操作を使い分ける場合
- アプリの拡大/縮小
- 拡大鏡の切り替え
- タッチ キーボードの切り替え
- ショートカットの実行と切り替え
- ウィンドウの展開/折りたたみ
- ウィンドウの再表示
- 終了方法

目次

見るマウスの設定

- 設定画面を開く
- 速度の調節
- 入力方式
- ゲーム コントローラー
- 一時停止
- サウンド
- スクロール
- クリック操作
- 補助操作
- キーボード
- ショートカット
- 独自のショートカットの追加
- 見たときにのみキーを押す
- 定型句の追加
- 他のアプリのショートカット
- SwitchBot ボット
- SwitchBot プラグミニ
- 個別のウィンドウ
- ウィンドウの表示
- 起動方法
- 新しいバージョンの確認
- 簡易モード
- プロファイル

目次

その他の機能

- 視線追跡のキャリブレーション
- ウィンドウの縦置き
- ウィジェット
- 通知センターと予定表
- ユーザー アカウント制御
- ゲーム中のカメラ移動
- ゲーム中のポインターの移動
- ゲーム中のクリック操作
- ゲーム中のマウス操作の停止
- ゲーム コントローラーの代替
- 実際のマウスとの併用
- 視線追跡の停止
- マウス ポインターを隠す
- 見るマウスの固有のショートカット キー
- 他言語対応
- ハイ コントラスト対応

目次

ヒント

- ボタン等が小さすぎる場合
- Tobii Core Software のアップグレード
- SSML または SAPI TTS XML の使用
- スワイプによる文字入力の使用
- 50 音配列のキーボードの使用
- 他の PC の遠隔操作
- 視線/頭部追跡装置無しでの使用

Windows の視線制御

- 設定
- 使用方法
- 終了方法

特記事項

- アンインストール
- 既知の問題
- 制限事項とサード パーティに関する通知
- 作者への連絡先

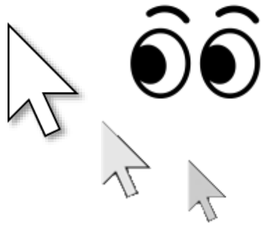
付録

- ショートカット キー

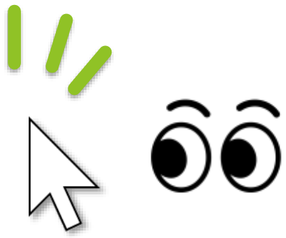
はじめに

この度は、本アプリ「見るマウス」のご利用ありがとうございます。

見るマウスは、Tobii Eye Tracker 4C 等の視線追跡によってマウス制御を行います。



見ている所に
ポインターが移動します。

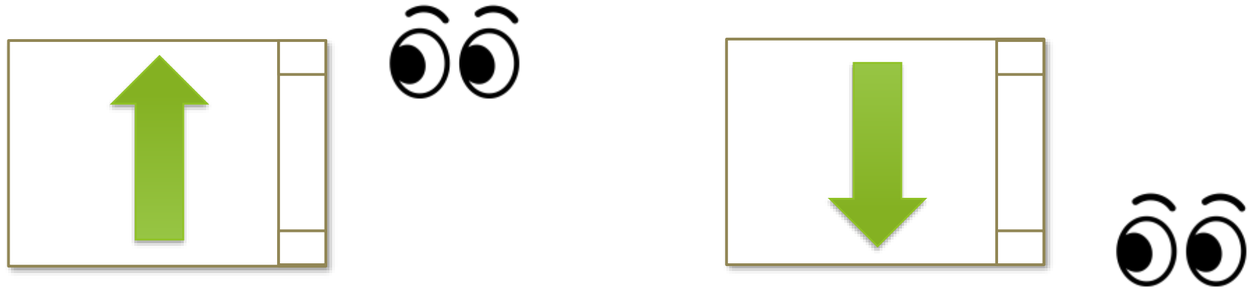


同じ所を見続けるか
目を閉じるとクリックします。

特徴

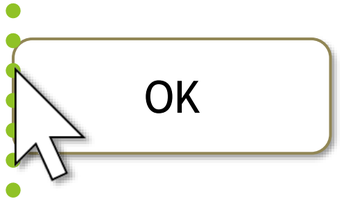
スクロール操作に対応

スタート メニューや Web ブラウザー等のスクロール操作に対応しています。上の方を見ると上にスクロールし、下の方を見ると下にスクロールします。



視線のブレへの対応

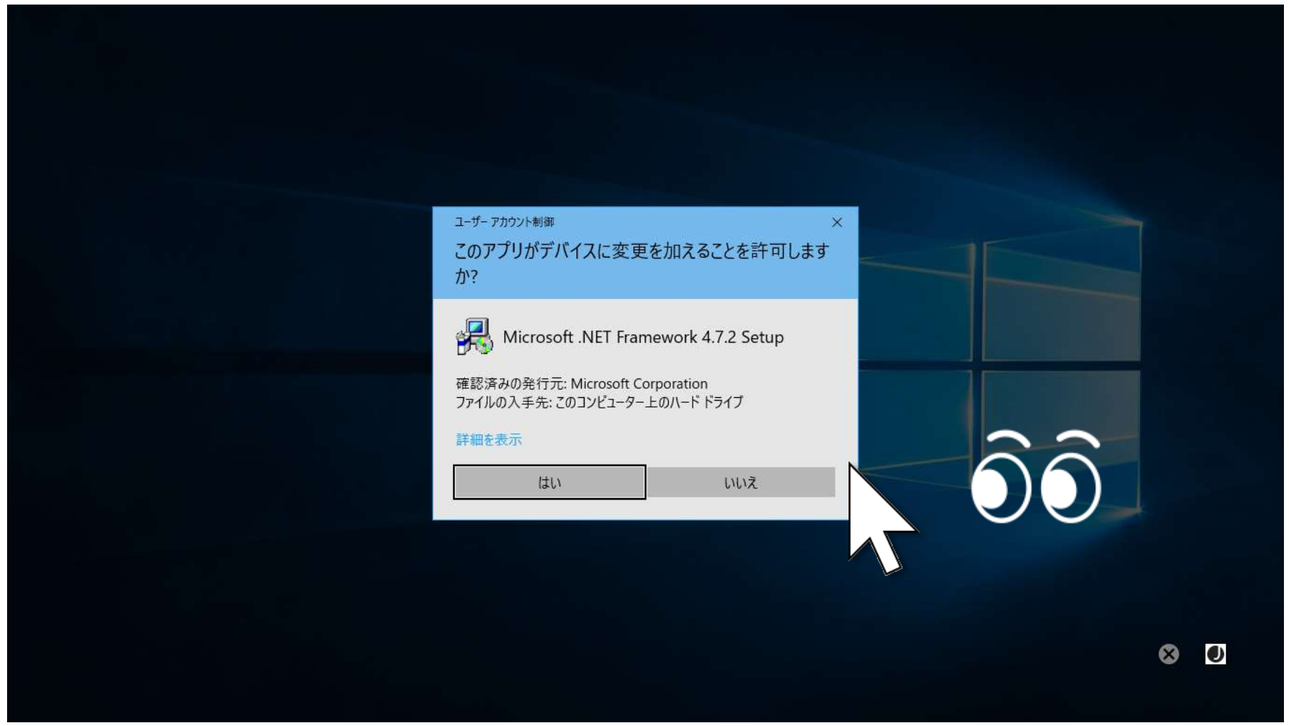
ボタン等をクリックしやすくするため、マウス ポインターが枠に少し「引っかかる」ように制御しています。



特徴

- **ユーザー アカウント制御画面に対応**

  アプリのインストールやアプリを管理者として実行するときに表示される、ユーザー アカウント制御の画面も視線追跡でクリックできます。



動作環境

見るマウスを使用するには、以下のいずれかの組み合わせが必要です。

- **視線追跡及び頭部追跡**

装置	OS	ソフトウェア
Tobii Eye Tracker 5	Windows 11, Windows 10	Tobii Experience

動作環境

(続き)

- **視線追跡**

装置	OS	ソフトウェア
Tobii Eye Tracker 4C	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7	Tobii Experience (Windows 10 のみ) または Tobii Eye Tracking Core Software
Tobii EyeX, SteelSeries Sentry	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7	Tobii Eye Tracking Core Software
Irisbond Duo	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7	Irisbond Duo Drivers
EyeTech TM5	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7	(追加のソフトウェアは不要)

動作環境

(続き)

- **頭部追跡**

装置	OS	ソフトウェア
TrackIR 5	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7	OptiTrack Camera SDK 及び TrackIR Software
SmartNav 4	Windows 8, Windows 7	OptiTrack Camera SDK 及び TrackIR Software
PC の組み込みのカメラ, Web カメラ	Windows 11, Windows 10	Beam Eye Tracker
OpenTrack が対応している装置	Windows 11, Windows 10, Windows 8.1, Windows 7	OpenTrack

動作環境

(続き)

- **頭部追跡及び表情追跡**

装置	OS	ソフトウェア
PC の組み込みのカメラ, Web カメラ	Windows 11, Windows 10, Windows 8.1	VSeeFace または OpenSeeFace
A12 Bionic チップ以降を搭載した iPhone, iPad	–	waidayo または VTube Studio または Facemotion3d または iFacialMocap または Live Link Face
Android スマートフォン, タブレット	–	VTube Studio または MeowFace

※ スマートフォンまたはタブレットのカメラを利用することにより、見るマウスをインストールした Windows PC を頭部追跡で操作できます。スマートフォンまたはタブレット自体を頭部追跡で操作可能にするわけではありません。

クリック操作の説明

見るマウスの設定により、以下の入力方式を選ぶことができます。

1. 同じ場所を見続けたときにクリックする
2. 目を閉じたときにクリックする
3. ゲーム コントローラーのボタンを押したときにクリックする
4. マイクに向かって何か話したときにクリックする
5. 頭部追跡を使用する
6. 表情追跡を使用する

初期設定は 1. です。この操作説明書では 1. を基本に記載しています。

2. を選んだ場合の操作については、この操作説明書の “見続けたとき” の記載を “見て目を閉じたとき” に読み替えてください。同様に、
3. を選んだ場合は “見ながらゲーム コントローラーのボタンを押したとき”、
4. を選んだ場合は “見ながらマイクに向かって何か話したとき”、
5. を選んだ場合は “見ながら頭の向きを変えたとき”、
6. を選んだ場合は “見ながら眉を上げたとき” や “見ながら口を開けたとき” などにそれぞれ読み替えてください。

インストール

見るマウスの ZIP ファイルを適当な場所に展開してください。

Mill Mouse フォルダーと、その中の以下の 2 つのファイルが展開されます。

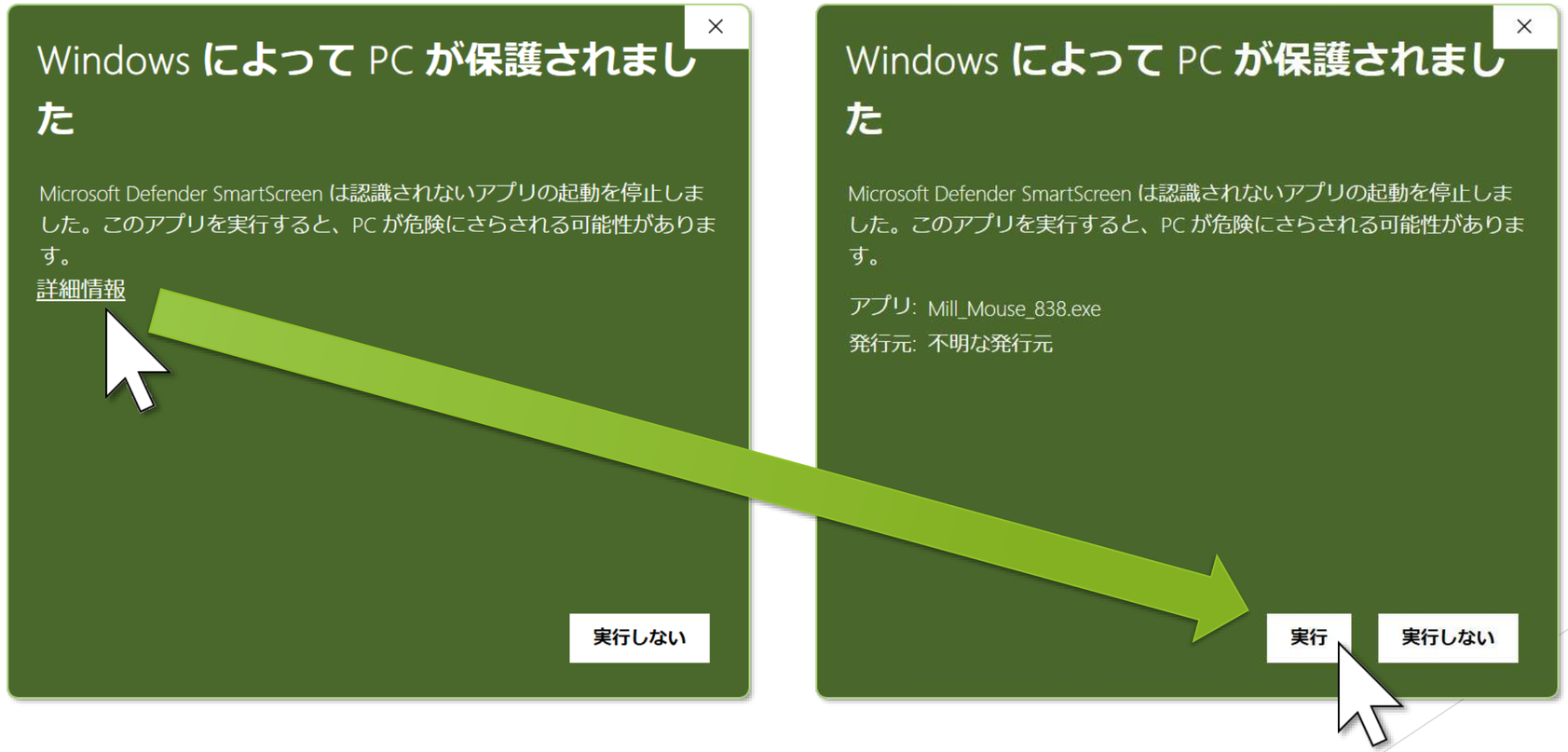
Mill_Mouse_838.exe	インストーラー
操作説明書.pdf	このファイル

※ .exe や .pdf という表示がされない場合もあります。

インストール

Mill_Mouse_838.exe を実行してください。

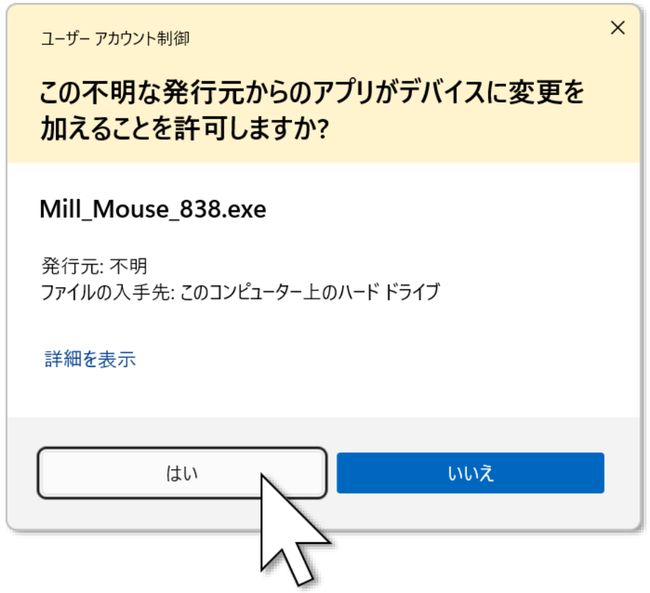
以下のような SmartScreen の画面が表示された場合は [詳細情報] をクリックして [実行] をクリックしてください。



※ 見るマウスをインストール済みの場合、[発行元] は「topolo-Z」と表示されます。

インストール

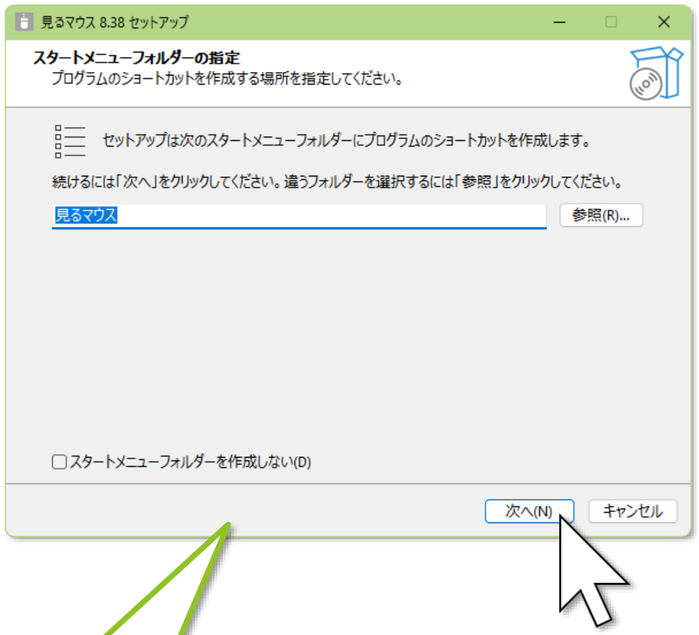
ユーザー アカウント制御の画面で [はい] をクリックしてください。

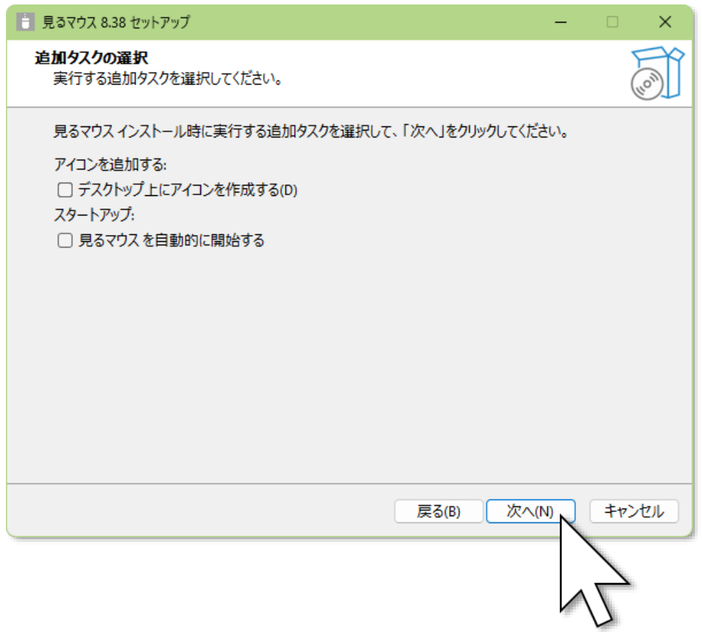


※ 見るマウスをインストール済みの場合、[発行元] は「topolo-Z」と表示されます。
※ Windows の標準アカウントをお使いの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力する必要があります。

インストール

[次へ]→[次へ] をクリックしてください。





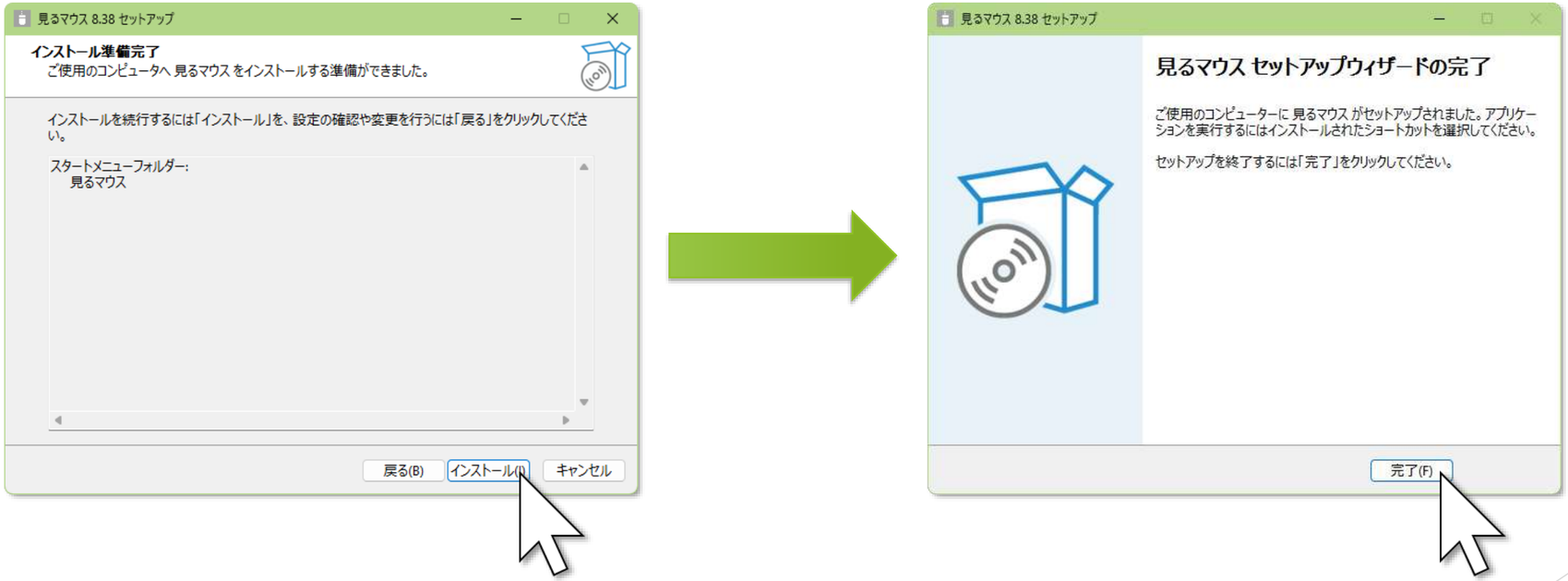
見るマウスをインストール済みの場合、
この画面は表示されません。

インストール

[インストール] をクリックして、[完了] をクリックしてください。

Windows から一度サインアウトして、サインインし直してください。

見るマウスのインストールはこれで完了です。



Tobii Experience のインストール

視線追跡装置として Tobii Eye Tracker 5 を使用する場合で、かつ Tobii Experience をまだインストールしていない場合は、以下の手順でインストールしてください。

1. 以下の URL へ移動します。
   https://gaming.tobii.com/getstarted/?bundle=tobii-et5
2. 画面を少し下へスクロールします。[DOWNLOAD DRIVER] をクリックしてインストーラーをダウンロードして、実行します。
3. Tobii Eye Tracker 5 を PC に接続します。
4. タスク バーの通知領域のアイコン をクリックします。
5. Tobii Experience の画面が開くので、右上の歯車アイコンをクリックして [画面を設定] をクリックして、画面の指示に従って設定を行います。

Tobii Core Software のインストール

視線追跡装置として Tobii Eye Tracker 4C、Tobii EyeX、または SteelSeries Sentry を使用する場合で、かつ Tobii Eye Tracking Core Software をまだインストールしていない場合は、以下の URL からダウンロードしてインストールしてください。

https://gaming.tobii.com/getstarted/?bundle=tobii-core&autodownload=true

Irisbond Duo Drivers のインストール

視線追跡装置として Irisbond Duo を使用する場合で、かつ Irisbond Duo Drivers をまだインストールしていない場合は、以下の URL から [Drivers] の [Download] をクリックして、ダウンロードしてインストールしてください。

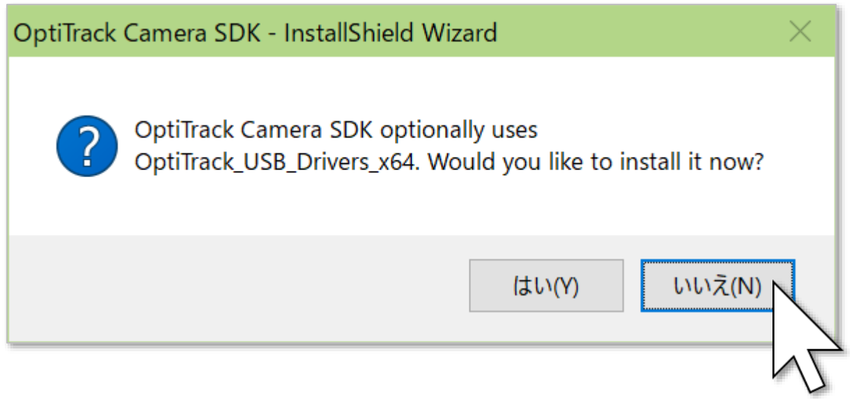
https://www.irisbond.com/en/support-service/downloads/

OptiTrack Camera SDK のインストール

頭部追跡装置の TrackIR 5 または SmartNav 4 を使用する場合で、かつ OptiTrack Camera SDK をまだインストールしていない場合は、以下の URL へ移動してください。
https://www.optitrack.com/support/downloads?cat=developer-tools

[Camera SDK] の [Download] をクリックして、[Choose your Version] のドロップダウンリストを開いて下へスクロールし、[Camera SDK 2.3.7] を選択して [Download] をクリックして、ダウンロードしたファイルを実行してください。

実行して [Install] をクリックした後、以下の画面が表示されたら [いいえ] をクリックして、OptiTrack_USB_Drivers_x64 はインストールしないでください。その後は画面の手順に従って、OptiTrack Camera SDK をインストールしてください。



また、TrackIR Software をまだインストールしていない場合は、以下の URL から [Download] をクリックして、ダウンロードしてインストールしてください。
https://www.trackir.com/downloads/

見るマウスを起動したら、本書 P.74 または P.75 の設定をしてください。

Beam Eye Tracker のインストール

Beam Eye Tracker を使用する場合は、Beam Eye Tracker をインストール後に以下の設定をしてください。

1. Beam Eye Tracker の設定画面を開き、[トラッカー] をオンにします。
2. 画面左側の [イマーシブカメラ] を選択します。もし画面上部に [詳細コントロールを表示] がある場合は、それをクリックします。
3. もし視線追跡と頭部追跡を組み合わせて使用する場合は、[目の動きへのカメラ反応] の [水平] と [垂直] をオンにします。もし頭部追跡のみを使用する場合は、[目の動きへのカメラ反応] の [水平] と [垂直] をオフにします。
4. 画面左側の [ゲーム接続] を選択します。[Beam がゲームと通信する方法を選択] に [頭部トラッキング デバイスエミュレーション] を選択して、[ドライバー] に [互換] または [最適化] を選択します。

※ 上記は Beam Eye Tracker v2.6.3 以降での手順です。もし Beam Eye Tracker v2.4.5 またはそれよりも前のバージョンを使用する場合は、https://beam.eyeware.tech/opentrack/ の「[Legacy] Beam Eye Tracker v2.4.5 and older: Opentrack Setup Guide」の手順を実施してください。

OpenTrack のインストール

OpenTrack を使用する場合は、以下の手順でインストールしてください。

1. 以下の URL へ移動します。
   https://github.com/opentrack/opentrack/releases
2. [Assets] の下の opentrack-～-setup.exe をダウンロードして、インストールします。
3. OpenTrack を起動して、[Input] にお使いになる装置を選択します。
4. [Output] に [freetrack 2.0 Enhanced] を選択し、その右のアイコンをクリックして、[Select interface] に [Enable both] または [Use freetrack, disable TrackIR] を選択して [OK] ボタンを押します。
5. [Start] ボタンを押します。

VSeeFace のインストール

VSeeFace を使用する場合は、以下の手順でインストールしてください。

1. 以下の URL から [Download] をクリックして、ZIP ファイルをダウンロードします。
   https://www.vseeface.icu/#download
2. ダウンロードした ZIP ファイルを適当な場所に展開します。
3. 展開したフォルダー内にある VSeeFace.exe を実行します。
4. チュートリアルを進めて、[ウェブカメラ] を選択し、[スタート] をクリックします。
5. [設定] > [一般設定] > [顔のトラッキング] にチェックを付けます。設定画面を下へスクロールして、[VMCプロトコルで送信する] にチェックを付けます。
6. [ミラーモード] を有効にします。この設定は必須ではありませんが、有効にした方がより直感的にマウス ポインターを移動させることができます。
7. 見るマウスの [目を閉じたときにクリックする] を使用する場合は、VSeeFace の [設定] > [表情設定] > [まばたきのトラッキング] にチェックを付けます。
8. 見るマウスを起動したら、本書 P.76～80 の設定をします。見るマウスの [口を開けたときにクリックする] または [口を閉じたときにクリックする] を使用する場合は、VSeeFace の [設定] > [表情設定] > [口のトラッキング] にチェックを付けます。

OpenSeeFace のインストール

OpenSeeFace を使用する場合で、かつ OpenSeeFace も VSeeFace もまだダウンロードしていない場合は、以下の URL から [Assets] の下の OpenSeeFace-v～.zip をダウンロードして、ダウンロードした ZIP ファイルを適当な場所に展開してください。

https://github.com/emilianavt/OpenSeeFace/releases

見るマウスを起動したら、本書 P.76～80 の設定をしてください。

※ OpenSeeFace は VSeeFace に組み込まれているため、もし VSeeFace を既にダウンロード済みの場合、OpenSeeFace を上記の URL からダウンロードする必要はありません。

waidayo のインストール

waidayo を使用する場合は、以下の手順でインストールしてください。

1. iPhone または iPad で App Store を開き、waidayo を検索して、[入手] をタップしてインストールします。
2. waidayo を起動します。iPhone または iPad を縦向きにして、左上のアイコン をタップします。
3. [General] > [Auto Device Search] を ON にします。[Face Tracking] > [Face Tracking Mode] の [Face Position + Rotation] または [Face Rotation Only] をタップします。タップした項目に小さい ○ が表示されます。
4. [Face Tracking] > [Mirroring] を OFF にします。この設定は必須ではありませんが、OFF にした方がより直感的にマウス ポインターを移動させることができます。
5. iPhone または iPad を Wi-Fi ネットワークへ接続します。見るマウスをインストールした Windows PC を、同じ Wi-Fi ネットワークへ接続します。
6. Windows PC で見るマウスを起動したら、本書 P.76～80 の設定をします。
7. もし頭部追跡でマウス ポインターが移動しない場合は、waidayo の [General] > [Auto Device Search] を一度 OFF にして、再度 ON にしてください。

VTube Studio のインストール

VTube Studio を使用する場合は、以下の手順でインストールしてください。

1. iPhone または iPad をお使いの場合は App Store を開き、VTube Studio を検索して、[入手] をタップしてインストールします。
   Android スマートフォンまたはタブレットをお使いの場合は Play ストアを開き、VTube Studio を検索して、[インストール] をタップしてインストールします。
2. VTube Studio を起動します。左側の歯車アイコン をタップします。
3. 画面を一番下へスクロールして、[サードパーティーPCクライアント] を [アクティブ] にします。
4. iPhone/iPad または Android スマートフォン/タブレットを Wi-Fi ネットワークへ接続します。見るマウスをインストールした Windows PC を、同じ Wi-Fi ネットワークへ接続します。
5. Windows PC で見るマウスを起動したら、本書 P.76～80 の設定をします。

Live Link Face のインストール

Live Link Face を使用する場合は、以下の手順でインストールしてください。

1. iPhone または iPad で App Store を開き、Live Link Face を検索して、[入手] をタップしてインストールします。
2. iPhone または iPad を Wi-Fi ネットワークへ接続します。見るマウスをインストールした Windows PC を、同じ Wi-Fi ネットワークへ接続します。
3. Live Link Face を起動します。キャプチャモードを選択する画面が表示されたら、[Live Link (ARKit)] をタップして、[続行] をタップします。
4. 左上の歯車アイコンをタップします。[頭部の向き] をタップして有効化します。
5. [ストリーミング] の下の [Live Link] をタップします。[ターゲット追加] をタップして、見るマウスをインストールした Windows PC の IP アドレスを入力し、右上の [追加] をタップします。左上の [設定] をタップして、右上の [完了] をタップします。
6. Windows PC で見るマウスを起動したら、本書 P.76～80 の設定をします。見るマウスの [ポート] には 11111 を設定します。

※ 見るマウスは Android の Live Link Face には対応していません。

MeowFace のインストール

MeowFace を使用する場合は、以下の手順でインストールしてください。

1. Android スマートフォンまたはタブレットで Play ストアを開き、MeowFace を検索して、[インストール] をタップしてインストールします。
2. MeowFace を起動します。
3. 見るマウスの [目を閉じたときにクリックする] を使用する場合は、MeowFace の画面を下へスクロールして、[eyeBlink_L] の [Weight] の右隣の数値をタップし、数値を 2.0 へ変更します。同様に [eyeBlink_R] の [Weight] も 2.0 へ変更します。
4. Android スマートフォンまたはタブレットを Wi-Fi ネットワークへ接続します。見るマウスをインストールした Windows PC を、同じ Wi-Fi ネットワークへ接続します。
5. Windows PC で見るマウスを起動したら、本書 P.76～80 の設定をします。

操作方法

起動方法

Tobii Eye Tracker 4C 等の視線/頭部追跡装置を PC に接続した状態で、スタートメニュー→「見るマウス」フォルダー→「見るマウス」をクリックしてください。

見るマウスが起動して、デスクトップ画面の左上にウィンドウが表示されます。

※ ウィンドウの右側のボタンの数は、デスクトップ画面の大きさによって変わります。

※ タスク バーを上または左に配置している場合は、右下にウィンドウが表示されます。

基本機能

それぞれの機能は以下のとおりです。

①	クリック操作の切り替え
②	アプリの拡大/縮小
③	拡大鏡の切り替え
④	タッチ キーボードの切り替え

⑤	ショートカットの実行と切り替え
⑥	ウィンドウの展開/折りたたみ

クリック操作の切り替え

同じ所を見続けたときのクリック操作を切り替えることができます。

ウィンドウの左端のボタンを見る度に、操作が切り替わります。

初期設定ではクリック、ダブルクリック、ドラッグ、右クリック、タップ、選ぶ、クリックなしの 7 種類の操作に切り替えられます。

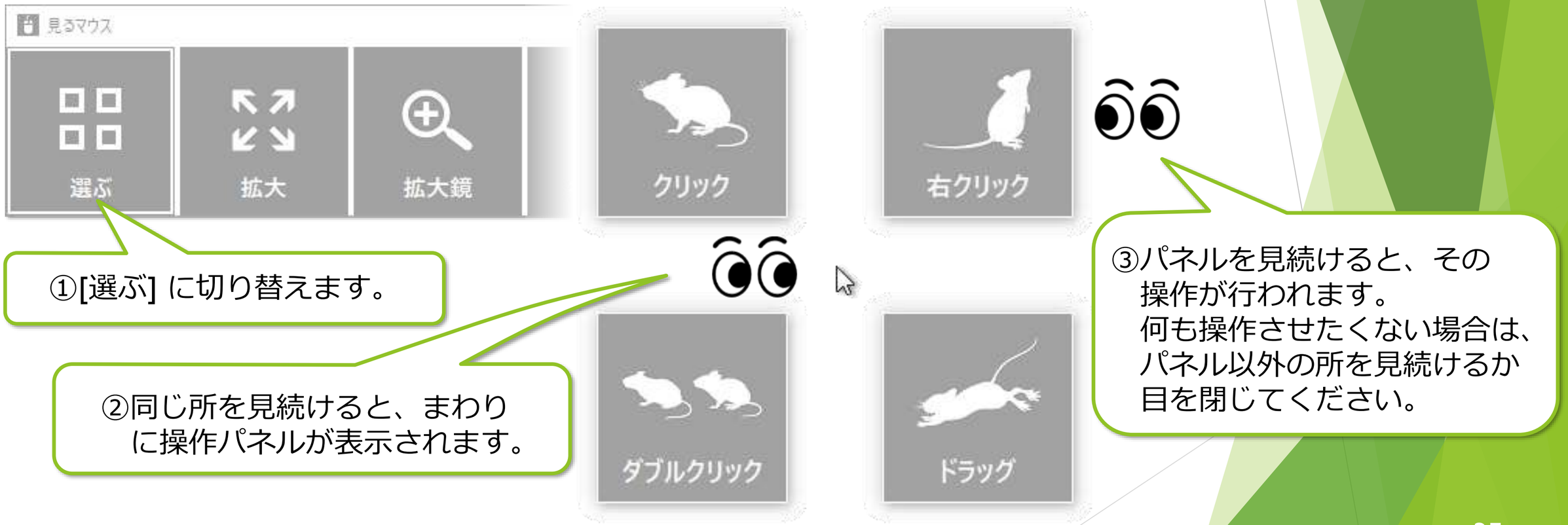
見るマウスの設定で、特定の操作のみを使うようにすることもできます。

※ Windows 7 ではタップに対応していません。

※ マウスの [主と副のボタンを切り替える] が有効な場合は、右クリックではなく左クリックになります。

頻繁にクリック操作を使い分ける場合

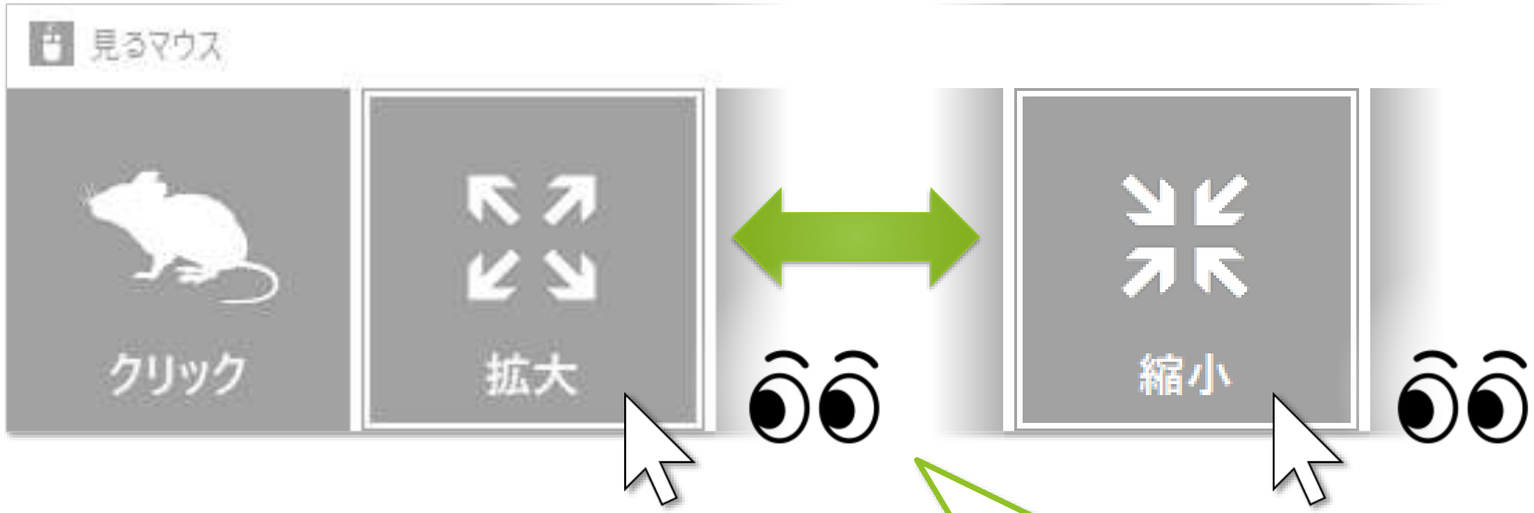
クリック操作を [選ぶ] に切り替えることで、同じ所を見続けたときにその都度操作を選ぶことができます。



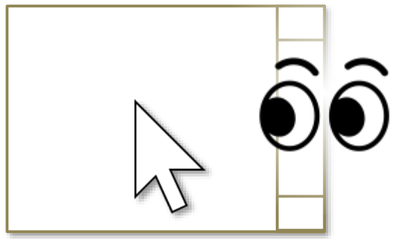
※ タッチ キーボードまたはスクリーン キーボード上のキーを見続けた場合は、操作パネルを表示せずにクリックを行います。

アプリの拡大/縮小

ウィンドウの左から 2 番目の [拡大] または [縮小] を使って、Web ブラウザー等の拡大/縮小ができます。



①[拡大] または [縮小] に切り替えます。



②Web ブラウザー等の同じ所を見続けると、拡大/縮小が行われます。

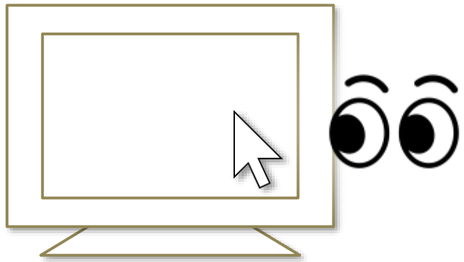
③拡大/縮小をやめる場合は、見るマウスのウィンドウの左側の、クリック操作に切り替えてください。

※ アプリによっては、拡大/縮小に対応していない場合があります。

拡大鏡の切り替え

ウィンドウの左から 3 番目の [拡大鏡] を使って、デスクトップ画面を拡大表示してからクリック操作を行うことができます。

①[拡大鏡] を見て、機能を有効化します。



②クリック操作を行いたい場所を見続けると、その付近が拡大表示されます。

③拡大表示中に更に同じ所を見続けると、クリック操作を行います。

④拡大鏡の使用をやめる場合は、再度 [拡大鏡] を見てください。

※ Windows 7 では Windows Aero が有効な場合のみ拡大鏡を利用できます。

タッチ キーボードの切り替え

ウィンドウの左から 4 番目の [キーボード] を見るとタッチ キーボードの表示/非表示を切り替えることができます。

見るマウスの設定で、タッチ キーボードの代わりにスクリーン キーボードを使うようにすることもできます。

※ Windows 7 Home Basic ではタッチ キーボードは利用できません。

ショートカットの実行

ウィンドウの右側のボタンを見ると、Ctrl+X や Ctrl+V のショートカット キー等、それぞれに割り当てられたショートカットを実行することができます。

ウィンドウに表示するショートカットは、設定で変えることができます。

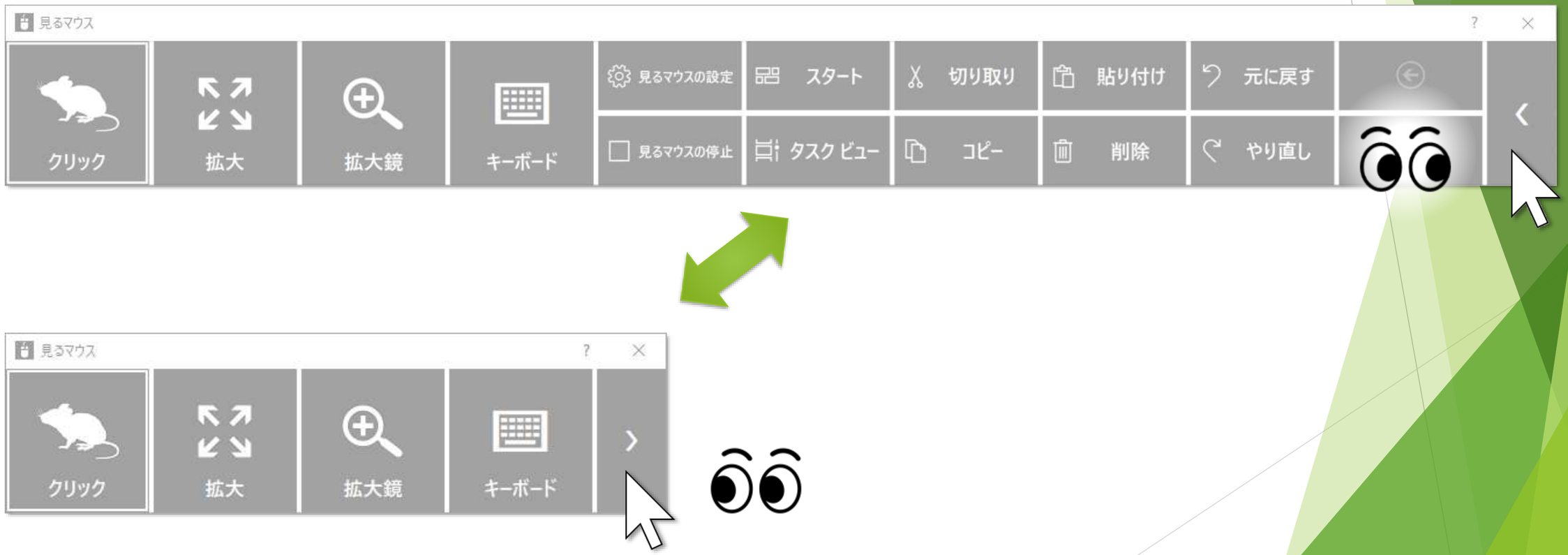
※ Windows 8.1, Windows 7 では、ショートカットのアイコンを表示しません。

ショートカットの切り替え

ショートカットは最大 20 個設定できます。ウィンドウには、デスクトップ画面に収まる範囲の個数を表示します。右から 2 番目のボタンを見ることで、デスクトップ画面に収まらなかったショートカットを表示させることができます。

ウィンドウの展開/折りたたみ

ウィンドウの右端のボタンを見ると、ウィンドウを折りたたんだり、展開したりすることができます。



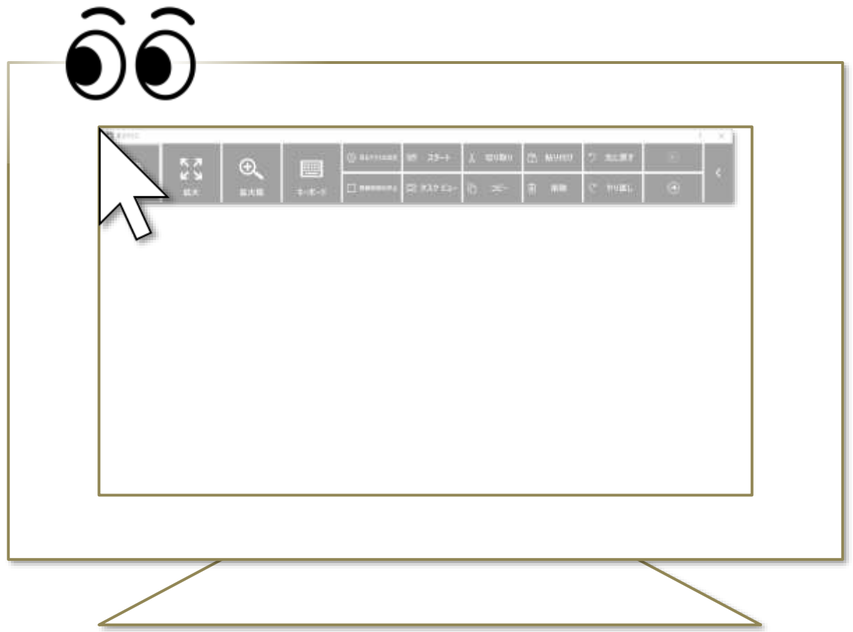
※ ウィンドウの右端のボタンの、その更に右端の枠をドラッグすると、ウィンドウの幅を調整することができます。

ウィンドウの再表示

初期設定では、しばらくするとウィンドウが非表示になります。

再表示させるには、デスクトップ画面の左上隅を見てください。

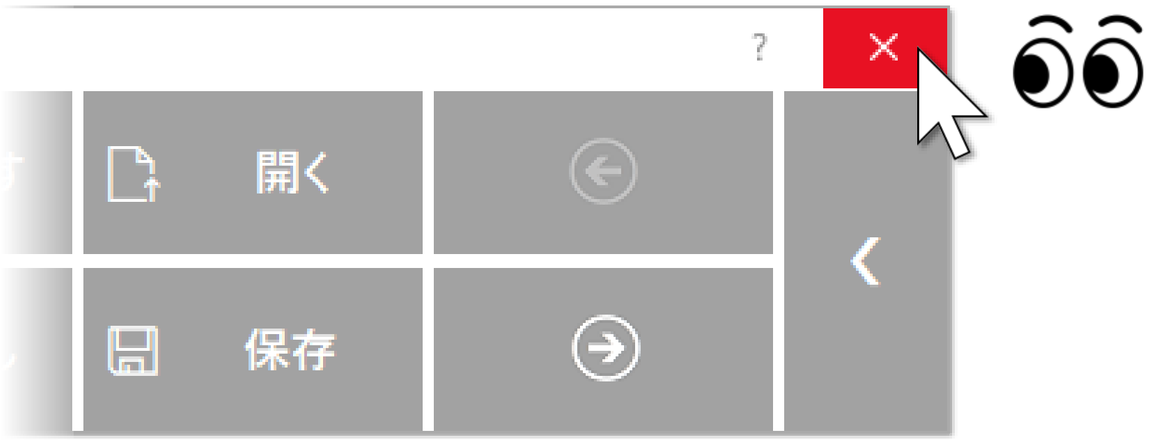
うまく再表示できない場合は、ディスプレイの外枠を見るとうまくいきます。



※　タスク バーを上または左に配置している場合は、画面の右下隅を見てください。
※　ウィンドウを自動的に非表示にするかどうかと、再表示させる位置は、設定で変えることができます。

終了方法

ウィンドウの右上の × ボタンを見ると、終了します。



見るマウスの設定

見るマウスの設定 - 設定画面を開く

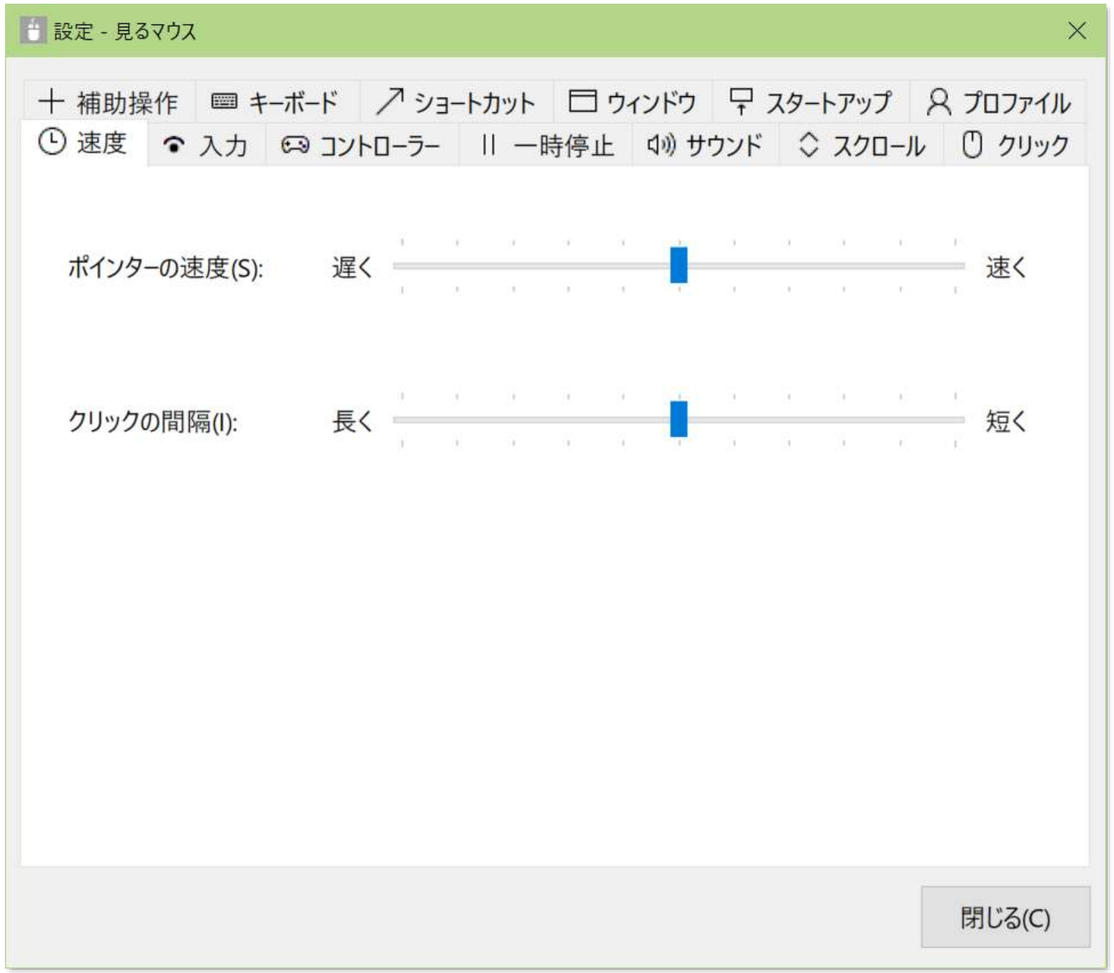
ウィンドウに [見るマウスの設定] のショートカットを表示している場合は、それを見ることで設定画面を開いて、見るマウスの設定を変更することができます。

[見るマウスの設定] が無い場合は、ウィンドウのタイトル バーを見続けるとメニューが表示されるので、メニューの [設定] を見続けることで設定画面を開くことができます。

※ ゲームを全画面表示でプレイ中は、メニューが表示されない場合があります。

見るマウスの設定 - 速度の調節

設定画面の [速度] タブで、速度の調節ができます。



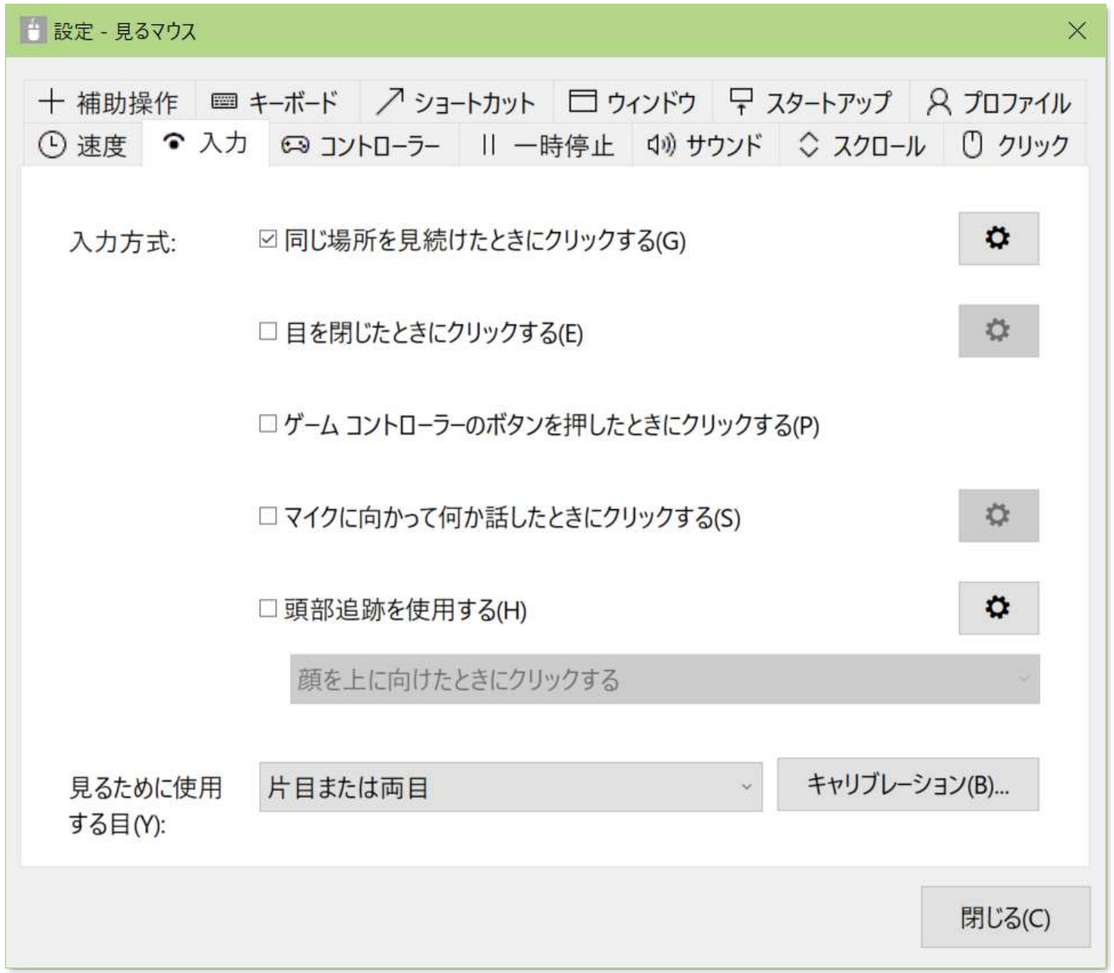
見るマウスの設定 - 速度の調節

後述の [入力] タブの [入力方式] の設定によって、[速度] タブの [クリックの間隔] は以下のように意味合いが変わります。

[入力] タブの [入力方式]	**[速度] タブの [クリックの間隔] の意味合い**
[同じ場所を見続けたときにクリックする] を選んだ場合	どのくらいの間、同じ場所を見続けたらクリック操作を行うか
[目を閉じたときにクリックする] を選んだ場合	どのくらいの間、目を閉じ続けたらクリック操作を行うか
[ゲーム コントローラーのボタンを押したときにクリックする] を選んだ場合	効果なし
[マイクに向かって何か話したときにクリックする] を選んだ場合	話し続けたときに、どのくらいの間隔でクリック操作を行うか
[頭部追跡を使用する] を選んだ場合	効果なし

見るマウスの設定 - 入力方式

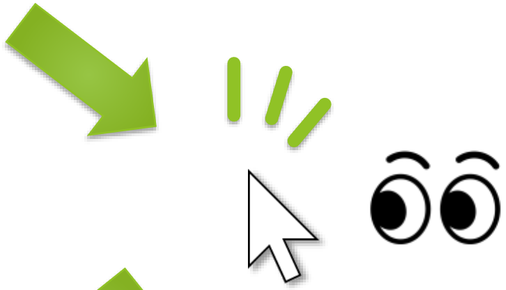
設定画面の [入力] タブで、クリック操作の入力方式を変えることができます。



見るマウスの設定 - 入力方式

[同じ場所を見続けたときにクリックする] にチェックを付けると、同じ場所を見続ける度にクリック操作が行われます。もし同じ場所を見続けたときにクリックさせたくない場合は、見るマウスのウィンドウの左端のボタンを [クリックなし] に切り替えてください。

①クリック操作を切り替えます。

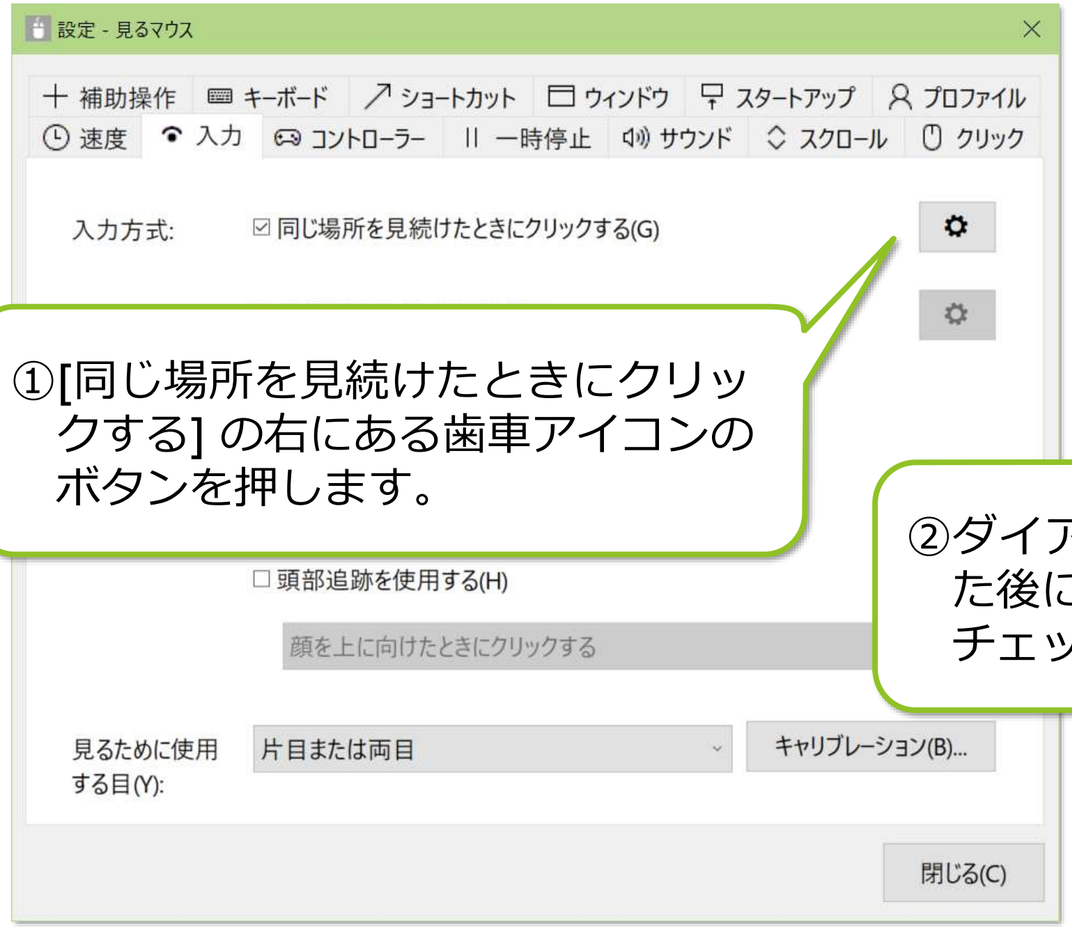


②同じ場所を見続ける度に、クリック操作が行われます。

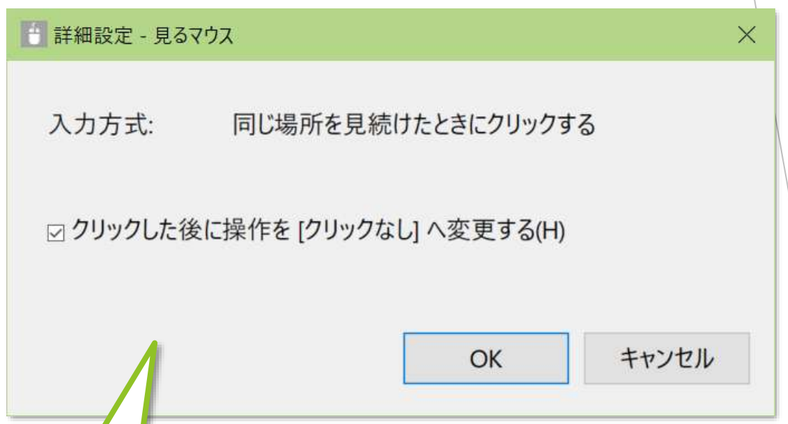
③クリック操作をやめる場合は、[クリックなし] に切り替えてください。

見るマウスの設定 - 入力方式

同じ場所を見続けてクリックした後に [クリックなし] へ自動的に切り替わるように、設定することができます。



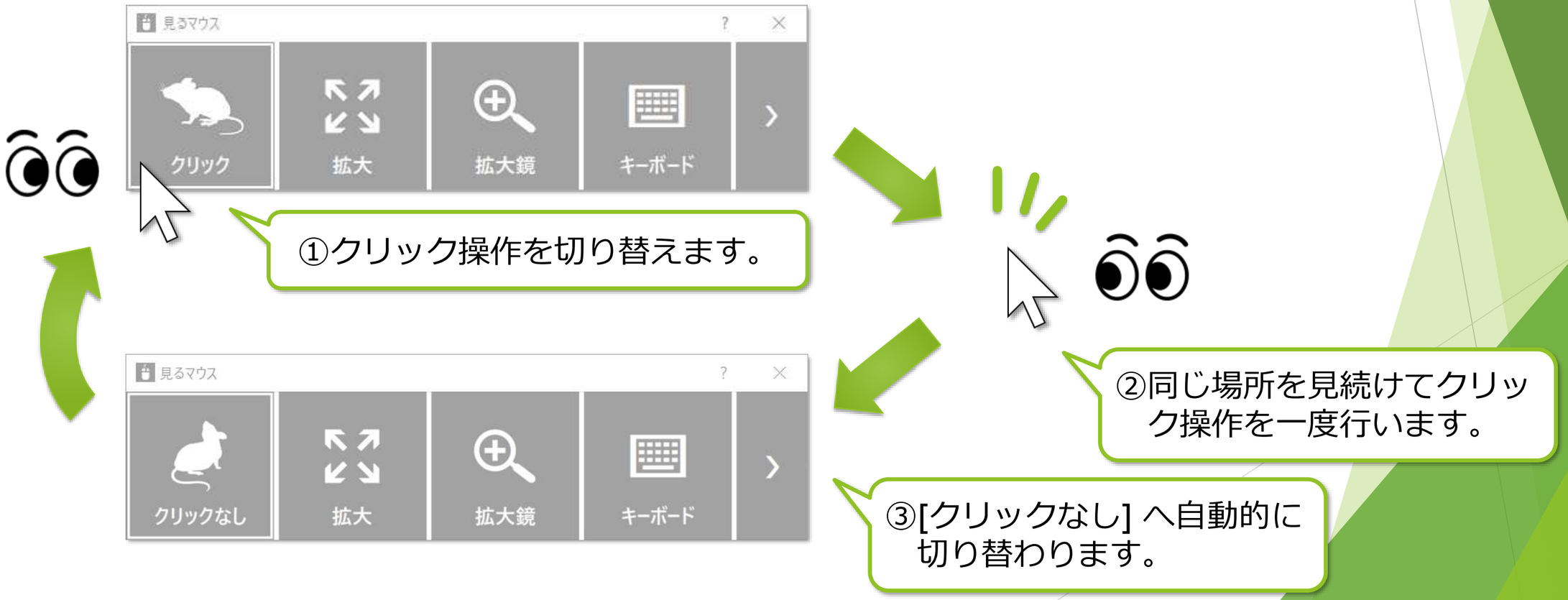
①[同じ場所を見続けたときにクリックする] の右にある歯車アイコンのボタンを押します。



②ダイアログが表示されるので、[クリックした後に操作を [クリックなし] へ変更する] にチェックを付けて、[OK] ボタンを押します。

見るマウスの設定 - 入力方式

(続き)
[クリックした後に操作を [クリックなし] へ変更する] にチェックを付けると、同じ場所を見続けてクリック操作を一度行った後に、見るマウスのウィンドウの左端のボタンが [クリックなし] へ自動的に切り替わります。



見るマウスの設定 - 入力方式

(続き)

[クリックした後に操作を [クリックなし] へ変更する] にチェックを付けた場合、例外として以下のウィンドウを見続けてクリックした後には [クリックなし] へ自動的に切り替わりません。

- 見るマウスのメイン ウィンドウ、設定画面、または個別のウィンドウ
- タッチ キーボード、またはスクリーン キーボード
- マウス操作でカメラを移動させるようなゲームの画面

見るマウスの設定 - 入力方式

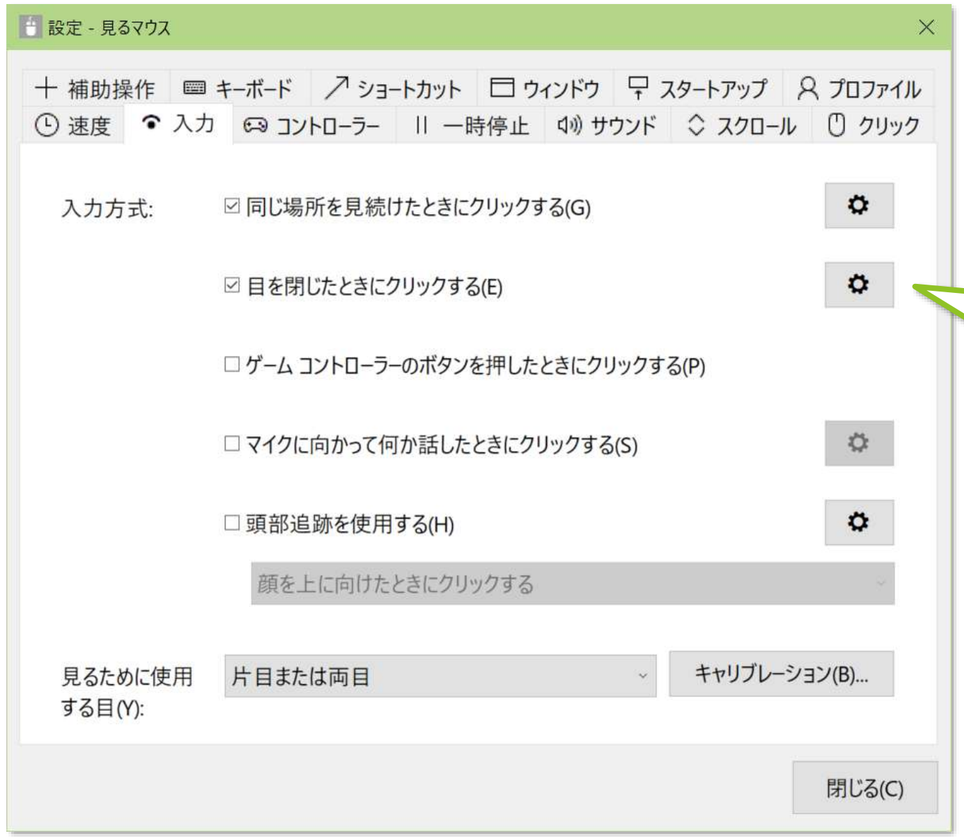
[入力] タブで [目を閉じたときにクリックする] にチェックを付けると、片目または両目を閉じたときにクリック操作が行われます。[見るために使用する目] の設定よって、どの目を閉じたときにクリック操作を行うかが変わります。

[見るために使用する目]	**どの目を閉じたときにクリック操作を行うか**
[常に両目] を選んだ場合	左目または右目を閉じたとき
[片目または両目] を選んだ場合	両目を閉じたとき
[左目] を選んだ場合	左目を閉じたとき
[右目] を選んだ場合	右目を閉じたとき

※ VSeeFace、iPhone/iPad または Android スマートフォン/タブレットをお使いの場合、上記はアバターにとっての左目及び右目に対応します。
※ VSeeFace の [まばたきを同期] が有効な場合は、見るマウスの [見るために使用する目] には [片目または両目] を選択してください。

見るマウスの設定 - 入力方式

目を閉じたときに行うクリック操作は、変えることができます。

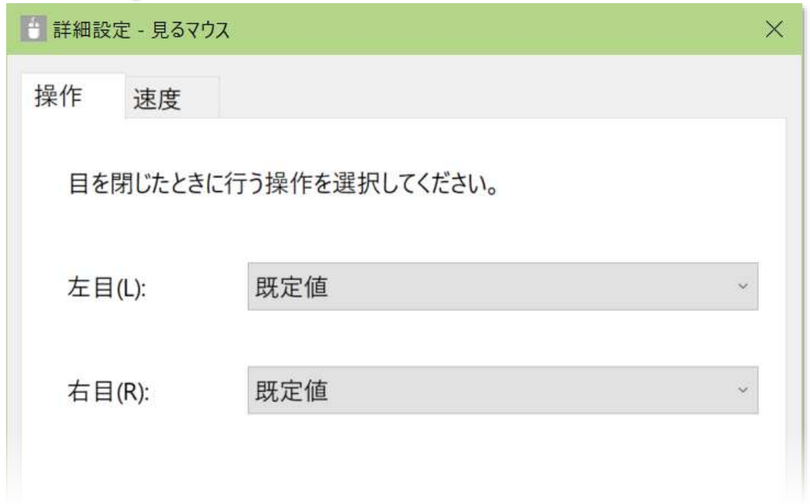


①[目を閉じたときにクリックする] にチェックを付けて、その右にある歯車アイコンのボタンを押します。

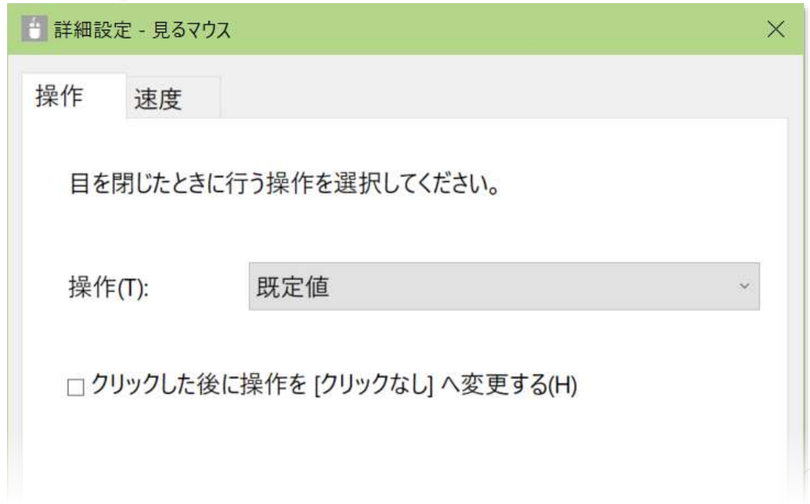
見るマウスの設定 - 入力方式

(続き)

②[見るために使用する目] が [常に両目] の場合は、左目と右目のそれぞれに対して操作を選択するダイアログが表示されます。
[見るために使用する目] が [常に両目] 以外の場合は、操作を 1 つ選択するダイアログが表示されます。



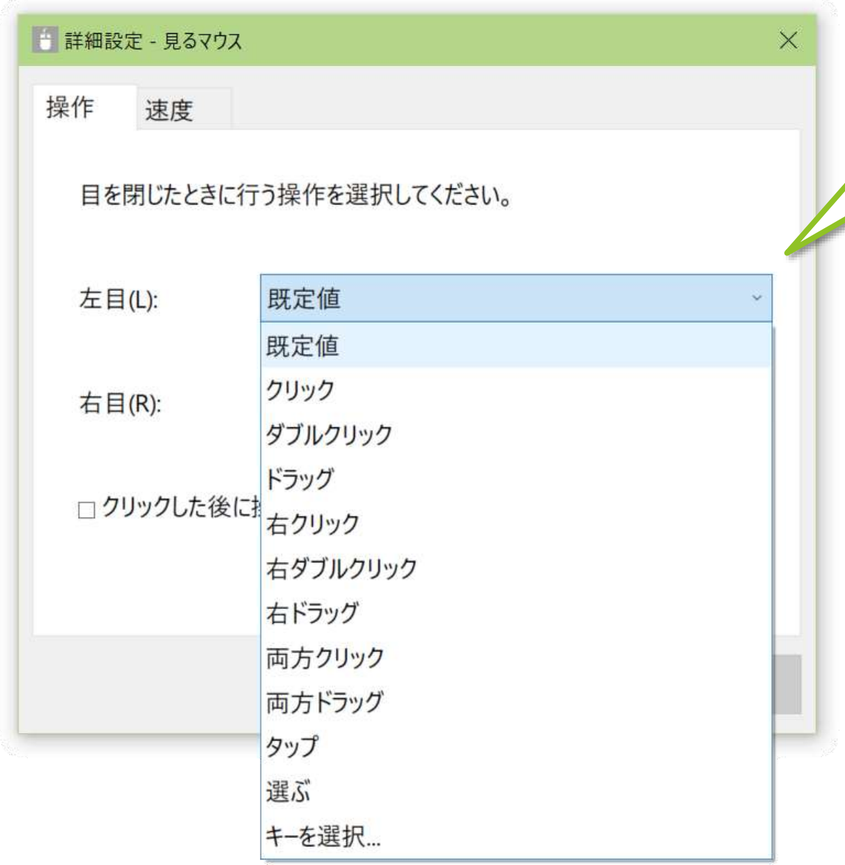
[常に両目] の場合



[常に両目] 以外の場合

見るマウスの設定 - 入力方式

(続き)

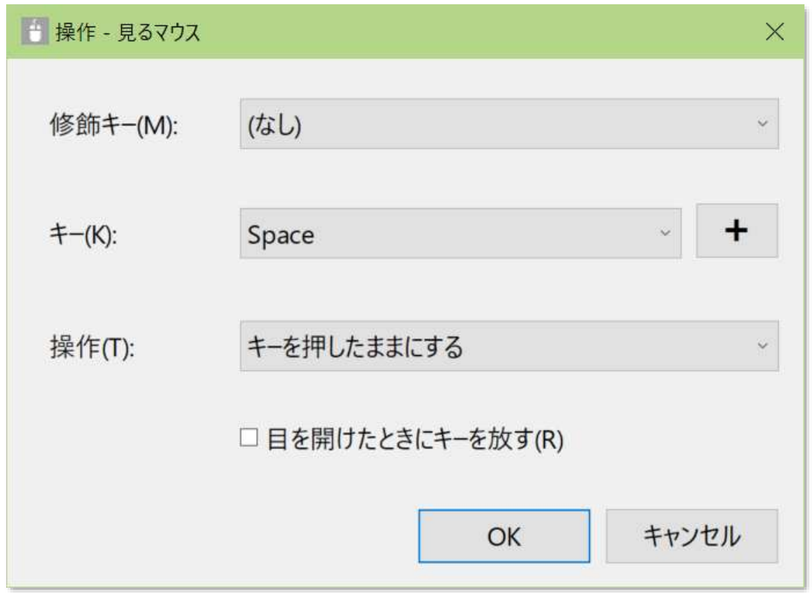


③目を閉じたときに行うクリック操作を選択します。
クリック操作として [既定値] を選択した場合は、目を閉じたときに、見るマウスのウィンドウの左端のボタンのクリック操作が行われます。
[既定値] を選択して、かつ [クリックした後に操作を [クリックなし] へ変更する] にチェックを付けた場合は、目を閉じてクリック操作を一度行った後に、見るマウスのウィンドウの左端のボタンが [クリックなし] へ自動的に切り替わります。

※ [クリックした後に操作を [クリックなし] へ変更する] にチェックを付けた場合は、本書 P.52 に記載の例外があります。

見るマウスの設定 - 入力方式

(続き)



④もし③で [キーを選択...] を選んだ場合は、目を閉じたときにキーを押すように設定することができます。新しいダイアログが表示されるので、どのキーを押すかを選択して、[OK] ボタンを押します。

見るマウスの設定 - 入力方式

(続き)

④のダイアログの [操作] の設定によって、目を閉じたときのキーの入力が以下のように変わります。

[操作]	**キーの入力**
[キーを押す] を選んだ場合	目を閉じたときにキーが押されてすぐに放されます。
[キーを押したままにする] を選んで、[目を開けたときにキーを放す] のチェックを外した場合	目を閉じたときにキーが押されたままになり、目を開けてもキーは押されたままになります。再度目を閉じるとキーが放されます。
[キーを押したままにする] を選んで、[目を開けたときにキーを放す] にチェックを付けた場合	目を閉じたときにキーが押されたままになり、目を開けるとキーが放されます。

見るマウスの設定 - 入力方式

(続き)

⑤必要に応じて、[速度] タブで [クリックの間隔] を設定します。どのくらいの間、目を閉じ続けたらクリックするかの設定です。[既定値] は本書 P.46 と同じ間隔です。[ユーザー設定] を選択すると、本書 P.46 とは別の間隔を設定することができます。

⑥[OK] を押します。

見るマウスの設定 - 入力方式

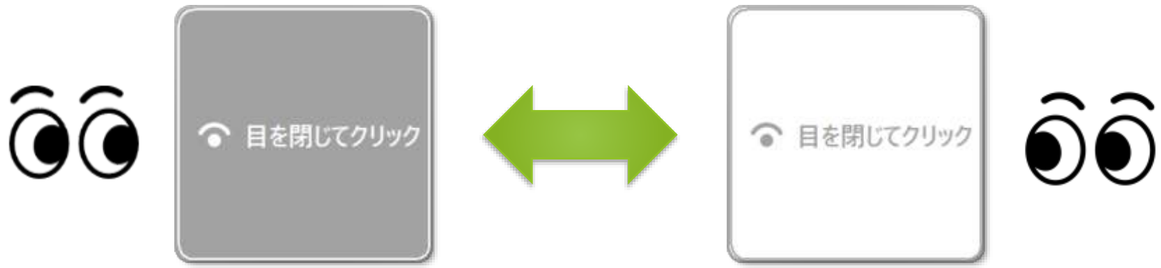
(続き)

目を閉じたときにキーを押すように設定した場合は、一時的に動作を切り替えて、目を閉じたときにクリック操作を行うことができます。

本書 P.118 の画面で、[利用できるショートカット] にある [目を閉じてクリック] のショートカットを選択し、▶ボタンを押して [現在のショートカット] へ移動させてください。[目を閉じてクリック] のショートカットが画面に表示されます。

[目を閉じてクリック] のショートカットを見て目を閉じると、ボタンの色が変わり、目を閉じたときに、見るマウスのウィンドウの左端のボタンのクリック操作が行われるようになります。

クリック操作をやめてキーを押す動作へ戻すには、再度 [目を閉じてクリック] のショートカットを見て目を閉じます。



見るマウスの設定 - 入力方式

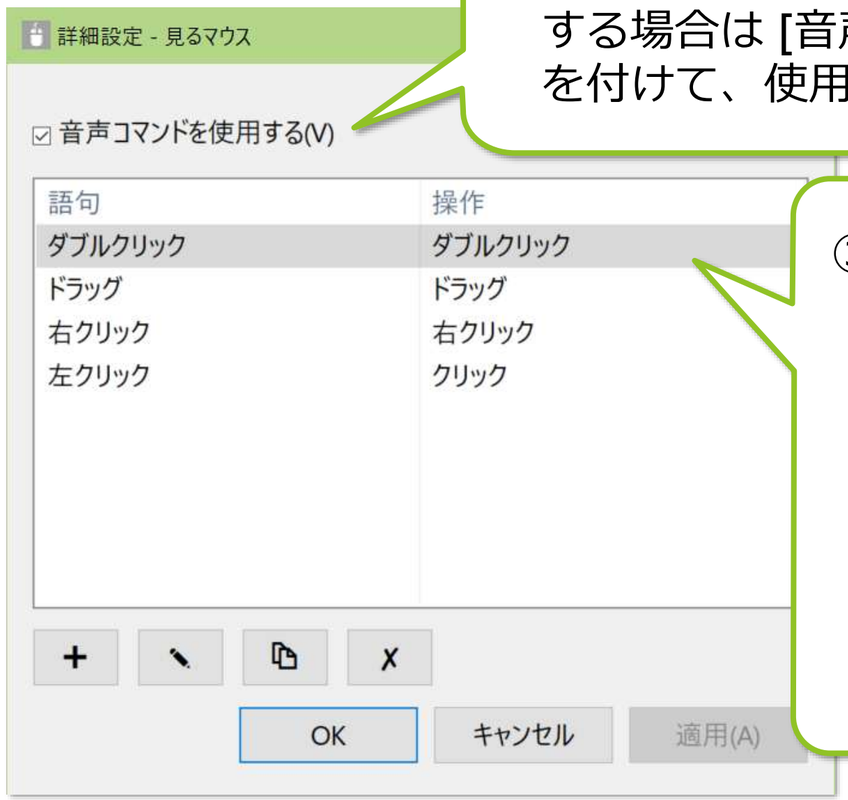
[マイクに向かって何か話したときにクリックする] にチェックを付けると、マイクに向かって任意の語句を話したときに、クリック操作が行われます。更に音声コマンドを使用すると、マイクに向かって特定の語句を話したときにのみクリック操作を行うことができます。

①[マイクに向かって何か話したときにクリックする] にチェックを付けて、その右にある歯車アイコンのボタンを押します。

※ マイクの感度は、コントロール パネル > [サウンド] > [録音] タブ > 既定のデバイス > [プロパティ] > [レベル] タブで調整できます。

見るマウスの設定 - 入力方式

(続き)



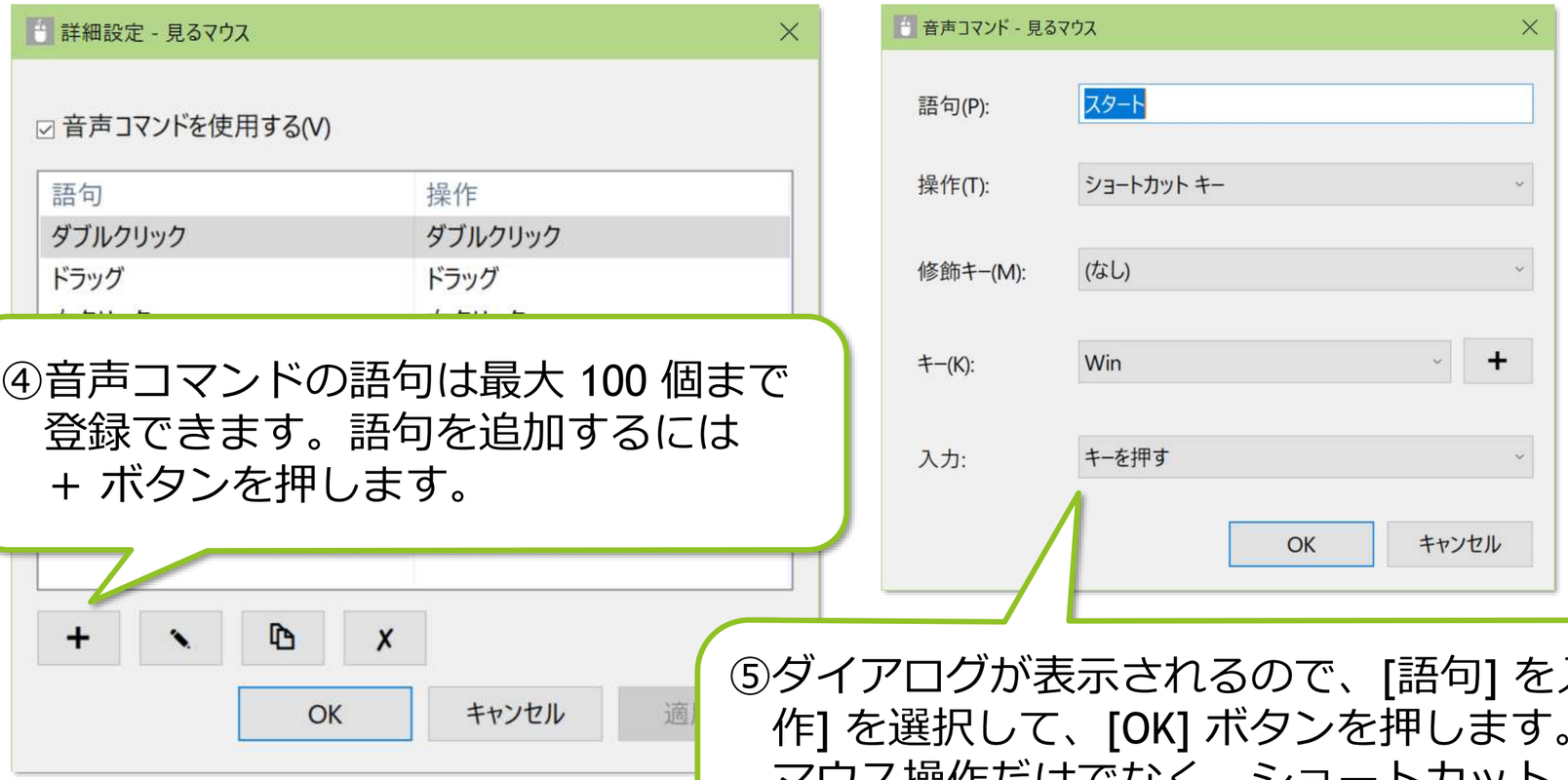
②ダイアログが表示されます。音声コマンドを使用する場合は [音声コマンドを使用する] にチェックを付けて、使用しない場合はチェックを外します。

③音声コマンドを使用する場合、登録された [語句] と [操作] の一覧が表示されます。[語句] の列はあなたがマイクに向かって話す語句を表し、[操作] の列はその語句を話したときに実行される操作を表します。
初期設定では「ダブルクリック」、「ドラッグ」、「右クリック」、「左クリック」の 4 種類の語句が登録されています。例えばマイクに向かって「左クリック」と言うと、クリックが行われます。

※ 音声コマンドを使用する場合、マイクに向かって話してから少し遅れて操作が行われます。
※ 初期設定では「ドラッグ」と言うとドラッグが開始され、再度「ドラッグ」と言うとドロップが行われます。

見るマウスの設定 - 入力方式

(続き)

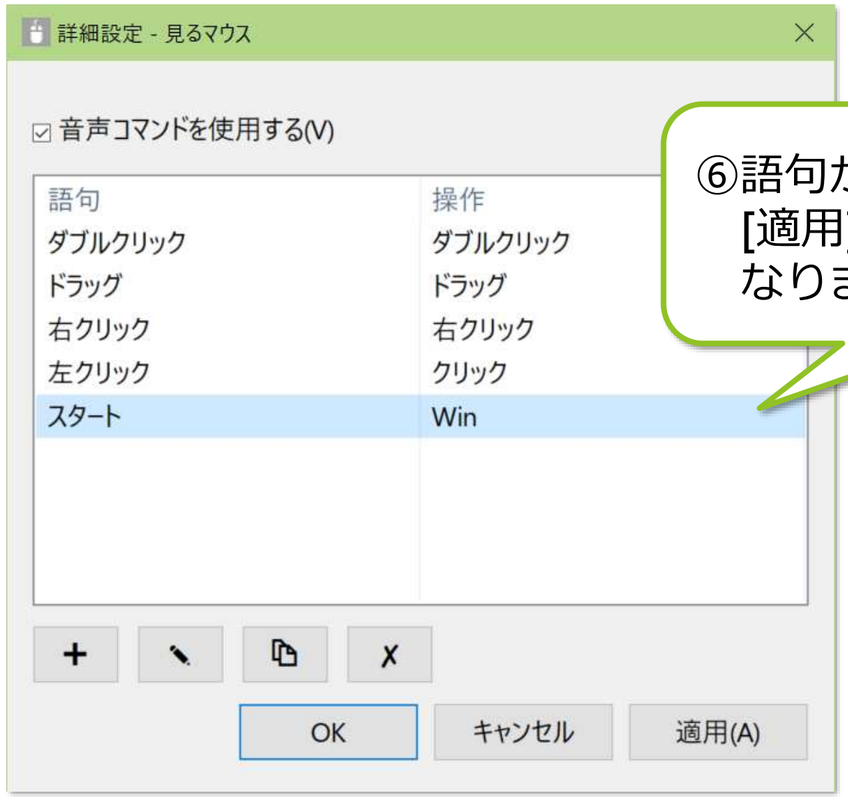


④音声コマンドの語句は最大 100 個まで登録できます。語句を追加するには + ボタンを押します。

⑤ダイアログが表示されるので、[語句] を入力し、[操作] を選択して、[OK] ボタンを押します。
マウス操作だけでなく、ショートカット キーを設定することもできます。この例では、「スタート」と言うと Win キーが入力されるようになります。

見るマウスの設定 - 入力方式

(続き)



⑥語句が一覧に追加されます。[OK] ボタンまたは [適用] ボタンを押すと、追加した語句が有効になります。

見るマウスの設定 - 入力方式

もし日本語、英語、簡体字中国語、繁体字中国語、スペイン語、ドイツ語、フランス語のいずれかで Windows をお使いの場合、見るマウスは Windows 標準の音声認識エンジンを使用して、マイクに向かって話された言語を認識します。

もし韓国語、イタリア語、オランダ語、カタルニア語、スウェーデン語、デンマーク語、ノルウェー語 (ブークモール)、バレンシア語、フィンランド語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語のいずれかで Windows をお使いの場合は、Microsoft Speech Platform Runtime と対応する言語のデータを別途インストールすることで、マイクに向かって話した言語を認識させることができます。インストール方法は本書 P.66～70 をご覧ください。

もしアラビア語、チェコ語、テルグ語、トルコ語、ヒンディー語、ベトナム語のいずれかで Windows をお使いの場合は、Vosk の言語データを別途インストールすることで、マイクに向かって話した言語を認識させることができます。インストール方法は本書 P.71～72 をご覧ください。

上記以外の言語の音声コマンドには、見るマウスは対応していません。もし上記以外の言語で Windows をお使いの場合は、キーボードの Windows ロゴ キーを押したまま R キーを押して、[ファイル名を指定して実行] の画面で [名前] に「control.exe "C:¥Windows¥System32¥Speech¥SpeechUX¥sapi.cpl" speech」を入力して [OK] をクリックし、[音声認識] タブの [言語] で音声認識エンジンを設定してください。

見るマウスの設定 - 入力方式

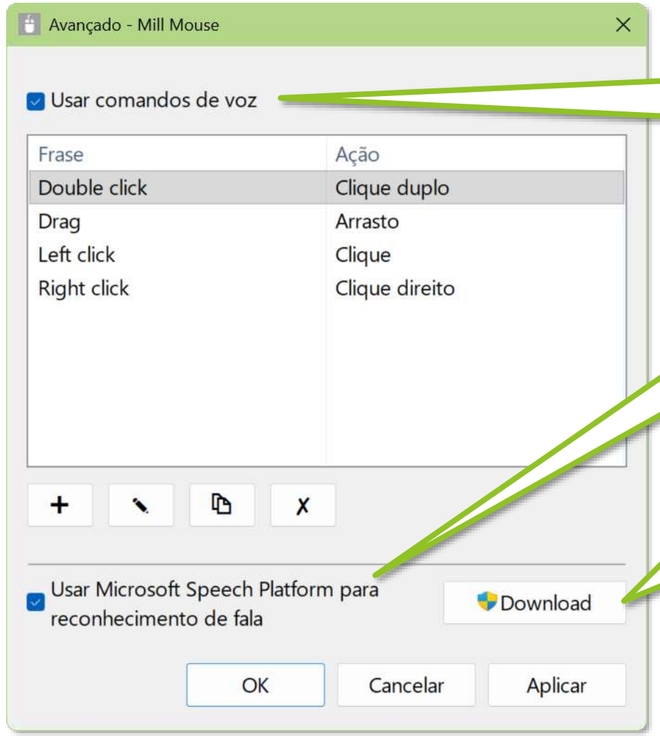
もし韓国語、イタリア語、オランダ語、カタルニア語、スウェーデン語、デンマーク語、ノルウェー語 (ブークモール)、バレンシア語、フィンランド語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語のいずれかで Windows をお使いで、かつ Microsoft Speech Platform Runtime と対応する言語のデータをまだインストールしていない場合は、本書 P.62 の画面の下側に、[音声認識に Microsoft Speech Platform を使用する] という項目が表示されます。

次のページに記載した手順により、Microsoft Speech Platform Runtime と対応する言語のデータをインストールして、マイクに向かって話した言語を認識させることができます。

見るマウスの設定 - 入力方式

(Microsoft Speech Platform の続き)

以下では、ポルトガル語の画面を例に説明します。



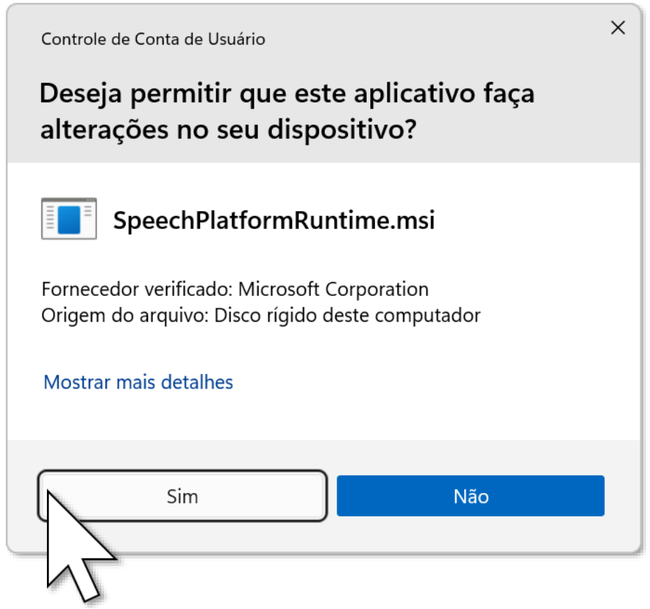
①[音声コマンドを使用する] にチェックを付けます。

②[音声認識に Microsoft Speech Platform を使用する] にチェックを付けます。

③[ダウンロード] ボタンを押します。
ダウンロードが開始されるので、しばらく待ちます。

見るマウスの設定 - 入力方式

(Microsoft Speech Platform の続き)



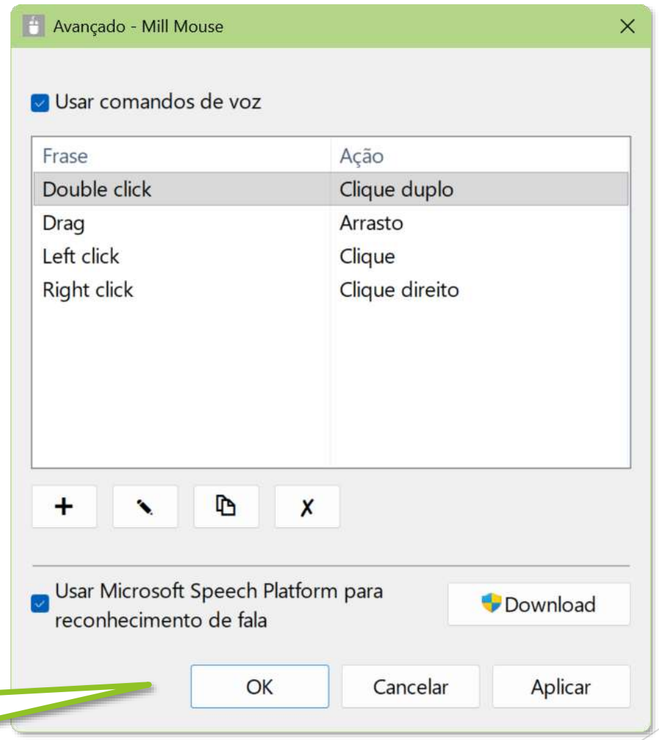
④ユーザー アカウント制御の画面が 1～3 回表示されるので、それぞれ [はい] をクリックします。

※ Windows の標準アカウントをお使いの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力する必要があります。

見るマウスの設定 - 入力方式

(Microsoft Speech Platform の続き)

⑤ダウンロードとインストールが完了するとメッセージが表示されるので、[OK] ボタンを押します。



⑥[OK] ボタンまたは [適用] ボタンを押します。これで、見るマウスはマイクに向かって話された言語を認識するようになります。

見るマウスの設定 - 入力方式

(Microsoft Speech Platform の続き)

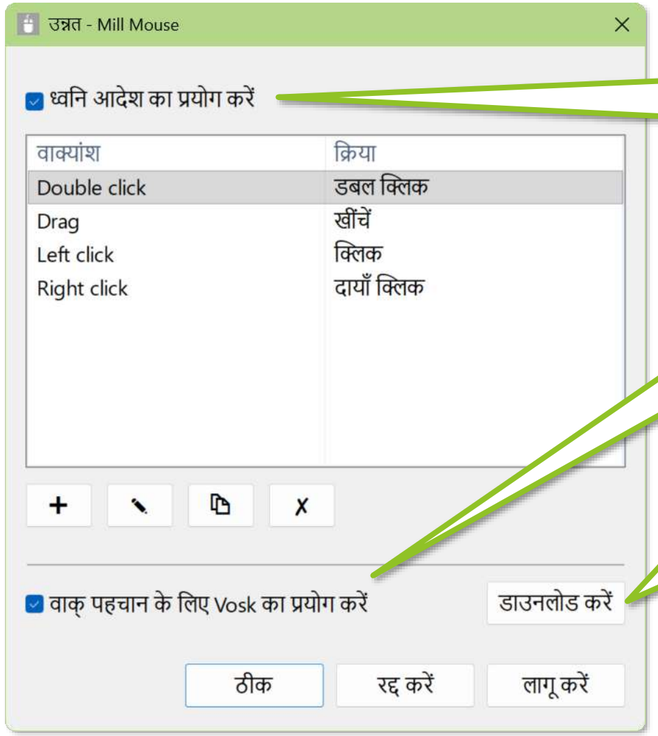
もし Windows 8.1 または Windows 7 の韓国語環境で上記手順を実施した場合は、見るマウスの音声コマンドの [語句] にはラテン文字ではなくハングルで記述してください。

また、もし Windows 8.1 または Windows 7 のロシア語環境で上記手順を実施した場合は、見るマウスの音声コマンドの [語句] にはラテン文字ではなくキリル文字で記述してください。

見るマウスの設定 - 入力方式

もしアラビア語、チェコ語、テルグ語、トルコ語、ヒンディー語、ベトナム語のいずれかで Windows をお使いの場合は、本書 P.62 の画面の下側に、[音声認識に Vosk を使用する] という項目が表示されます。

以下の手順により、Vosk の言語データをインストールして、マイクに向かって話した言語を認識させることができます。以下では、ヒンディー語の画面を例に説明します。



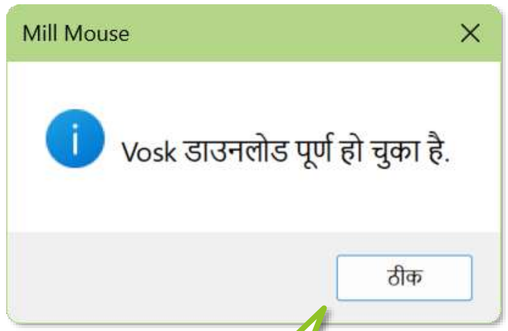
①[音声コマンドを使用する] にチェックを付けます。

②[音声認識に Vosk を使用する] にチェックを付けます。

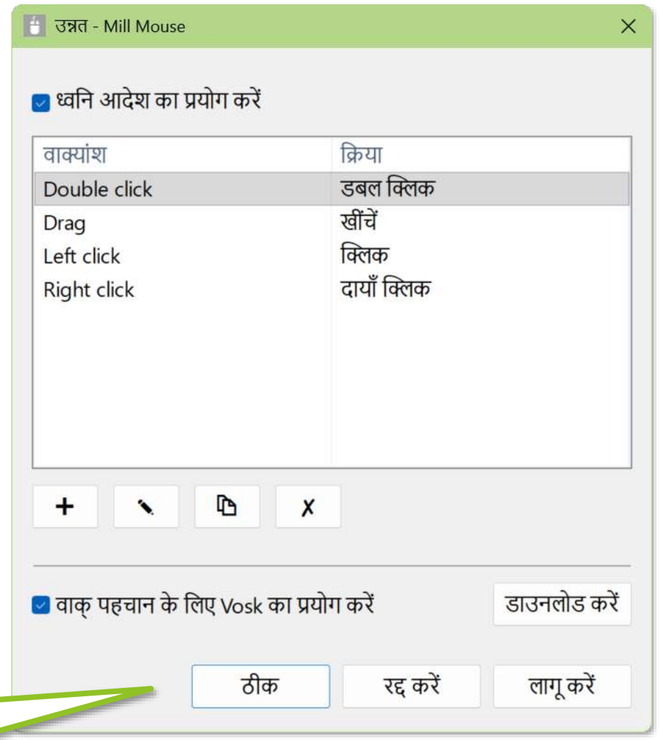
③[ダウンロード] ボタンを押します。言語データのダウンロードが開始されるので、しばらく待ちます。

見るマウスの設定 - 入力方式

(Vosk の続き)



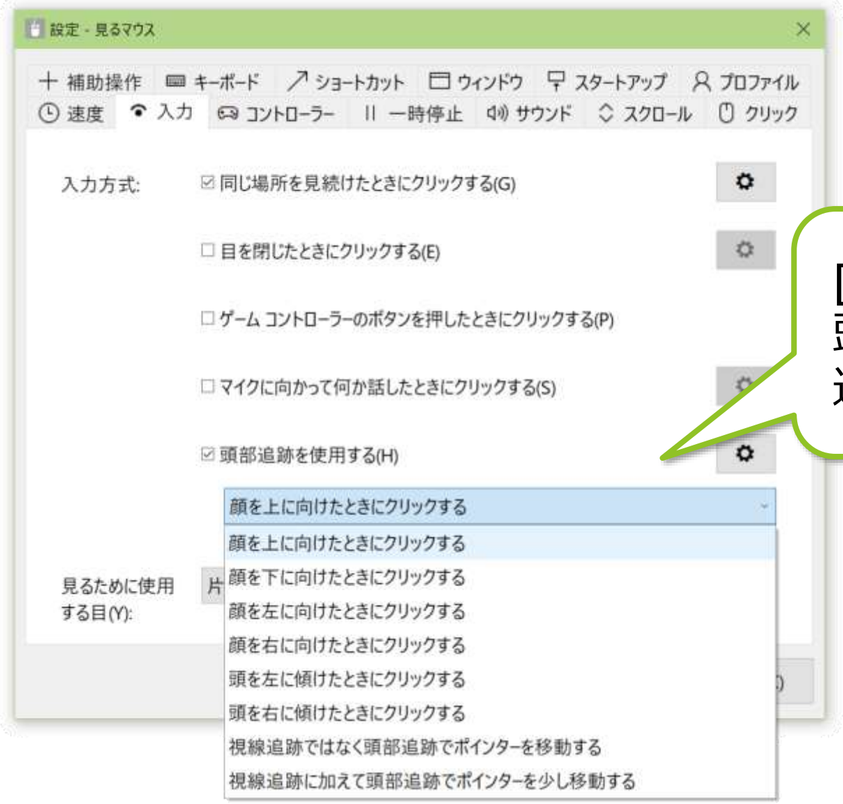
④ダウンロードが完了するとメッセージが表示されるので、[OK] ボタンを押します。



⑤[OK] ボタンまたは [適用] ボタンを押します。これで、見るマウスはマイクに向かって話された言語を認識するようになります。

見るマウスの設定 - 入力方式

視線追跡装置として Tobii Eye Tracker 5 をお使いの場合は、[頭部追跡を使用する] を設定できます。



[頭部追跡を使用する] にチェックを付けると、頭を動かしたときにクリックするか、または頭部追跡でポインターを移動するかを設定できます。

※ 視線追跡装置として Tobii Eye Tracker 4C をお使いの場合は、Tobii Eye Tracking Core Software のバージョンが 2.13.1 であれば頭部追跡を使用できます。

見るマウスの設定 - 入力方式

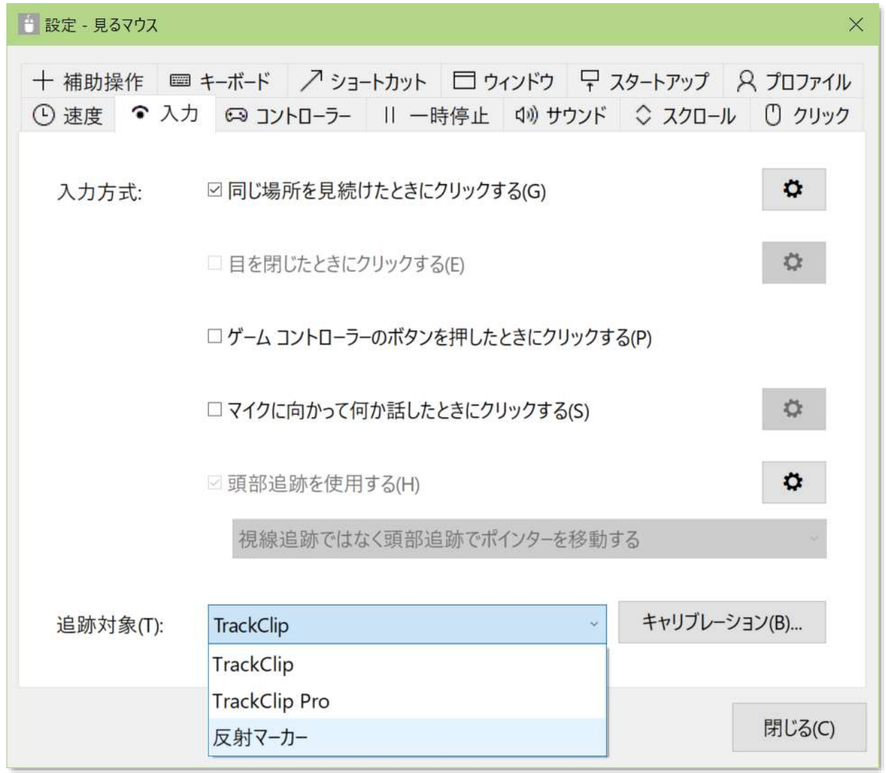
頭部追跡装置の TrackIR 5 をお使いの場合は、設定画面の [入力] タブで設定できる項目が、他の視線追跡装置をお使いの場合と異なります。TrackClip Pro をお使いの場合は、[追跡対象] を [TrackClip Pro] に変えてください。

TrackClip や TrackClip Pro の代わりに、市販の反射材を使うこともできます。その場合は、[追跡対象] を [反射マーカー] に変えてください。TrackIR 5 のカメラの前で反射材を上下左右に動かすことで、マウス ポインターを移動させることができます。

※ 反射材には粘着剤が付いている場合がありますが、おでこなどの皮膚に貼り付けることはできません。

見るマウスの設定 - 入力方式

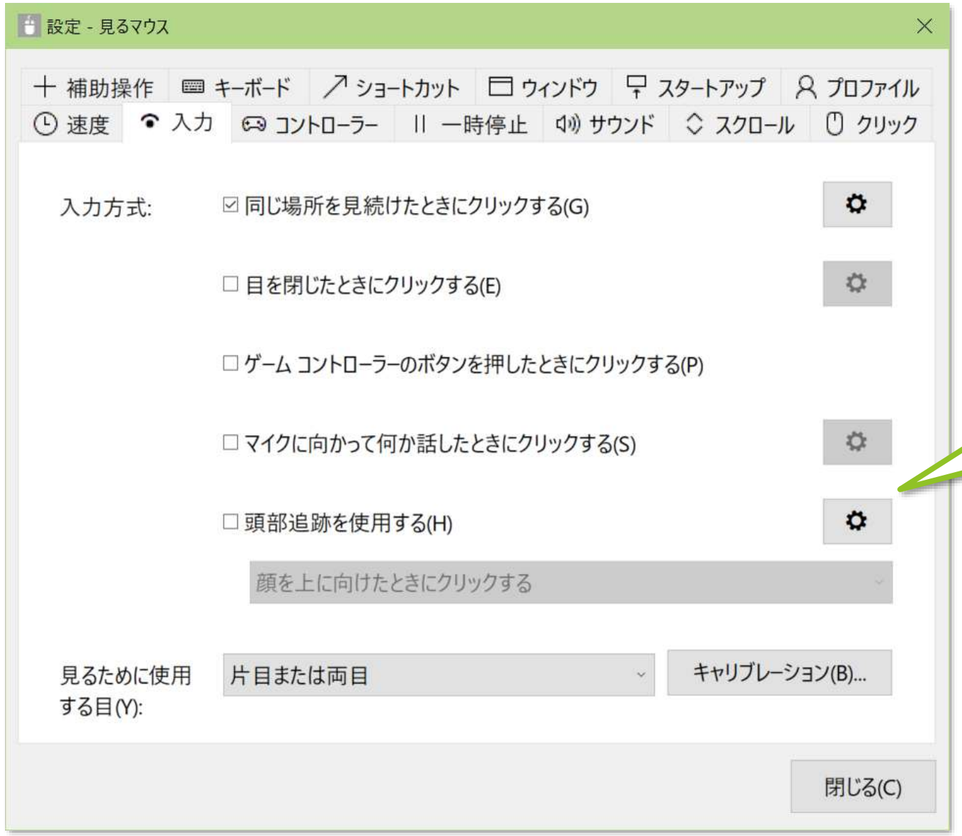
頭部追跡装置の SmartNav 4 をお使いの場合は、設定画面の [入力] タブで設定できる項目が、他の視線追跡装置をお使いの場合と異なります。[追跡対象] を [反射マーカー] に変えてください。



もし SmartNav 4 に外部スイッチを接続している場合は、左スイッチは左クリック、右スイッチは右クリックとして動作します。

見るマウスの設定 - 入力方式

VSeeFace、OpenSeeFace、iPhone/iPad または Android スマートフォン/タブレットをお使いの場合は、[頭部追跡を使用する] の右にある歯車アイコンから設定してください。



①[頭部追跡を使用する] の右にある歯車アイコンのボタンを押します。

見るマウスの設定 - 入力方式

(続き)

②ダイアログが表示されるので、[優先するデバイスまたはアプリ] を選択します。
もし主に視線追跡装置を使用して、補助的に表情追跡を使用する場合は、[優先するデバイスまたはアプリ] には [視線追跡デバイス] を選択します。
もし視線追跡装置を使用しない場合は、[優先するデバイスまたはアプリ] には [視線追跡デバイス] 以外を選択します。

③[他のアプリからメッセージを受信する] にチェックを付けて、[種類] を選択し、[OK] ボタンを押します。

見るマウスの設定 - 入力方式

(続き)

[他のアプリからメッセージを受信する] にチェックを付けた場合は、お使いのアプリに応じて、[種類] を以下のとおりに選択してください。

お使いのアプリ	**[種類]**
VSeeFace または waidayo	[VMC Protocol] を選択
OpenSeeFace	[OpenSeeFace] を選択
VTube Studio	[VTube Studio] を選択
Facemotion3d	[Facemotion3d] を選択
iFacialMocap	[iFacialMocap] を選択
Live Link Face	[Live Link Face] を選択
MeowFace	[VTube Studio] または [Facemotion3d] または [iFacialMocap] を選択

見るマウスの設定 - 入力方式

(続き)

もし [種類] に [OpenSeeFace] を選択した場合は、設定項目が他の種類を選択した場合と異なります。[facetracker の場所] と [カメラ] を設定してください。

[参照] をクリックして、OpenSeeFace の ZIP ファイルを展開した場所の Binary¥facetracker.exe を選択するか、または VSeeFace の ZIP ファイルを展開した場所の VSeeFace_Data¥StreamingAssets¥Binary¥facetracker.exe を選択します。

使用する PC の組み込みのカメラ、または Web カメラを選択します。

見るマウスの設定 - 入力方式

(続き)

[表情追跡] では眉を上げたとき、口を開けたとき、または口を閉じたときにクリック操作を行うように設定することができます。

[眉を上げたときにクリックする]、[口を開けたときにクリックする] または [口を閉じたときにクリックする] を設定した場合は、見るマウスのウィンドウの左端のボタンのクリック操作が行われます。
[眉を上げている間のみドラッグする]、[口を開けている間のみドラッグする] または [口を閉じている間のみドラッグする] を設定した場合は、見るマウスのウィンドウの左端のボタンの選択に関わらず、ドラッグが行われます。

※ [VMC Protocol] を選択した場合は、眉を上げたときにクリック操作を行うことはできません。

※ 入力方式として [マイクに向かって何か話したときにクリックする] や音声コマンドを使用する場合は、話しているときの口の動きを追跡しないようにするため、[口] を [(なし)] に設定してください。

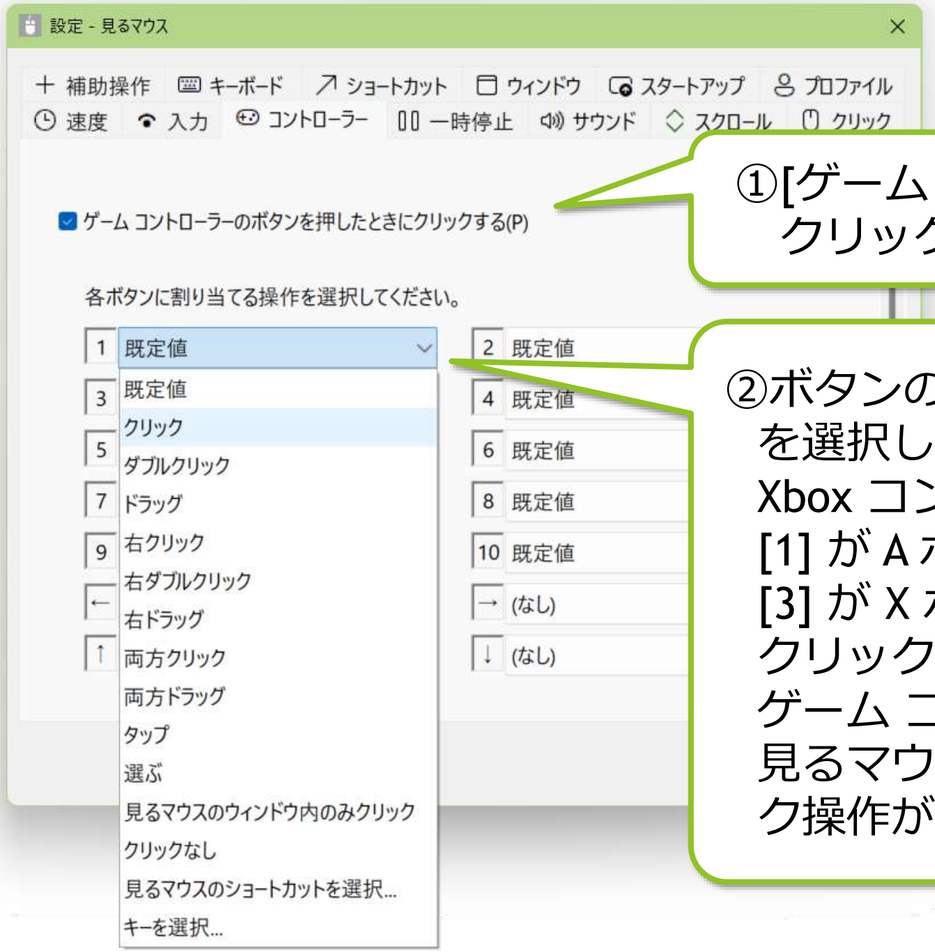
見るマウスの設定 - ゲーム コントローラー

設定画面の [コントローラー] タブで、ゲーム コントローラーのボタンに特定のクリック操作またはキーを割り当てることができます。

※ Windows 11 の Game Bar で [ゲームパッド カーソル] をオンにした場合は、見るマウスでゲーム コントローラーのボタンに割り当てた操作は効かなくなります。

見るマウスの設定 - ゲーム コントローラー

ゲーム コントローラーのボタンにクリック操作を割り当てると、そのボタンを押したときに、割り当てたクリック操作が行われます。

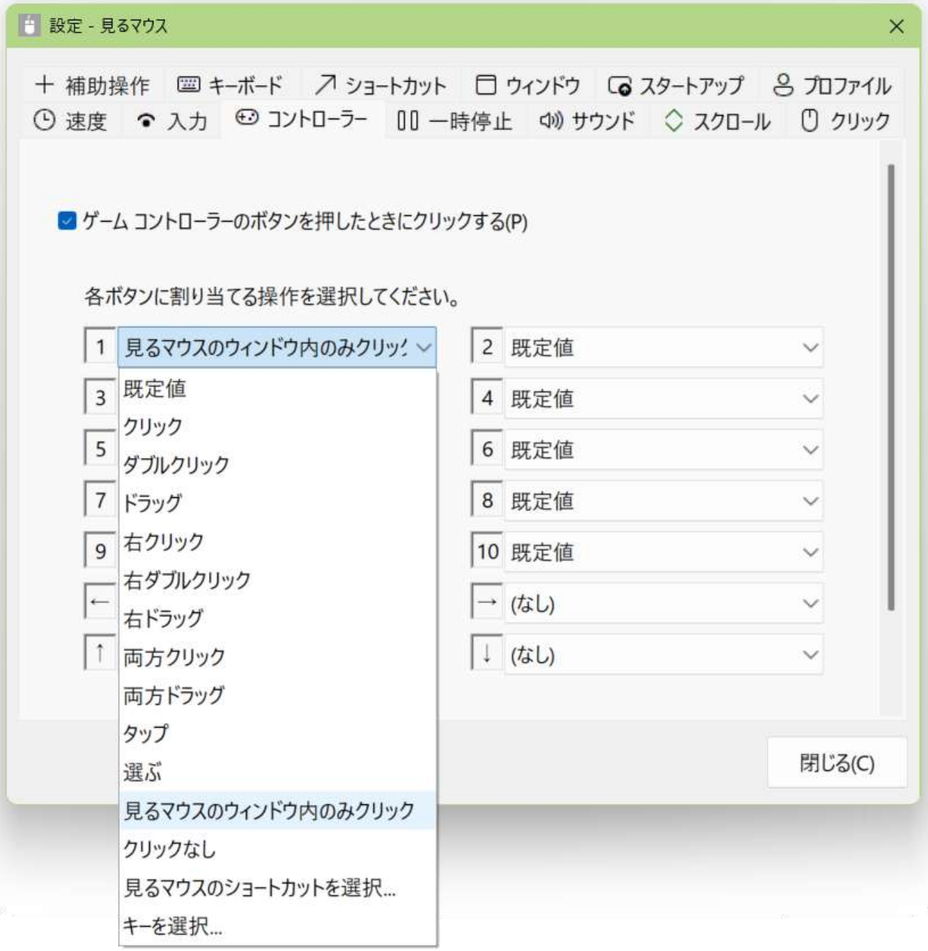


①[ゲーム コントローラーのボタンを押したときにクリックする] にチェックを付けます。

②ボタンの番号に対して、割り当てるクリック操作を選択します。
Xbox コントローラーの場合は
[1] が A ボタン、[2] が B ボタン、
[3] が X ボタン、[4] が Y ボタンに対応しています。
クリック操作として [既定値] を割り当てた場合は
ゲーム コントローラーのボタンを押したときに、
見るマウスのウィンドウの左端のボタンのクリック操作が行われます。

見るマウスの設定 - ゲーム コントローラー

ゲーム コントローラーのボタンには、特別なクリック操作として [見るマウスのウィンドウ内のみクリック] を割り当てることができます。



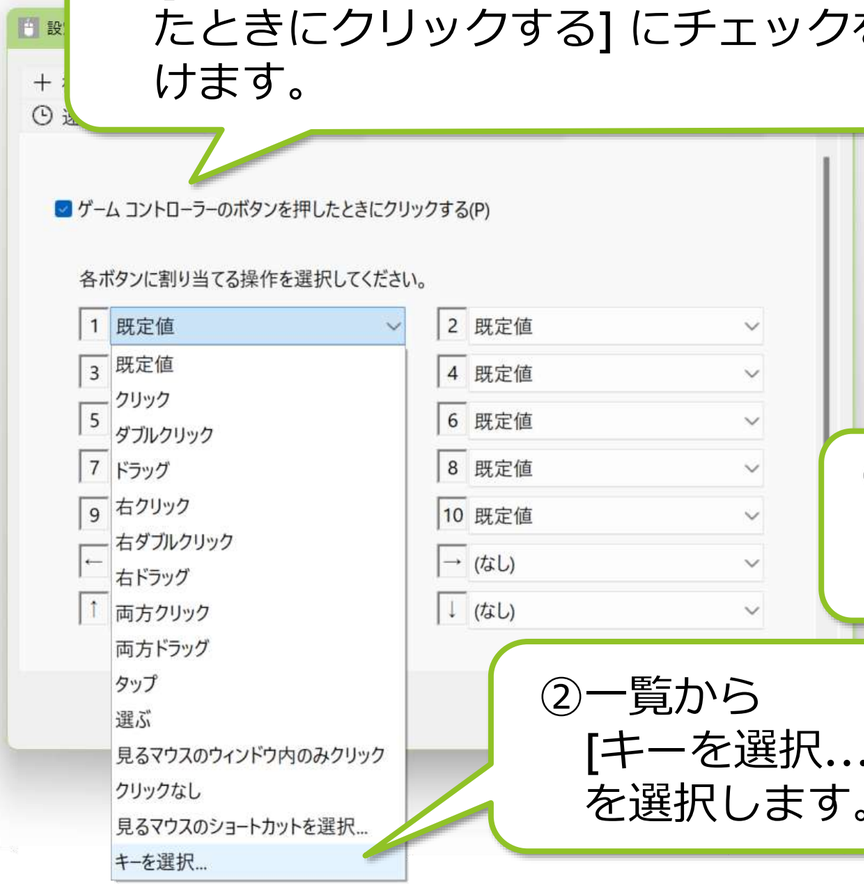
[見るマウスのウィンドウ内のみクリック] を割り当てた場合は、見るマウスのメイン ウィンドウ、設定画面、または個別のウィンドウを見ながらそのボタンを押したときに、クリックを行います。

見るマウスのウィンドウ以外を見ながらそのボタンを押したときには、クリックを行いません。

見るマウスの設定 - ゲーム コントローラー

ゲーム コントローラーのボタンにキーを割り当てると、そのボタンを押したときに、割り当てたキーが入力されます。

①[ゲーム コントローラーのボタンを押したときにクリックする] にチェックを付けます。



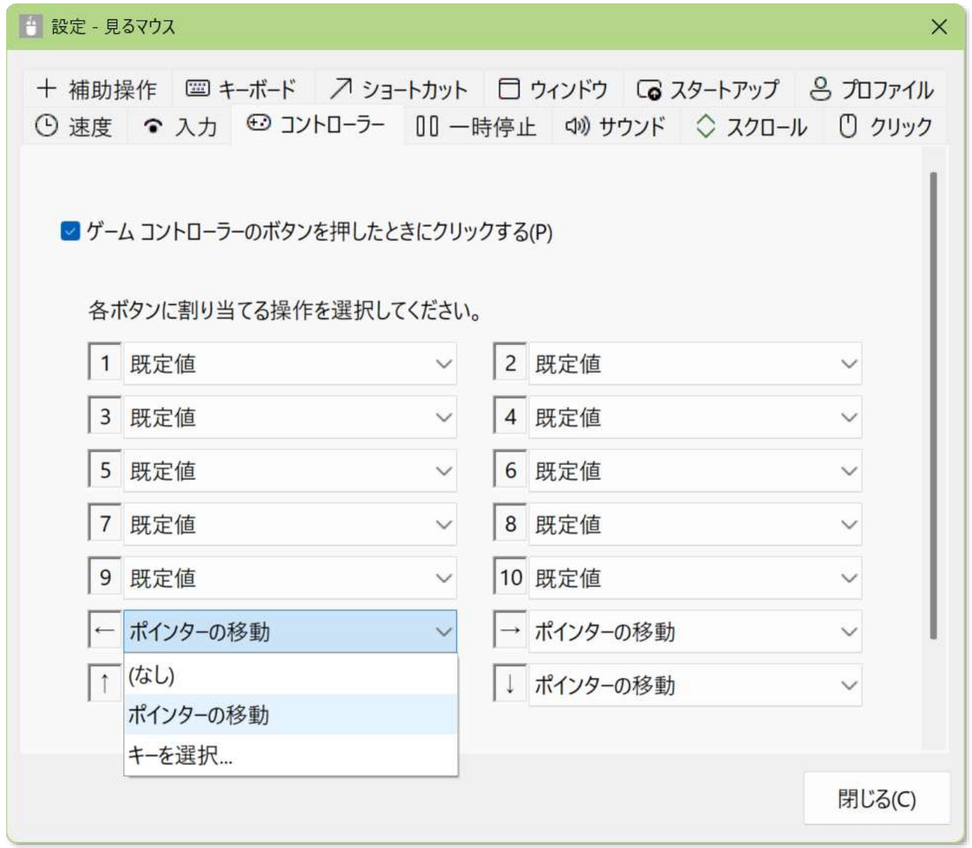
②一覧から [キーを選択...] を選択します。

③ダイアログが表示されるので、割り当てるキーを選択します。

④[OK] ボタンを押します。この例ではボタン 1 を押すと、Space キーが入力されるようになります。

見るマウスの設定 - ゲーム コントローラー

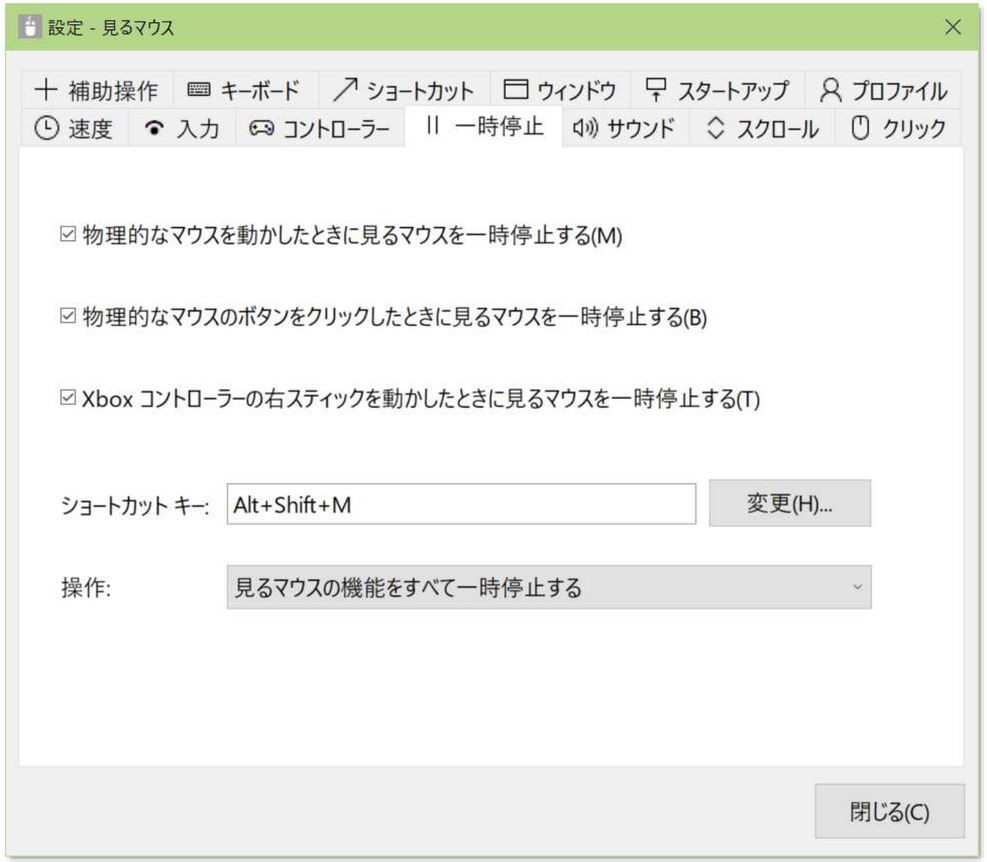
[←] [→] [↑] [↓] は、ゲーム コントローラーの方向パッドまたは Xbox コントローラーの左スティックに対応しており、[ポインターの移動] を割り当てることができます。



[ポインターの移動] を割り当てると、視線/頭部追跡によるマウス ポインターの移動に加えて、方向パッドまたは左スティックでマウス ポインターを少し移動させることができます。

見るマウスの設定 - 一時停止

設定画面の [一時停止] タブで、実際のマウスを操作したときに視線/頭部追跡を一時停止するかどうかと、一時停止のためのショートカット キーを変えることができます。



もしマウスとして動作するような外部スイッチと併用する場合は、[物理的なマウスを動かしたときに見るマウスを一時停止する] と [物理的なマウスのボタンをクリックしたときに見るマウスを一時停止する] のチェックを外してください。

※ 本書 P.158 に記載の [物理的なマウスのボタンをクリックしたときにゲーム コントローラーの軸/ボタンを押す] が有効な場合は、物理的なマウスのボタンをクリックしても一時停止しません。

見るマウスの設定 - サウンド

設定画面の [サウンド] タブで、クリックしたときに音を鳴らすかまたはテキストを読み上げるかどうかと、テキストを読み上げる音声を変えることができます。

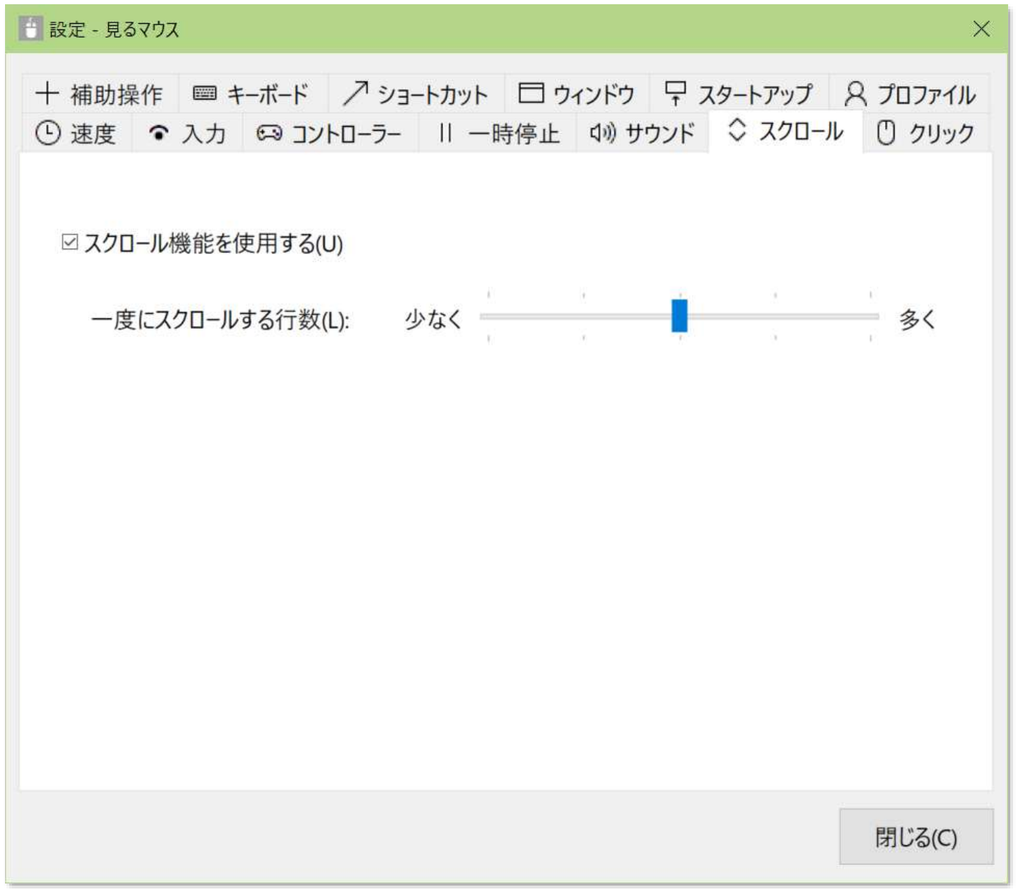
Windows 11 または Windows 10 では、インターネットに接続済みでかつ従量制課金接続でない場合、[音声] に Microsoft Edge を使用したオンラインの音声を選択することができます。

※ Windows 10 (May 2021 Update 以前) でオンラインの音声を使用するには、Chromium ベース バージョンの Microsoft Edge をインストールする必要があります。

※ Windows 7 で日本語の音声を使用するには、Microsoft Speech Platform Runtime と MSSpeech_TTS_ja-JP_Haruka.msi を別途インストールしてください。

見るマウスの設定 - スクロール

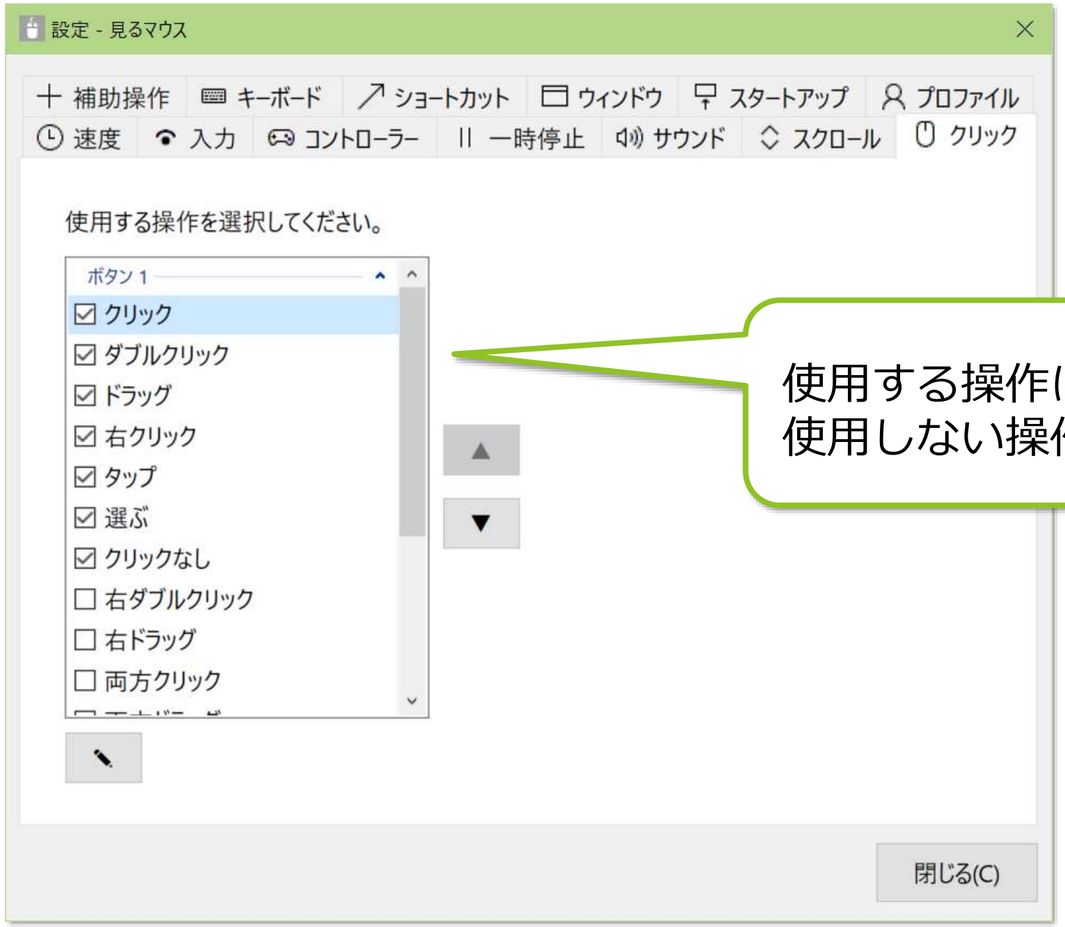
設定画面の [スクロール] タブで、スクロール機能を使用するかどうかと、スクロール量を変えることができます。



※ スクロール機能を使用する設定の場合、Ctrl キーまたは Shift キーを押している間はスクロールしません。

見るマウスの設定 - クリック操作

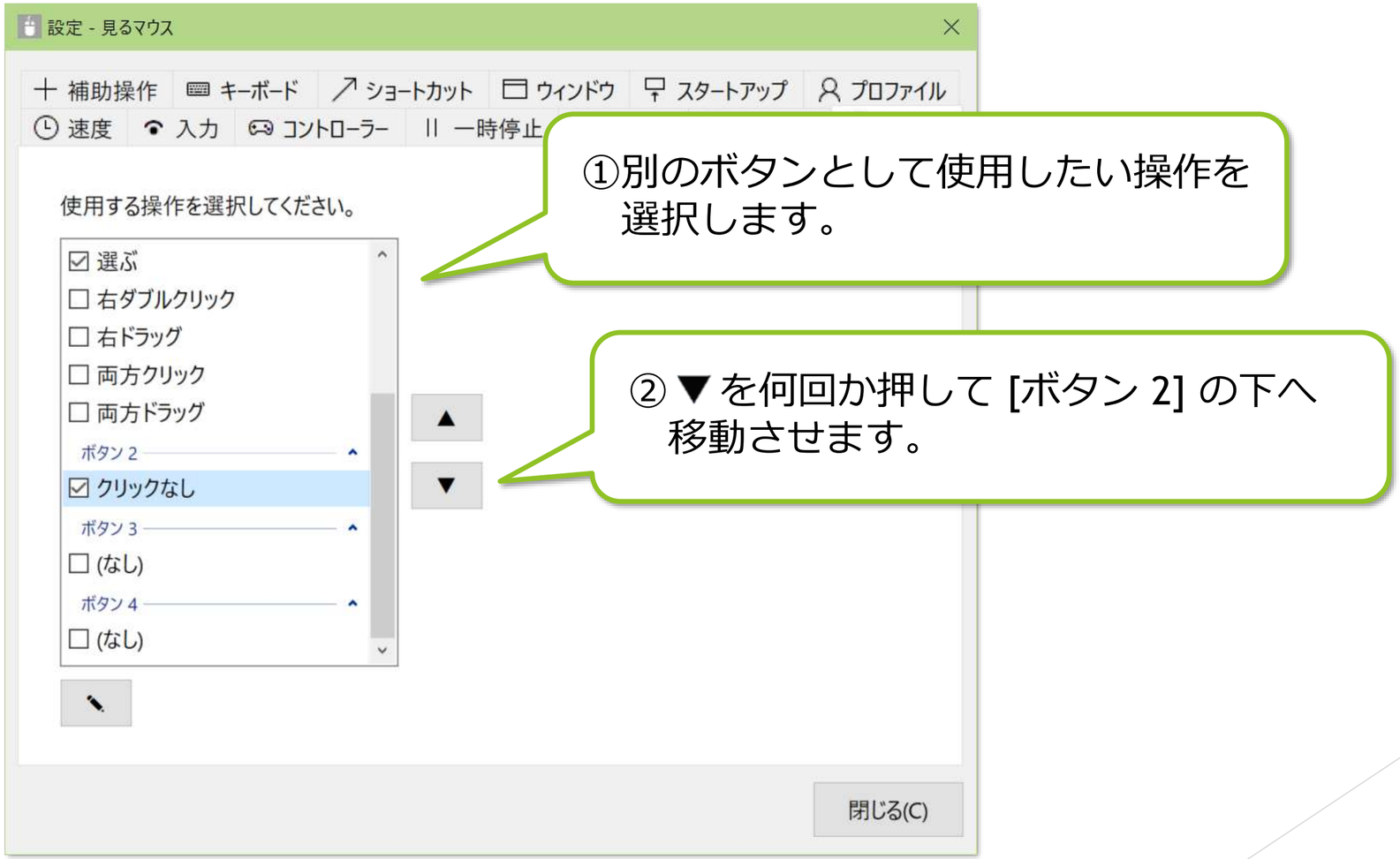
設定画面の [クリック] タブで、ウィンドウの左端のボタンについて、特定のクリック操作のみを使うように変えることができます。



使用する操作にチェックを付けます。
使用しない操作はチェックを外します。

見るマウスの設定 - クリック操作

ウィンドウの左端のクリック操作ボタンは、最大 4 つまで増やすことができます。



①別のボタンとして使用したい操作を選択します。

② ▼ を何回か押して [ボタン 2] の下へ移動させます。

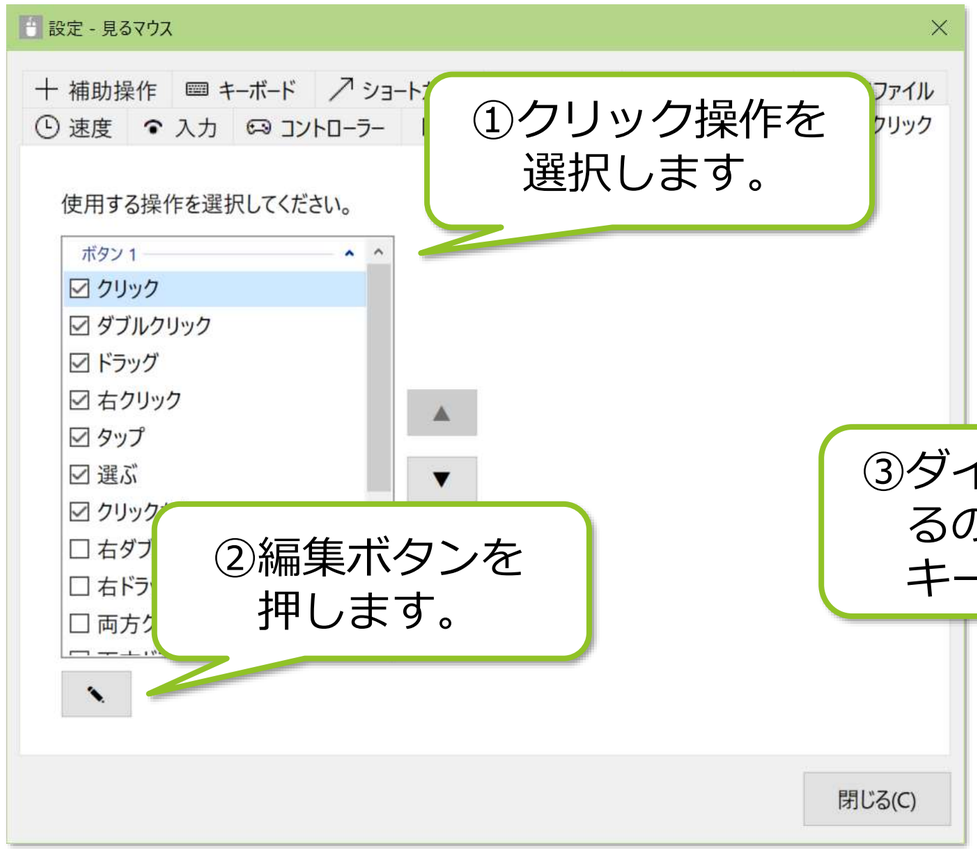
見るマウスの設定 - クリック操作

(続き)

③ウィンドウにボタンが表示されて、左端のボタンと同様に使用することができます。
②で [ボタン 3]、[ボタン 4] にも設定することで、最大 4 つまでクリック操作のボタンを増やすことができます。

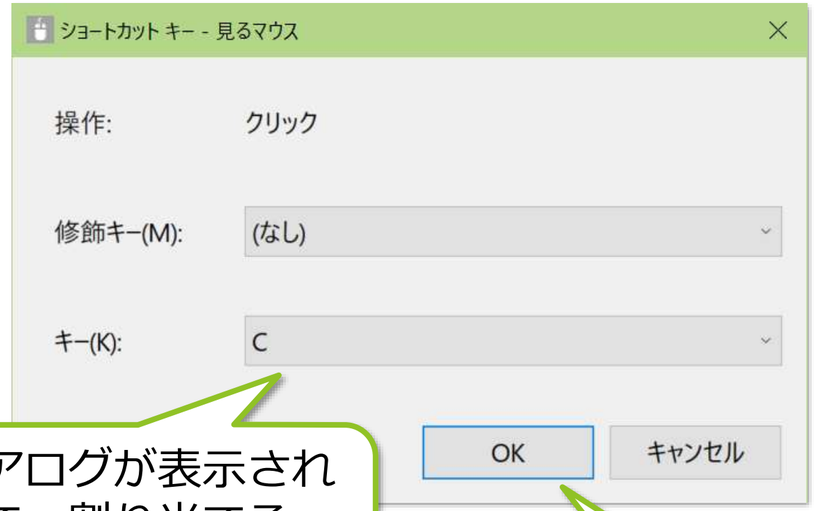
見るマウスの設定 - クリック操作

クリック操作には、ショートカット キーを割り当てることができます。



①クリック操作を選択します。

②編集ボタンを押します。



③ダイアログが表示されるので、割り当てるキーを選択します。

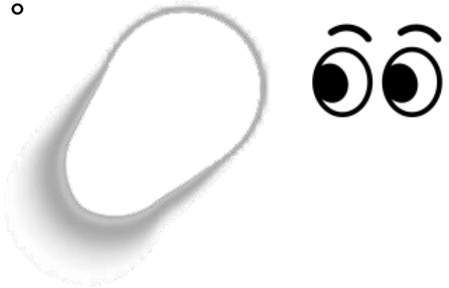
④[OK] ボタンを押します。この例では C キーを押すと、操作がクリックに切り替わるようになります。

※ 選択したキーによっては割り当てられない場合があります。その場合、④の [OK] ボタンは押せなくなりますので、別のキーを選択してください。

見るマウスの設定 - 補助操作

設定画面の [補助操作] タブで、ウィンドウに [拡大] [縮小] ボタンや [拡大鏡] ボタンを表示するかどうかと、拡大鏡の拡大率、画面の端でポインターを反転するかどうか、及び Gaze Trace を使用するかどうかを変えることができます。

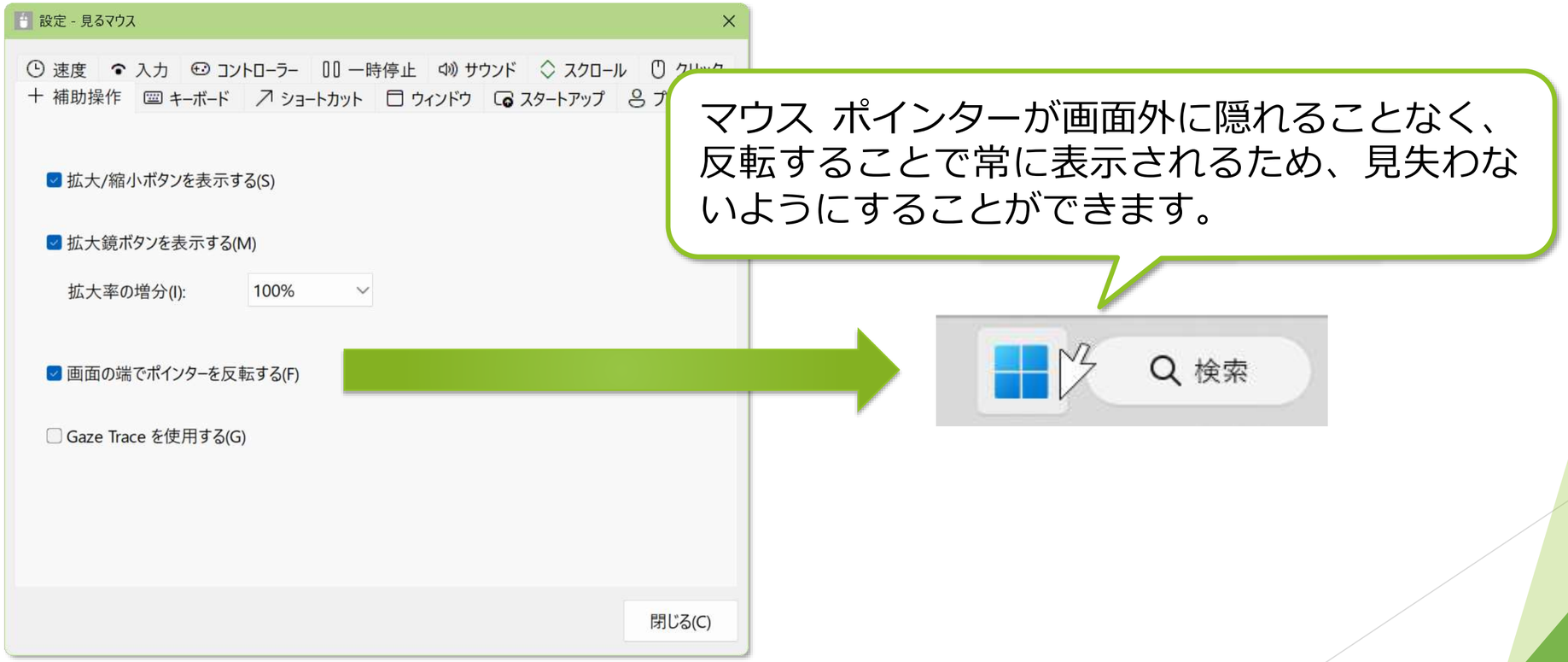
Gaze Trace は Tobii Experience と Tobii Eye Tracking Core Software の機能です。Gaze Trace を使用すると、見ている所にバブルが表示されます。



※ Tobii Experience または Tobii Eye Tracking Core Software をインストール済みの場合のみ [Gaze Trace を使用する] を設定できます。

見るマウスの設定 - 補助操作

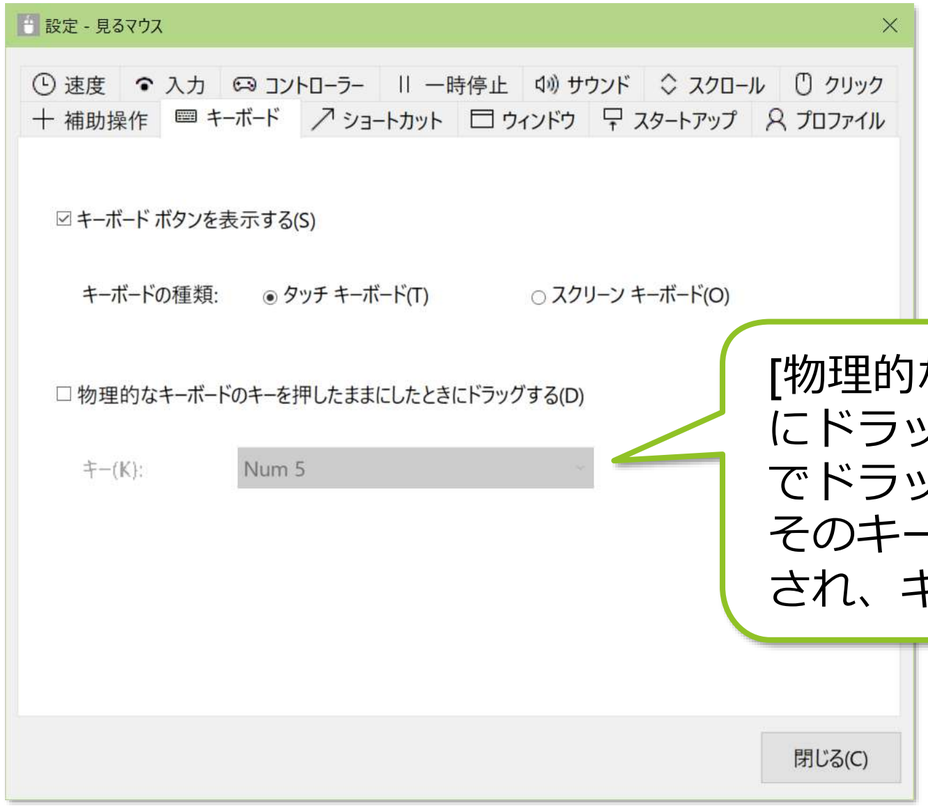
[画面の端でポインターを反転する] にチェックを付けると、マウス ポインターがデスクトップ画面の右隅または下端にある場合に、反転して表示されます。これにより、マウス ポインターを見失わないようにすることができます。



※ Windows に標準で組み込まれているポインターのみ、反転することができます。ポインターの外観を変更するような他のアプリを使用している場合は、その外観を維持したまま反転することはできません。

見るマウスの設定 - キーボード

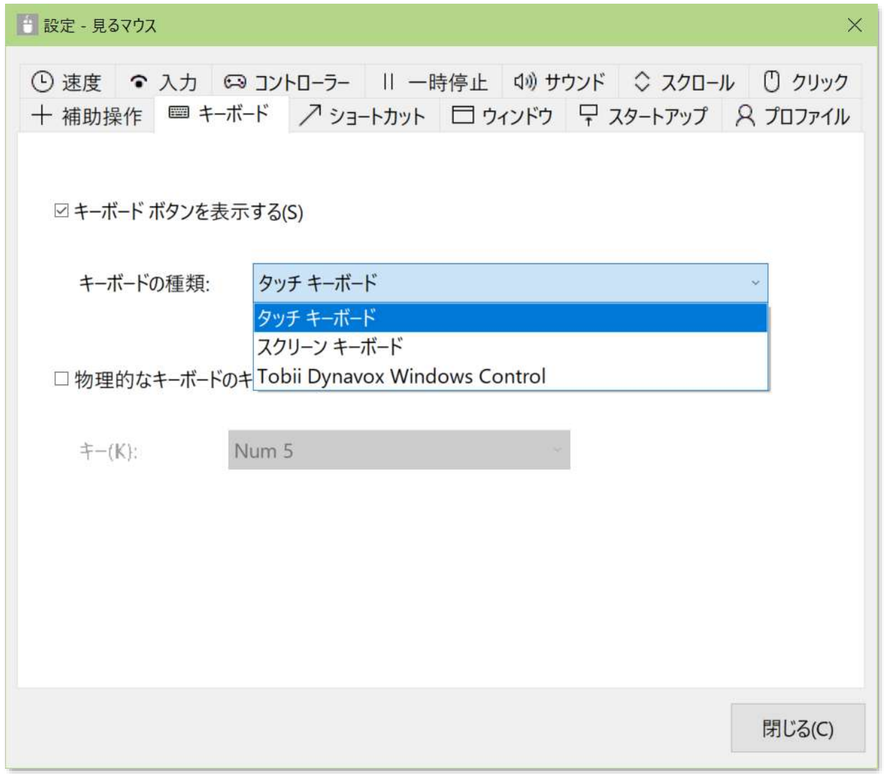
設定画面の [キーボード] タブで、ウィンドウに [キーボード] ボタンを表示するかどうかと、タッチ キーボードとスクリーン キーボードのどちらを使うかを変えることができます。また、物理的なキーボードのキーでドラッグできるように設定することもできます。



[物理的なキーボードのキーを押したままにしたときにドラッグする] にチェックを付けると、どのキーでドラッグするかを選択できます。
そのキーを押している間はドラッグした状態が維持され、キーを放したときにドロップが行われます。

見るマウスの設定 - キーボード

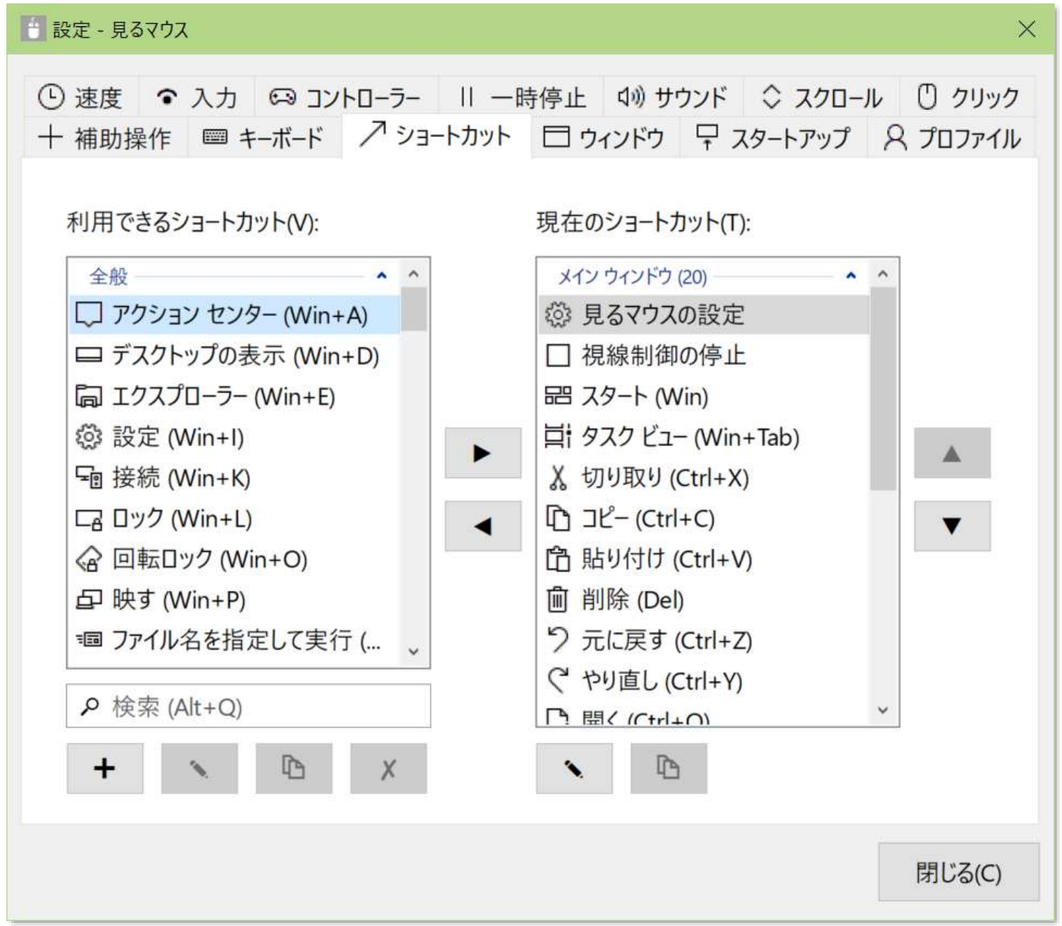
Tobii Dynavox Windows Control をインストール済みの場合は、[キーボードの種類] として Tobii Dynavox Windows Control を選ぶことができます。



※ デスクトップ画面の左右に表示される Tobii Dynavox Windows Control のタスク バーやショートカットを使用する場合は、別途 Tobii Dynavox Windows Control を起動してください。

見るマウスの設定 - ショートカット

設定画面の [ショートカット] タブで、ウィンドウに表示するショートカットを変更できます。最大 20 個のショートカットを設定できます。



見るマウスの設定 - ショートカット

ショートカットとして、この操作説明書に付録として掲載している 86 種類のショートカット キーを利用できます。

ショートカット キーの他に、見るマウスに関する以下の 14 種類のショートカットも利用できます。

- 見るマウスの設定
- キャリブレーション
- 見るマウスの移動
- 見るマウスを上に表示
- 見るマウスを下に表示
- 見るマウスの最小化
- 見るマウスを隠す
- 見るマウスの停止
- ポインターを隠す
- ポインターの移動
- 目を閉じてクリック
- スクロール
- 個別のウィンドウの固定
- 見るマウスの終了

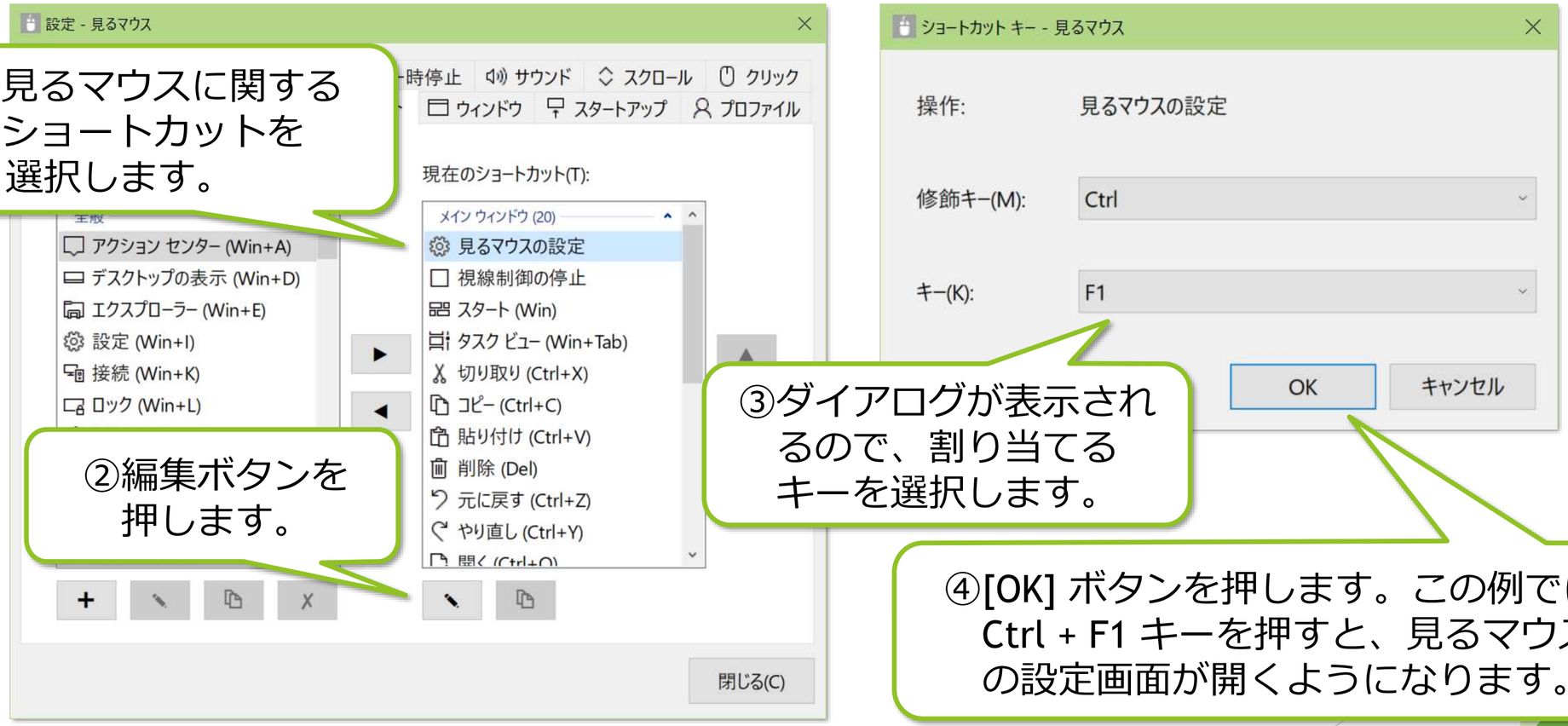
※ [見るマウスの最小化] は、見るマウスのメイン ウィンドウと個別のウィンドウをタスク バーに最小化するショートカットです。[見るマウスを隠す] は、見るマウスのメイン ウィンドウのみを非表示にするショートカットです。

※ [見るマウスを上に表示] [見るマウスを下に表示] は、見るマウスのウィンドウを縦に表示している場合 [見るマウスを左に表示] [見るマウスを右に表示] に変わります。

※ [スクロール] は、本書 P.88 に記載の [スクロール機能を使用する] の有効/無効を切り替えるショートカットです。

見るマウスの設定 - ショートカット

見るマウスに関する 14 種類のショートカットには、ショートカット キーを割り当てることができます。



①見るマウスに関するショートカットを選択します。

②編集ボタンを押します。

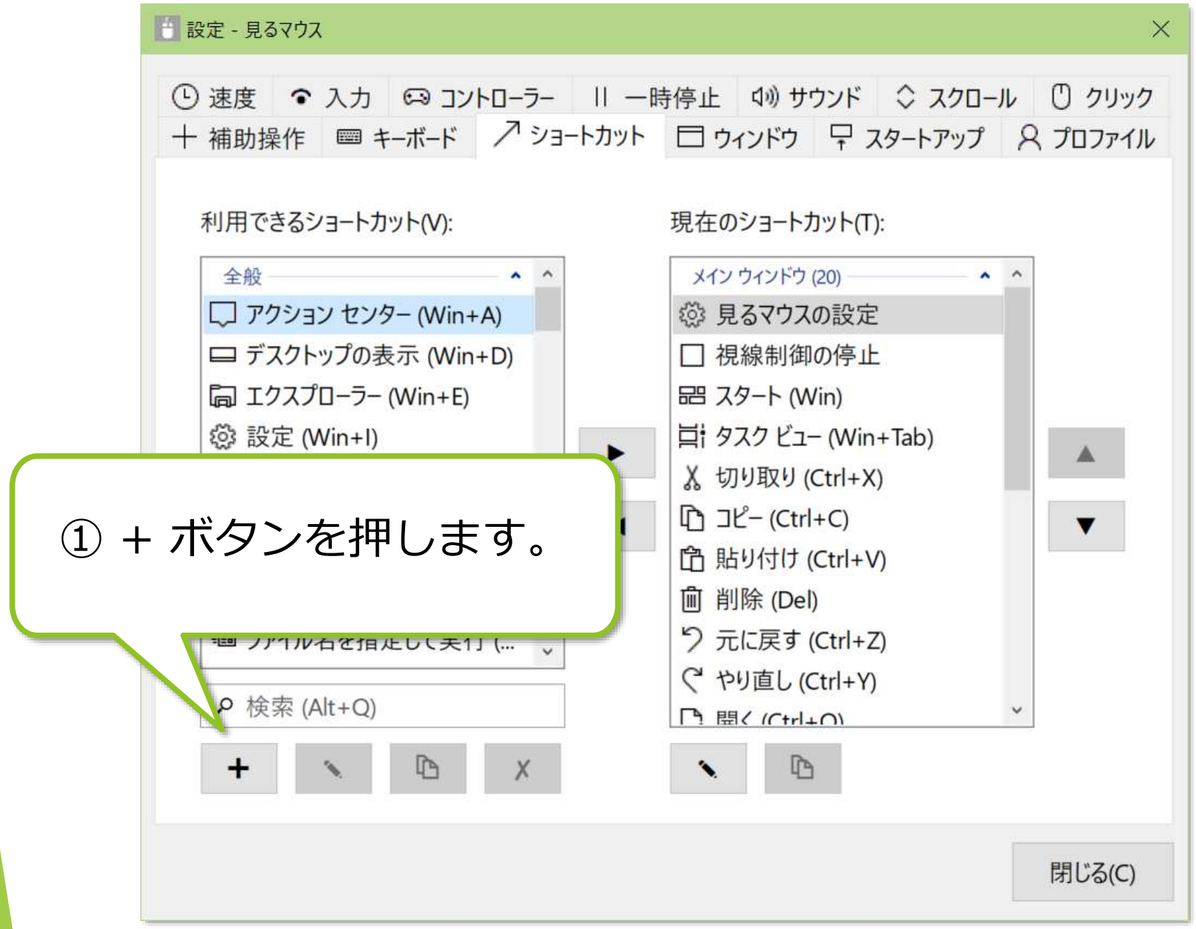
③ダイアログが表示されるので、割り当てるキーを選択します。

④[OK] ボタンを押します。この例では Ctrl + F1 キーを押すと、見るマウスの設定画面が開くようになります。

※ 選択したキーによっては割り当てられない場合があります。その場合、④の [OK] ボタンは押せなくなりますので、別のキーを選択してください。

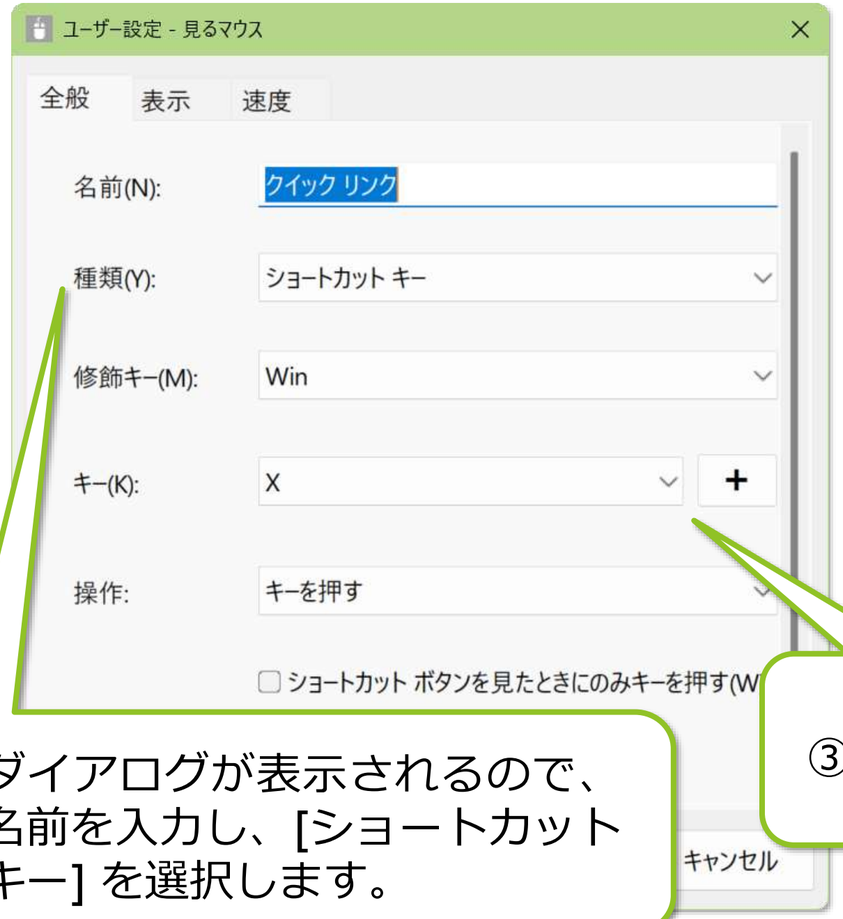
見るマウスの設定 - 独自のショートカットの追加

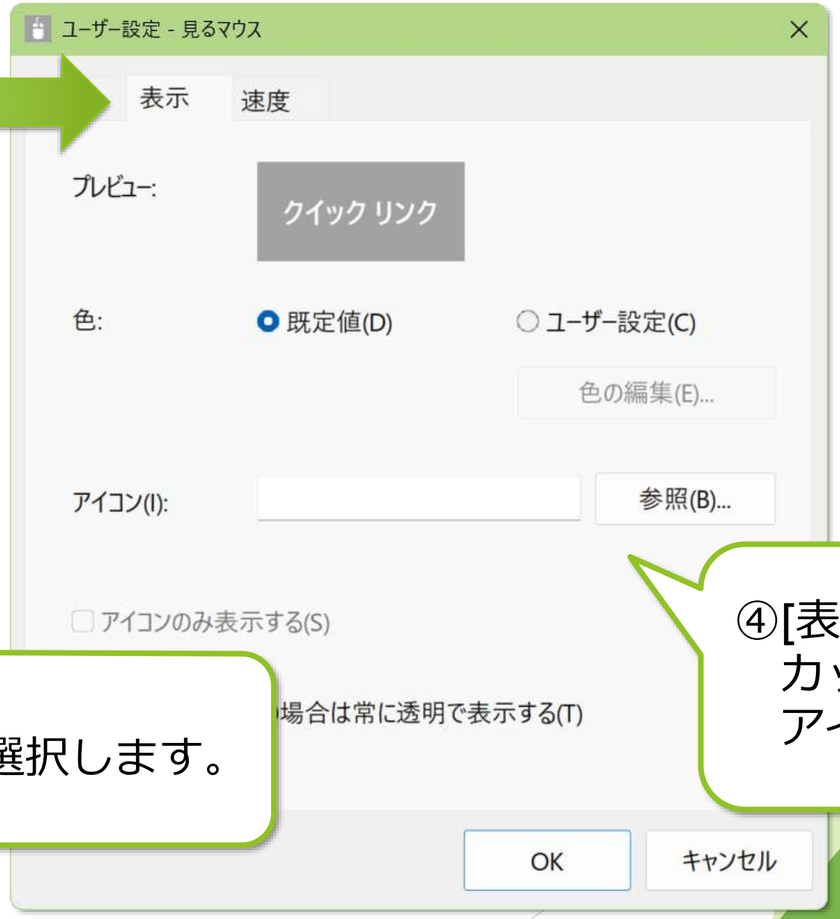
独自にショートカット キーを最大 100 個まで追加することができます。



見るマウスの設定 - 独自のショートカットの追加

(続き)





②ダイアログが表示されるので、名前を入力し、[ショートカット キー] を選択します。

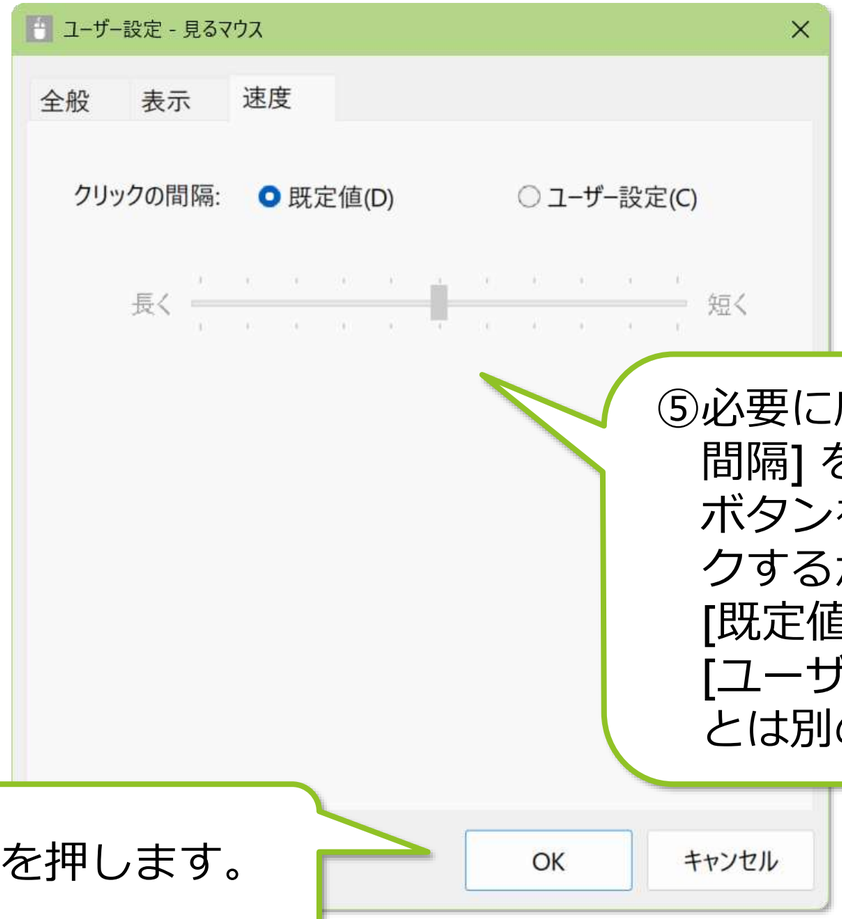
③キーを選択します。

④[表示] タブでショートカット ボタンの色とアイコンを設定します。

※ [名前] には、後述⑧のウィンドウに表示するための短い文字列を設定してください。

見るマウスの設定 - 独自のショートカットの追加

(続き)

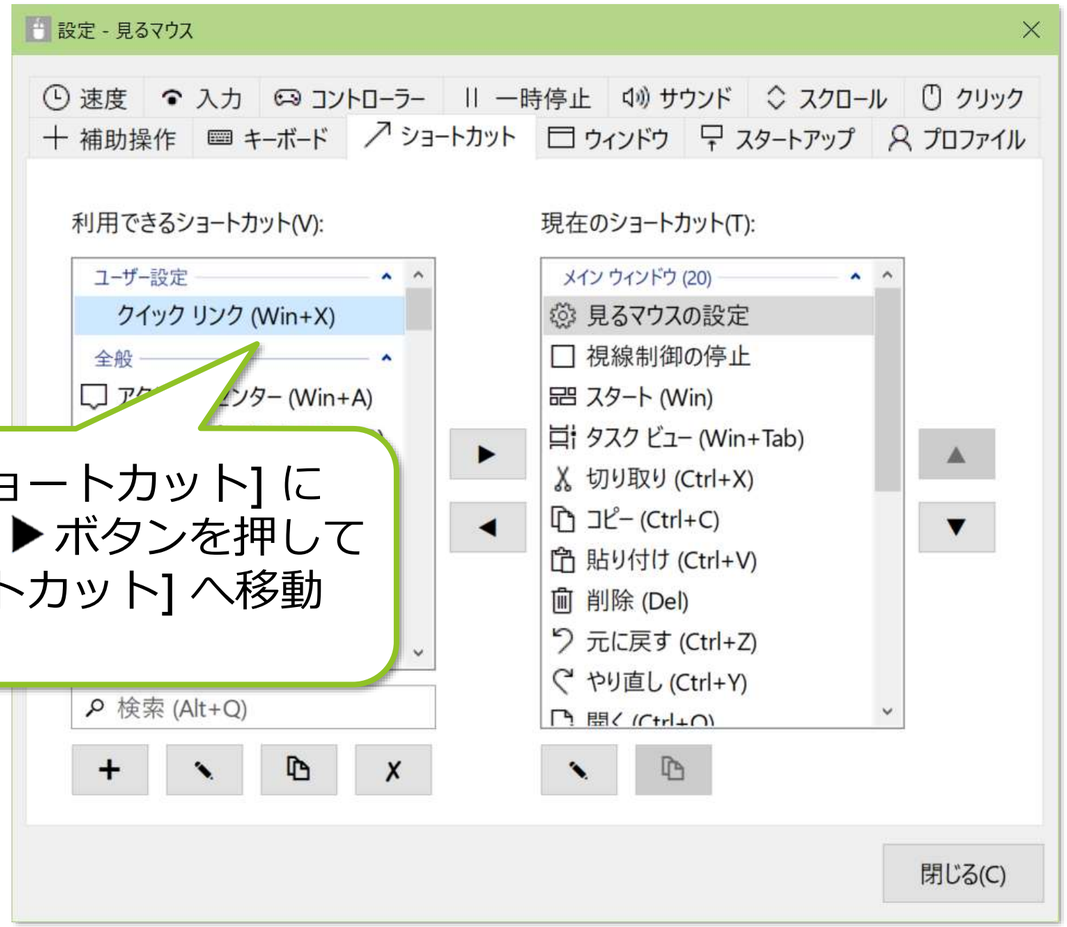


⑤必要に応じて、[速度] タブで [クリックの間隔] を設定します。このショートカットボタンをどのくらいの間見続けたらクリックするかの設定です。
[既定値] は本書 P.46 と同じ間隔です。
[ユーザー設定] を選択すると、本書 P.46 とは別の間隔を設定することができます。

⑥[OK] を押します。

見るマウスの設定 - 独自のショートカットの追加

(続き)



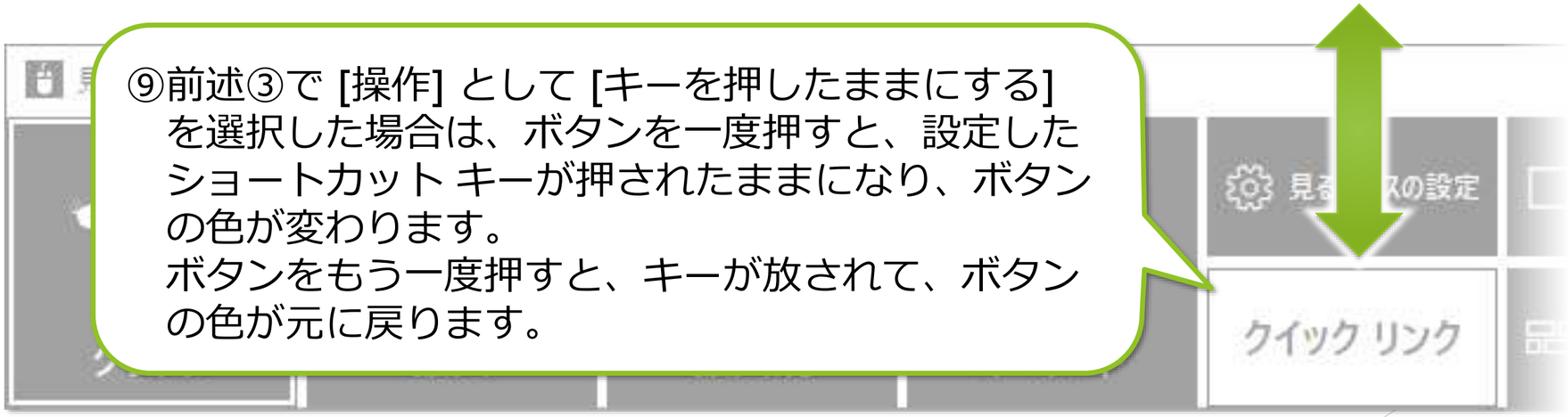
⑦[利用できるショートカット] に追加されます。▶ボタンを押して[現在のショートカット] へ移動させます。

見るマウスの設定 - 独自のショートカットの追加

(続き)

⑧ウィンドウに表示されて、他のショートカットと同様に操作できます。

⑨前述③で [操作] として [キーを押したままにする] を選択した場合は、ボタンを一度押すと、設定したショートカット キーが押されたままになり、ボタンの色が変わります。
ボタンをもう一度押すと、キーが放されて、ボタンの色が元に戻ります。



※ 前述③で [操作] として [キーを繰り返し押す] を選択した場合は、キーが繰り返し入力されます。

見るマウスの設定 - 見たときにのみキーを押す

本書 P.101 の画面で [ショートカット ボタンを見たときにのみキーを押す] にチェックを付けた場合は、本書 P.48 の入力方式の設定に関わらず、そのショートカット ボタンを見たときにのみキーが押されます。[操作] の設定によって、ショートカット ボタンを見たときのキーの入力が以下のように変わります。

[操作]	**キーの入力**
[キーを押す] を選んだ場合	ショートカット ボタンを見たときにキーが押されてすぐに放されます。
[キーを繰り返し押す] を選んで、[ショートカット ボタンから目を離したときにキーを放す] のチェックを外した場合	ショートカット ボタンを見たときにキーが繰り返し押され、ショートカット ボタンから目を離してもキーは繰り返し押され続けます。再度ショートカット ボタンを見るとキーの繰り返しが停止します。
[キーを繰り返し押す] を選んで、[ショートカット ボタンから目を離したときにキーを放す] にチェックを付けた場合	ショートカット ボタンを見たときにキーが繰り返し押され、ショートカット ボタンから目を離すとキーの繰り返しが停止します。

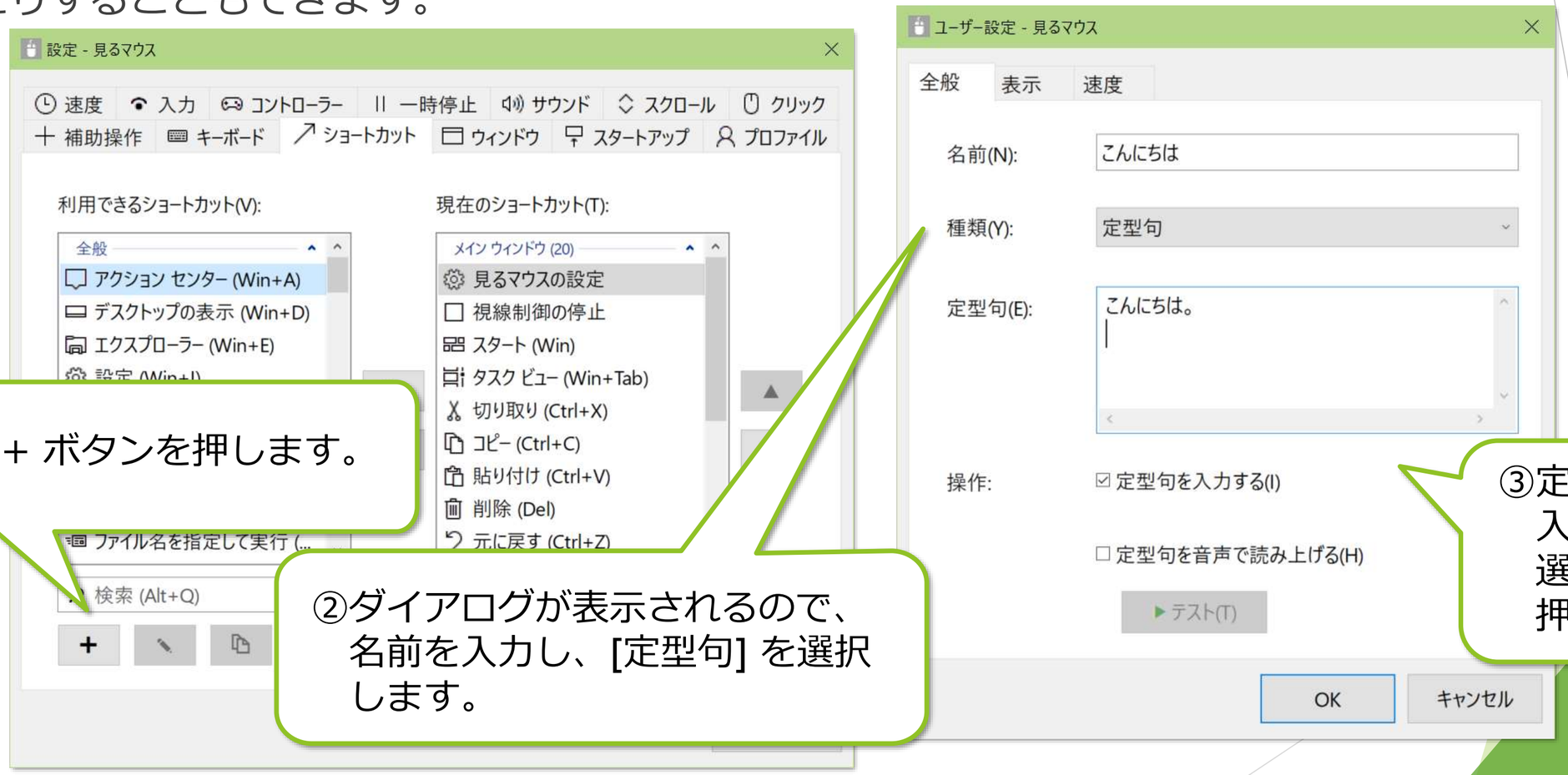
見るマウスの設定 - 見たときにのみキーを押す

(続き)

[操作]	キーの入力
[キーを押したままにする] を選んで、[ショートカット ボタンから目を離したときにキーを放す] のチェックを外した場合	ショートカット ボタンを見たときにキーが押されたままになり、ショートカット ボタンから目を離してもキーは押されたままになります。再度ショートカット ボタンを見るとキーが放されます。
[キーを押したままにする] を選んで、[ショートカット ボタンから目を離したときにキーを放す] にチェックを付けた場合	ショートカット ボタンを見たときにキーが押されたままになり、ショートカット ボタンから目を離すとキーが放されます。

見るマウスの設定 - 定型句の追加

任意の定型句を設定して、テキスト エディター等へ入力したり、音声で読み上げたりすることもできます。



① + ボタンを押します。

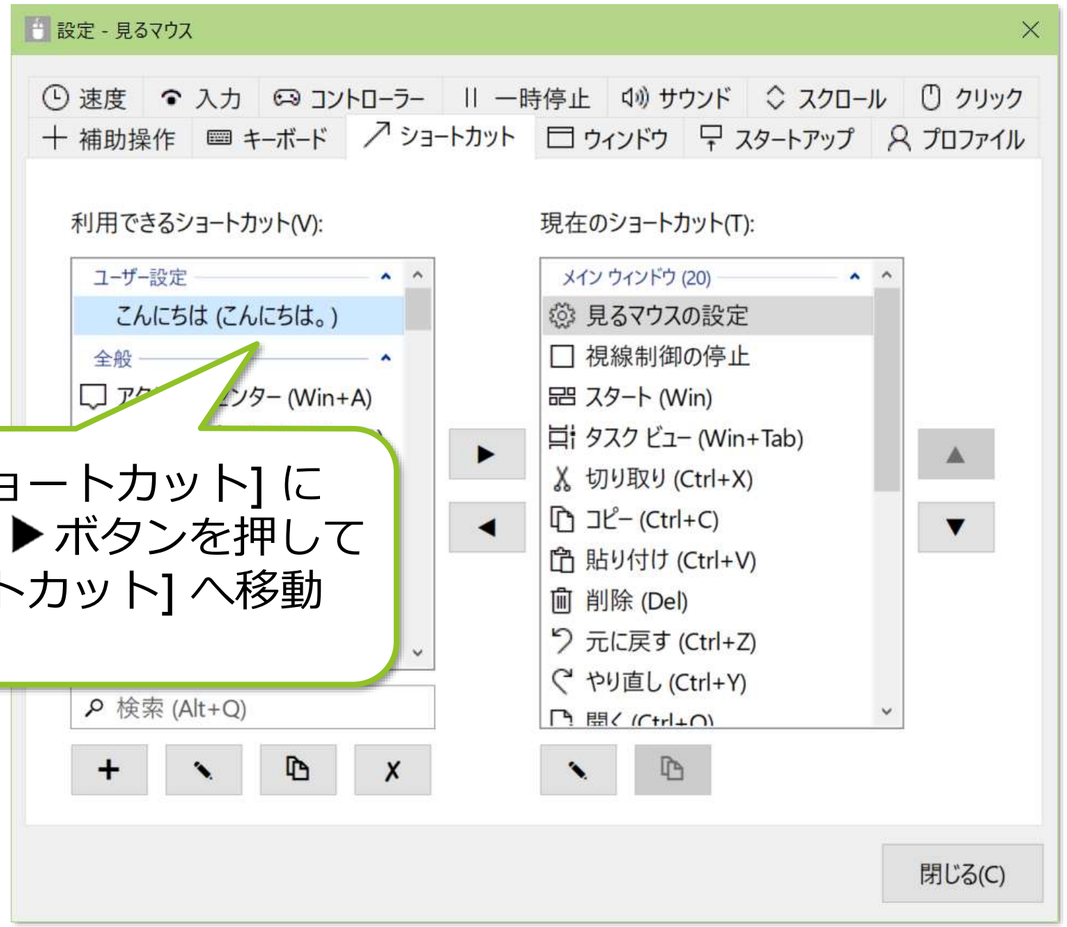
②ダイアログが表示されるので、名前を入力し、[定型句] を選択します。

③定型句を入力し、入力か読み上げかを選択して、[OK] を押します。

※ [名前] には、後述⑤のウィンドウに表示するための短い文字列を設定してください。

見るマウスの設定 - 定型句の追加

(続き)

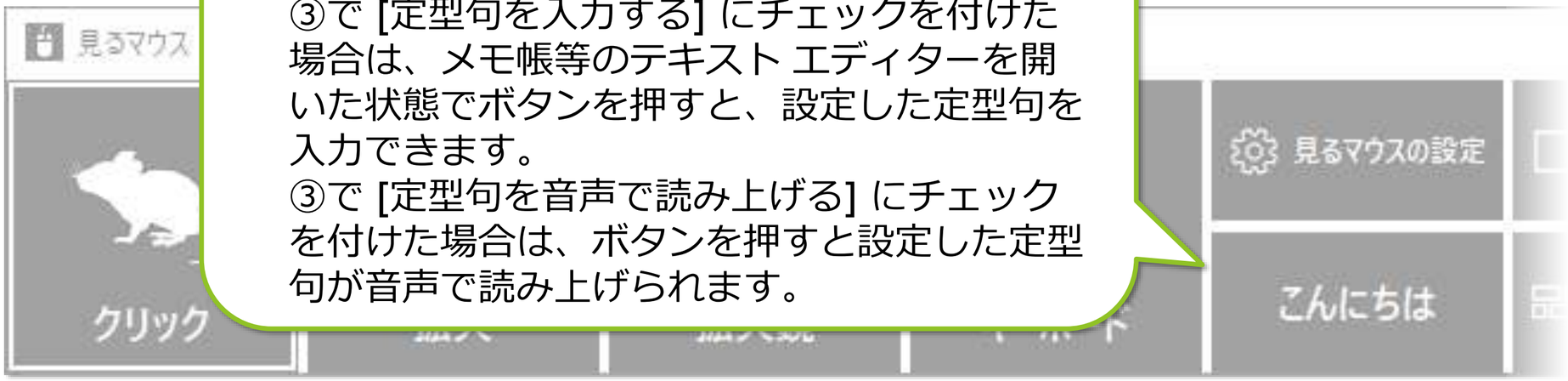


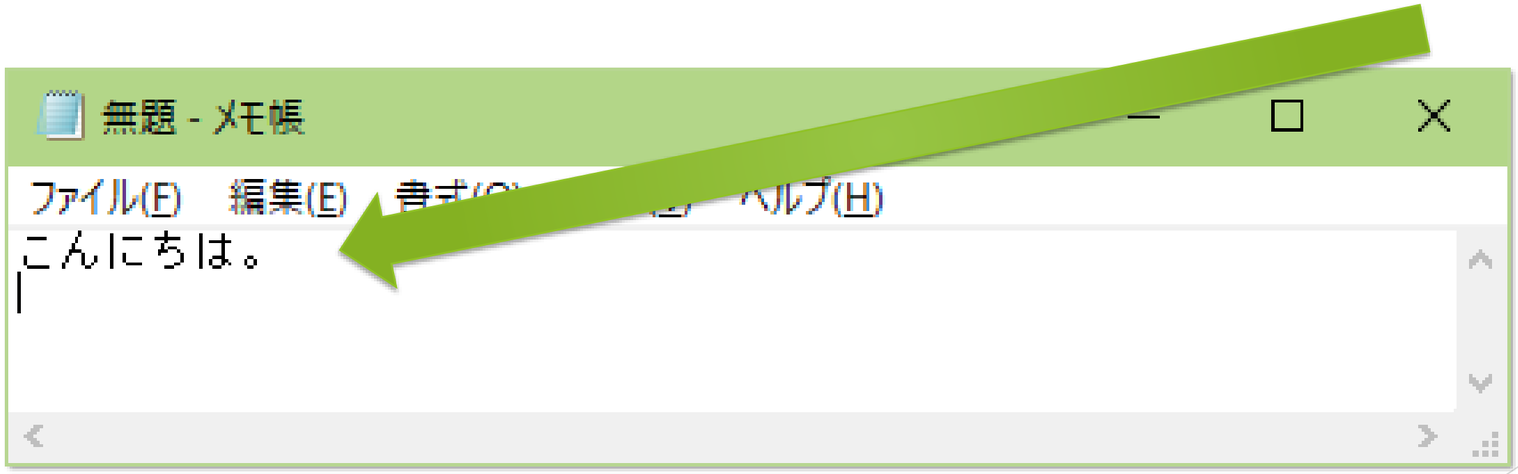
④[利用できるショートカット] に追加されます。▶ボタンを押して[現在のショートカット] へ移動させます。

見るマウスの設定 - 定型句の追加

(続き)

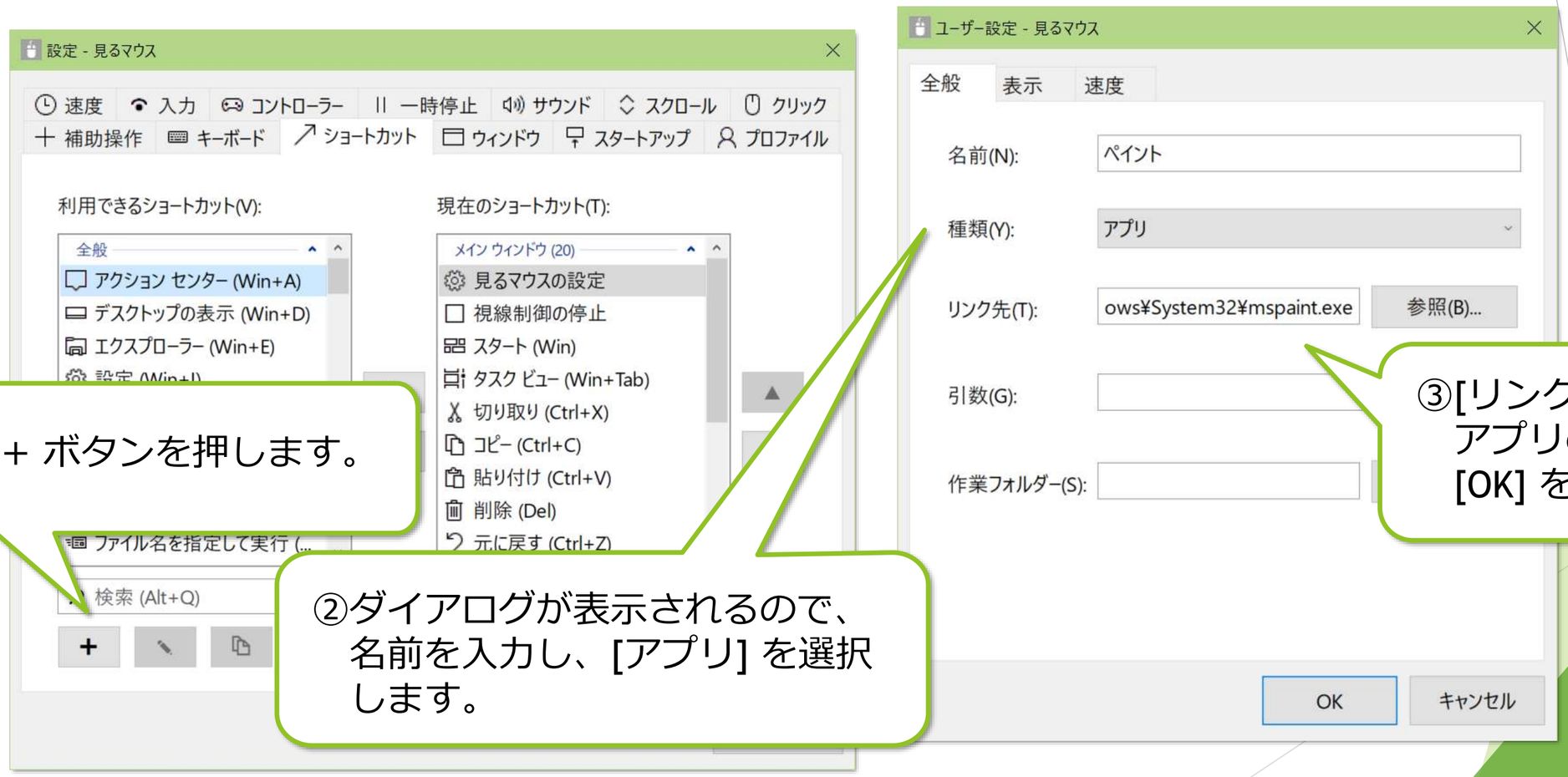
⑤ウィンドウにボタンが表示されます。
③で [定型句を入力する] にチェックを付けた場合は、メモ帳等のテキスト エディターを開いた状態でボタンを押すと、設定した定型句を入力できます。
③で [定型句を音声で読み上げる] にチェックを付けた場合は、ボタンを押すと設定した定型句が音声で読み上げられます。





見るマウスの設定 - 他のアプリのショートカット

任意のアプリを設定して、起動することもできます。



① + ボタンを押します。

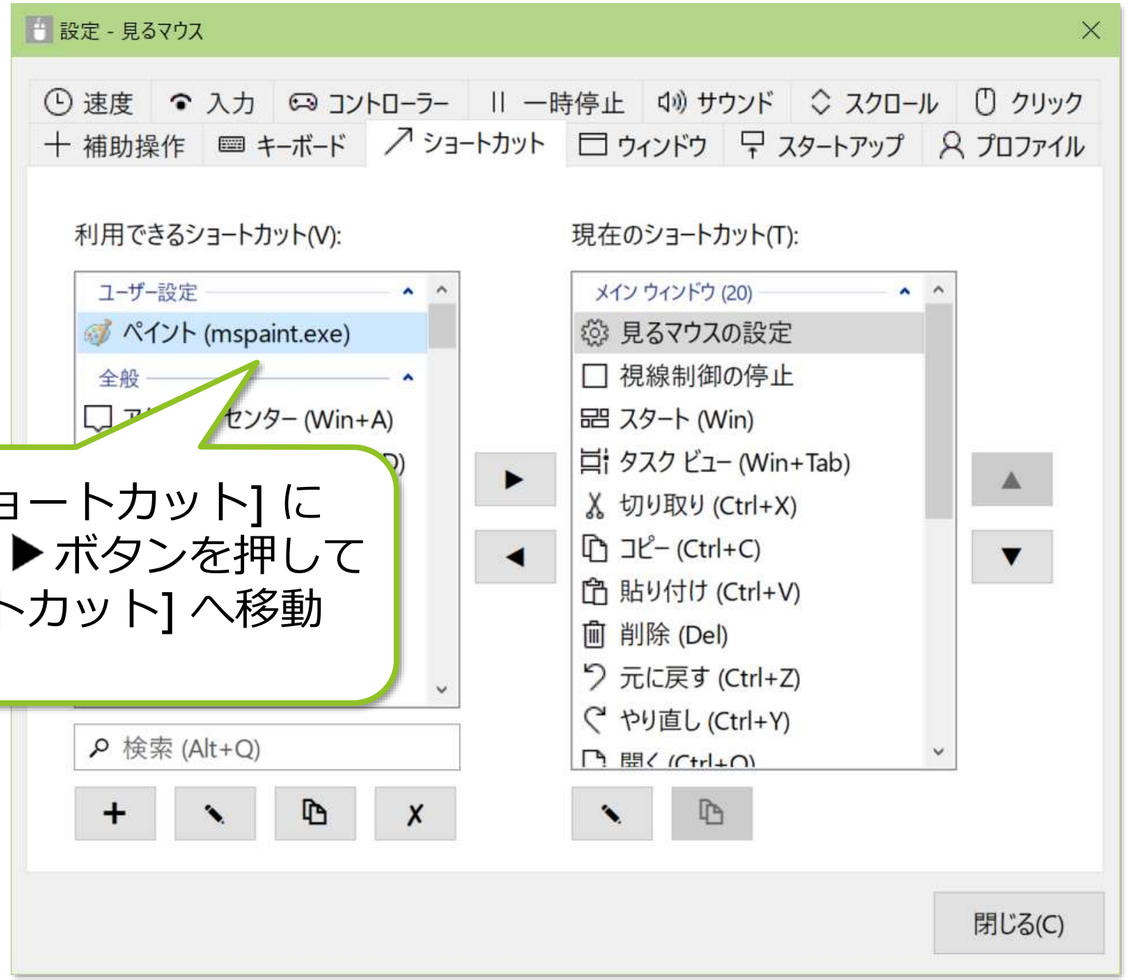
②ダイアログが表示されるので、名前を入力し、[アプリ] を選択します。

③[リンク先] に起動するアプリのパスを設定して、[OK] を押します。

※ [名前] には、後述⑤のウィンドウに表示するための短い文字列を設定してください。

見るマウスの設定 - 他のアプリのショートカット

(続き)

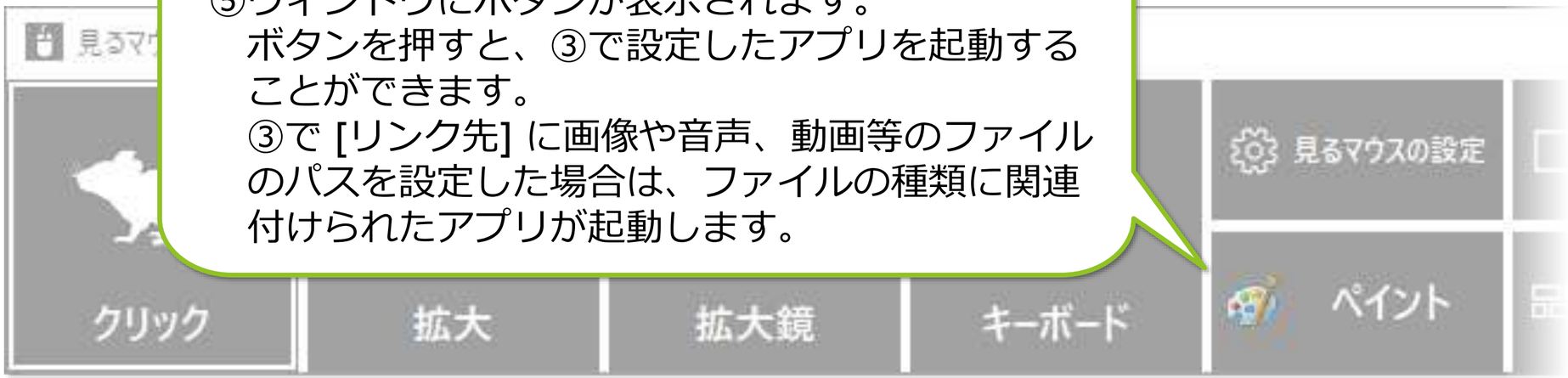


④[利用できるショートカット] に追加されます。▶ボタンを押して[現在のショートカット] へ移動させます。

見るマウスの設定 - 他のアプリのショートカット

(続き)

⑤ウィンドウにボタンが表示されます。
ボタンを押すと、③で設定したアプリを起動することができます。
③で [リンク先] に画像や音声、動画等のファイルのパスを設定した場合は、ファイルの種類に関連付けられたアプリが起動します。



見るマウスの設定 - SwitchBot ボット

SwitchBot ボットのオン/オフを切り替えるショートカットを設定することもできます。

日本、米国、カナダを含む一部の国または地域では、本書 P.101 の独自のショートカットの種類に [SwitchBot ボットまたは SwitchBot プラグミニ] を選択することができます。それ以外の国または地域では、[SwitchBot ボット] を選択することができます。
SwitchBot ボット本体を設置して、お使いの PC の Bluetooth を有効にしてください。すると画面の [一意の識別子] が設定できるようになりますので、[名前] を入力して [OK] をクリックします。

※ SwitchBot ボットのショートカットは、Windows 11 または Windows 10 でのみ使用することができます。

見るマウスの設定 - SwitchBot ボット

(続き)

もし SwitchBot のスマートフォン アプリで SwitchBot ボット本体にパスワードを設定した場合は、見るマウスの設定画面に同じパスワードを入力してください。

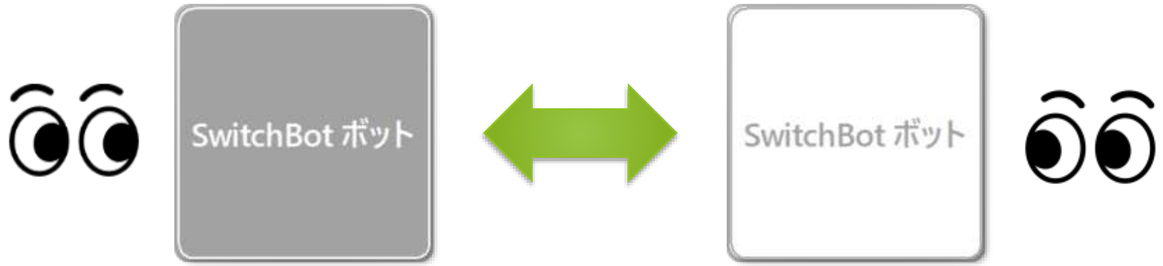
SwitchBot のスマートフォン アプリでパスワードを設定した場合は、見るマウスの設定画面に [パスワード] の項目が表示されます。
パスワードを入力してください。

見るマウスの設定 - SwitchBot ボット

(続き)

前述の手順で設定した SwitchBot ボットのショートカットを見続けると、SwitchBot ボット本体のモードに応じたオン/オフ操作が行われます。

もし「押す」モードの場合は、見るマウスのショートカット ボタンの色は変わりません。もし「スイッチ」モードの場合は、見るマウスのショートカット ボタンの色がオン/オフの状態に応じて変わります。



「スイッチ」モードで
オフの状態

「スイッチ」モードで
オンの状態

SwitchBot ボット本体のモードを変更する場合は、SwitchBot のスマートフォン アプリから設定してください。

見るマウスの設定 - SwitchBot プラグミニ

日本、米国、カナダを含む一部の国または地域では、SwitchBot プラグミニのオン/オフを切り替えるショートカットを設定することができます。

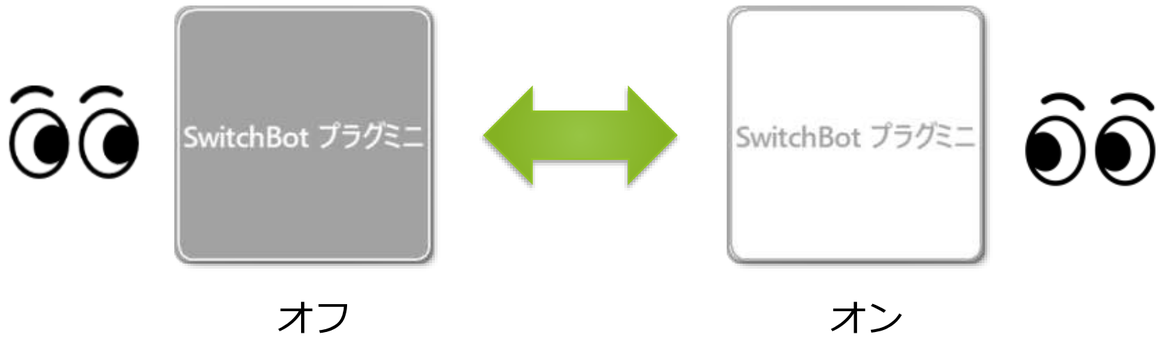
日本、米国、カナダを含む一部の国または地域では、本書 P.101 の独自のショートカットの種類に [SwitchBot ボットまたは SwitchBot プラグミニ] を選択することができます。
SwitchBot プラグミニ本体を電源コンセントへ差し込み、お使いの PC の Bluetooth を有効にしてください。すると画面の [一意の識別子] が設定できるようになりますので、[名前] を入力して [OK] をクリックします。

※ SwitchBot プラグミニのショートカットは、Windows 11 または Windows 10 でのみ使用することができます。
※ 見るマウスは、EU の SwitchBot プラグミニには対応していません。

見るマウスの設定 - SwitchBot プラグミニ

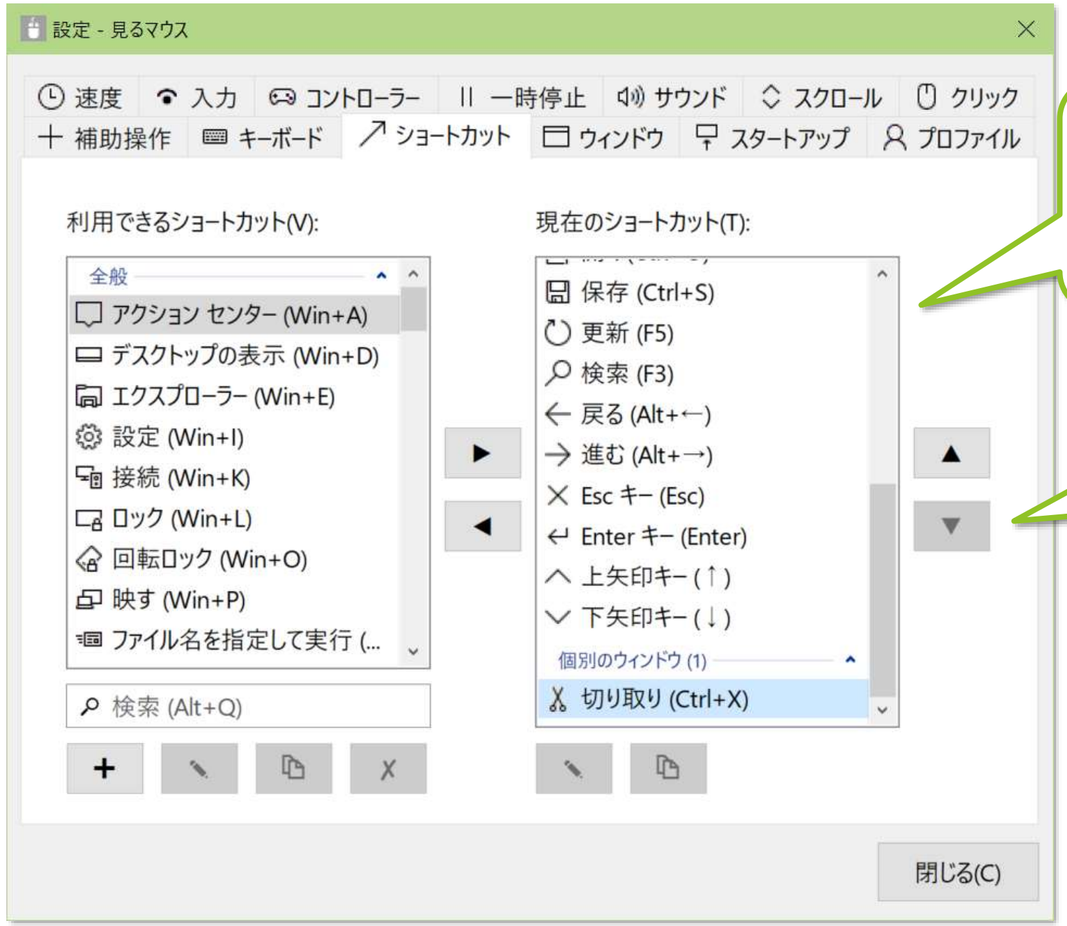
(続き)

前述の手順で設定した SwitchBot プラグミニのショートカットを見続けると、ボタンの色が変わり、SwitchBot プラグミニ本体のオン/オフが切り替わります。



見るマウスの設定 - 個別のウィンドウ

ショートカットを個別のウィンドウに表示することもできます。最大 100 個のショートカットを個別のウィンドウに設定できます。



①個別のウィンドウに表示させたいショートカットを [現在のショートカット] から選択します。

② ▼ を何回か押して [個別のウィンドウ] の下へ移動させます。

見るマウスの設定 - 個別のウィンドウ

(続き)

③デスクトップ画面に個別のウィンドウとしてショートカット ボタンが表示されます。

④個別のウィンドウはドラッグしてデスクトップ画面上で移動できます。個別のウィンドウの端をドラッグすると大きさを変更できます。

見るマウスの設定 - 個別のウィンドウ

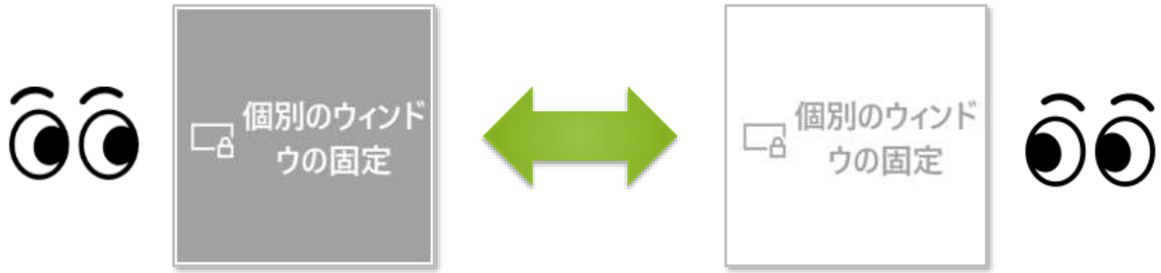
(続き)

個別のウィンドウは、ドラッグできないように固定することができます。

本書 P.118 の画面で、[利用できるショートカット] にある [個別のウィンドウの固定] のショートカットを選択し、▶ボタンを押して [現在のショートカット] へ移動させてください。[個別のウィンドウの固定] のショートカットが画面に表示されます。

[個別のウィンドウの固定] のショートカットを見続けると、ボタンの色が変わり、すべての個別のウィンドウがドラッグできなくなります。

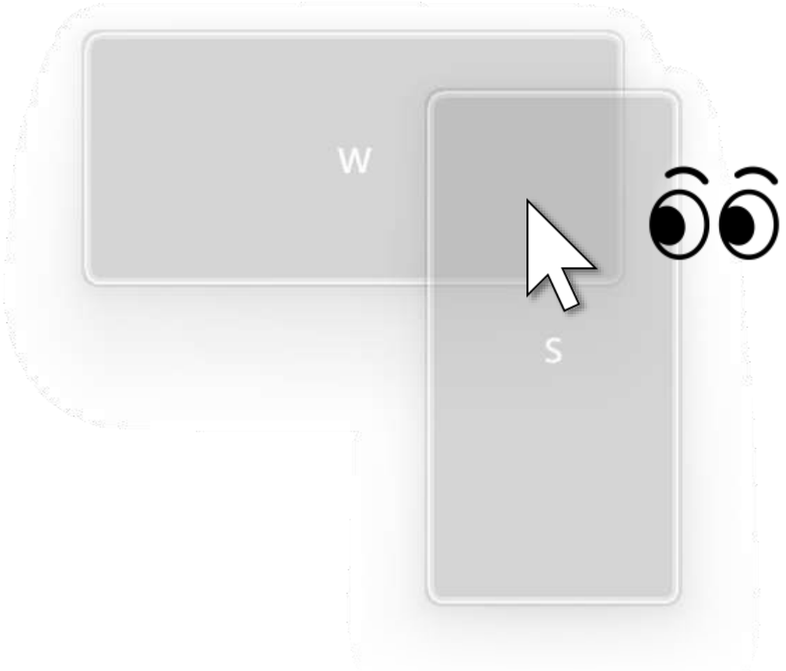
ドラッグできるようにするには、再度 [個別のウィンドウの固定] のショートカットを見続けます。



見るマウスの設定 - 個別のウィンドウ

(続き)

本書 P.101 の [表示] タブにある [個別のウィンドウの場合は常に透明で表示する] が有効なユーザー設定のショートカットを個別のウィンドウとして重ねて配置した場合、その重なった部分を見続けると、前面と背面の両方のショートカットを同時に実行することができます。



見るマウスの設定 - ウィンドウの表示

設定画面の [ウィンドウ] タブで、ウィンドウの表示位置と、ウィンドウを手前に表示するかどうか、自動的に非表示または透明にするか、及びウィンドウの色を変えることができます。

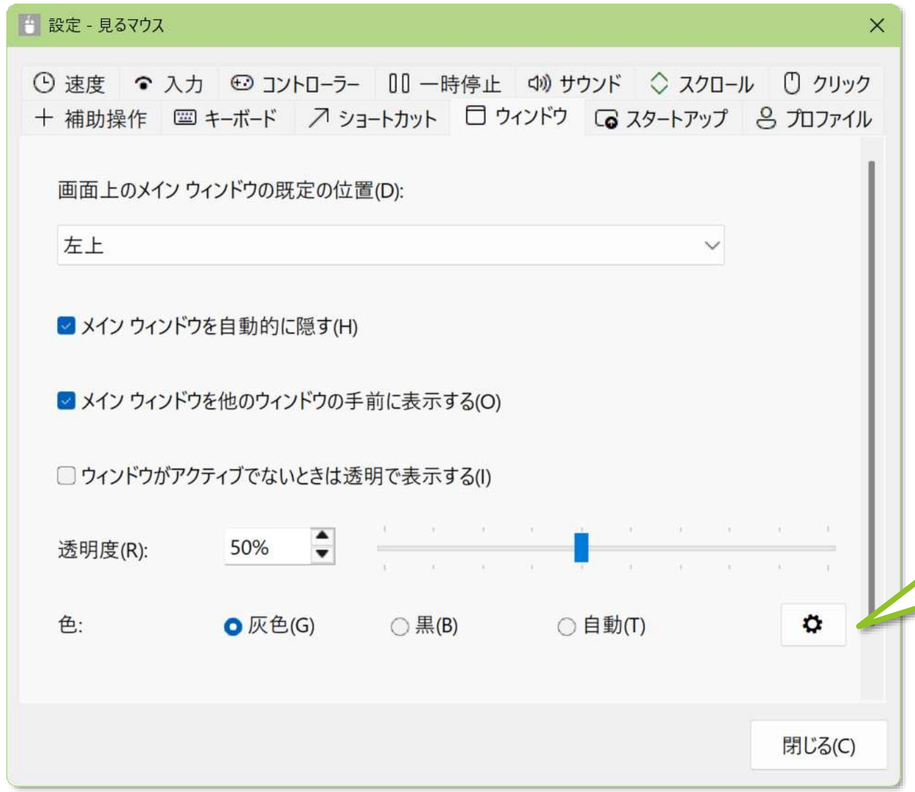
[画面上のメイン ウィンドウの既定の位置] で、見るマウスのウィンドウが非表示になったときに再表示させる位置を変えることができます。

[メイン ウィンドウを自動的に隠す] のチェックを外した場合は、見るマウスを終了したときの位置で、次回起動時にウィンドウが表示されます。

※ ハイ コントラストが有効な場合、色の設定は変えられません。

見るマウスの設定 - ウィンドウの表示

[色] の右にある歯車アイコンのボタンを押すと、新しいダイアログが表示され、[選択したクリック操作の境界] と [キーを押したままのショートカット ボタン] の色を変更することができます。

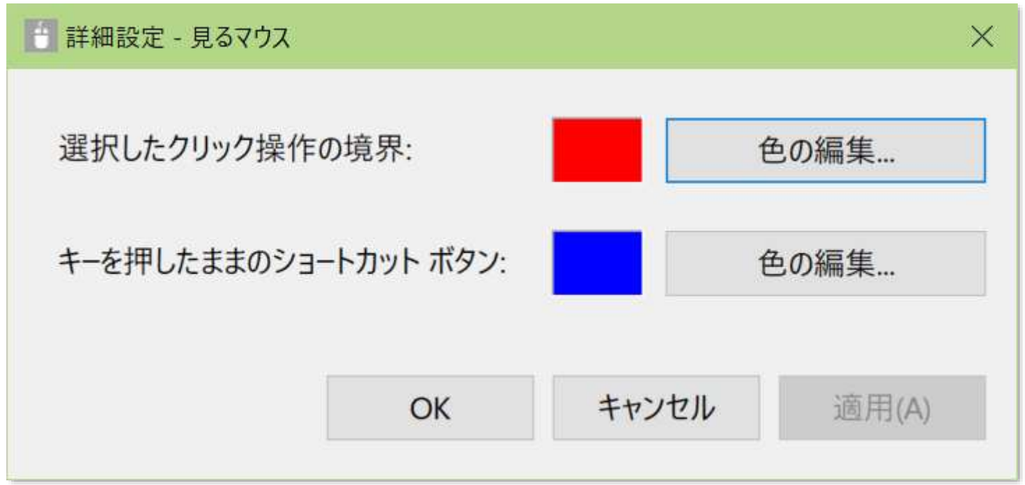


①[色] の右にある歯車アイコンのボタンを押します。

※ ハイ コントラストが有効な場合、色の設定は変えられません。

見るマウスの設定 - ウィンドウの表示

(続き)



②ダイアログが表示されるので、[色の編集] ボタンを押して色を変更します。初期値は白です。色を変更したら [OK] を押します。

③該当する箇所の色が変わります。この例では [選択したクリック操作の境界] を赤に変更したため、[クリック] の境界線が赤で表示されています。
また、[キーを押したままのショートカット ボタン] を青に変更したため、キーが押されたままになっているショートカット ボタンが青で表示されています。

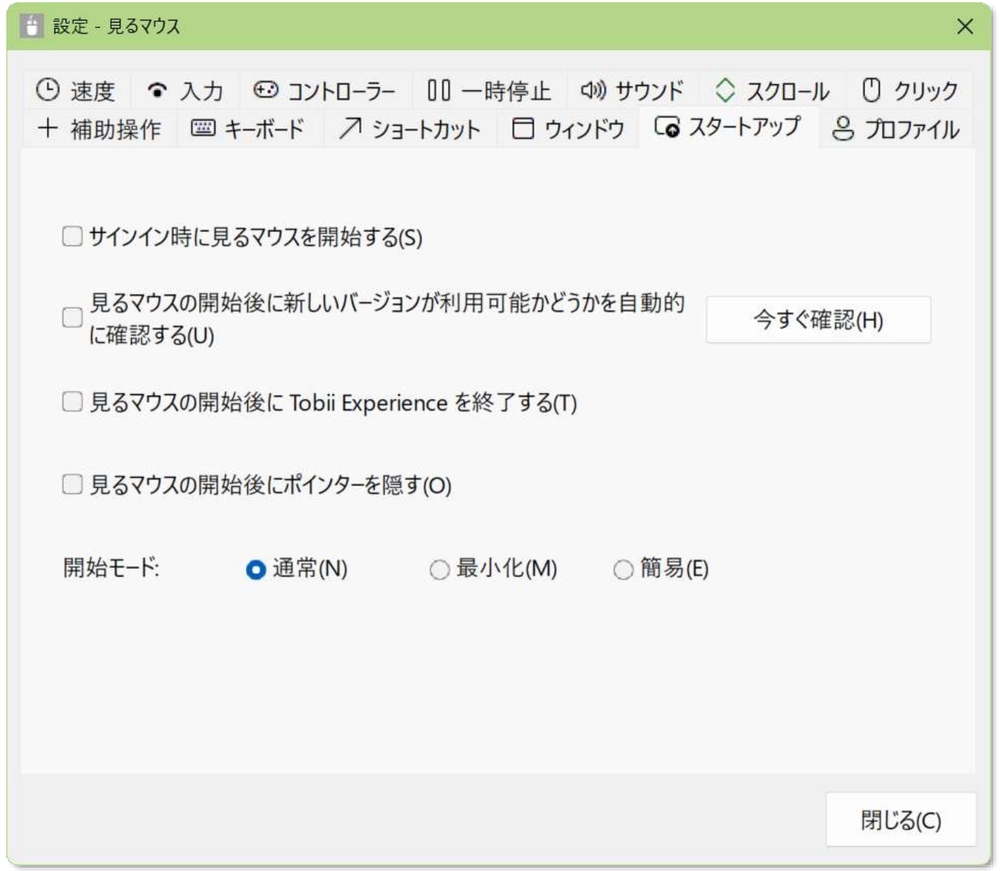
※ [キーを押したままのショートカット ボタン] の色を変更すると、[拡大鏡]、[ポインターの移動]、[目を閉じてクリック]、[スクロール]、[個別のウィンドウの固定]、[見るマウスの停止]、及び簡易モードの [一時停止] のボタンの色も変わります。

見るマウスの設定 - ウィンドウの表示

[ウィンドウ] タブを下へスクロールすると、[設定ウィンドウ内に垂直タブを表示する] という項目があります。この項目にチェックを付けると、[速度]、[入力] などのタブを縦に並べて表示させることができます。

見るマウスの設定 - 起動方法

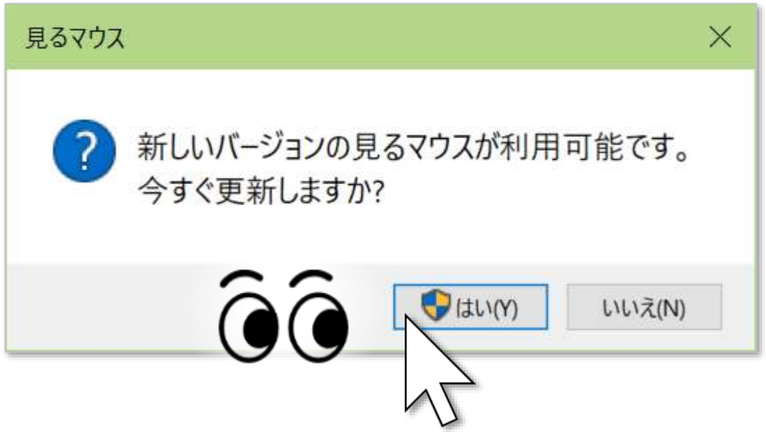
設定画面の [スタートアップ] タブで、Windows にサインインしたときに見るマウスを自動的に起動するかどうかと、通知領域の Tobii Experience または Tobii EyeX Interaction を終了するかどうか、及び開始モードを変えることができます。



見るマウスの設定 - 新しいバージョンの確認

[見るマウスの開始後に新しいバージョンが利用可能かどうかを自動的に確認する] にチェックを付けると、見るマウスを起動したときに自動的にインターネット経由で新しいバージョンを確認します。

見るマウスの新しいバージョンが利用可能な場合は、以下のメッセージが表示されます。更新するには [はい] をクリックします。



※ 見るマウスが簡易モードの場合は、自動的な確認を行いません。

※ Windows 11, Windows 10, Windows 8.1 で従量制課金接続の場合は、自動的な確認を行いません。

見るマウスの設定 - 新しいバージョンの確認

(続き)

ユーザー アカウント制御の画面が表示されるので、[はい] をクリックします。

※ Windows の標準アカウントをお使いの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力する必要があります。

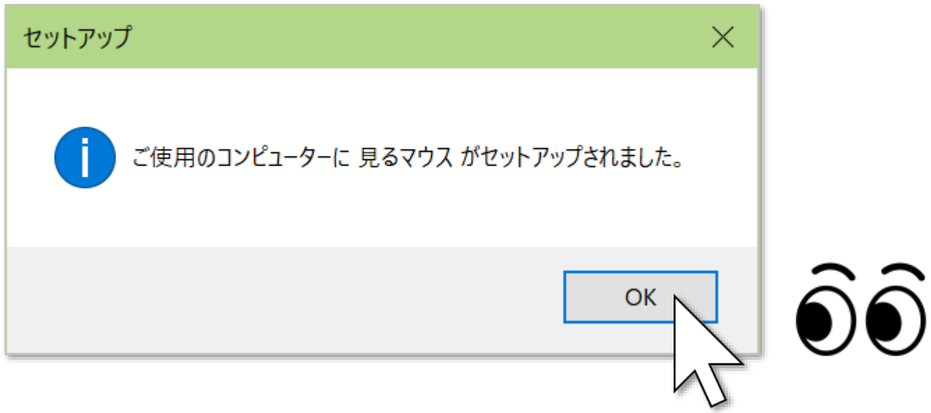
見るマウスの設定 - 新しいバージョンの確認

(続き)

新しいバージョンの見るマウスのインストールが自動的に行われます。インストール中は一時的に視線/頭部追跡が停止します。

インストールが完了すると、新しいバージョンの見るマウスが自動的に起動して、視線/頭部追跡を再開できます。

インストールの最後に以下のメッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。



見るマウスの設定 - 簡易モード

本書 P.126 の画面で開始モードを [簡易] に設定すると、見るマウスは簡易モードで動作します。簡易モードは、使用可能な機能と画面の表示項目を制限した動作方式です。通常モードと比較して、以下の違いがあります。

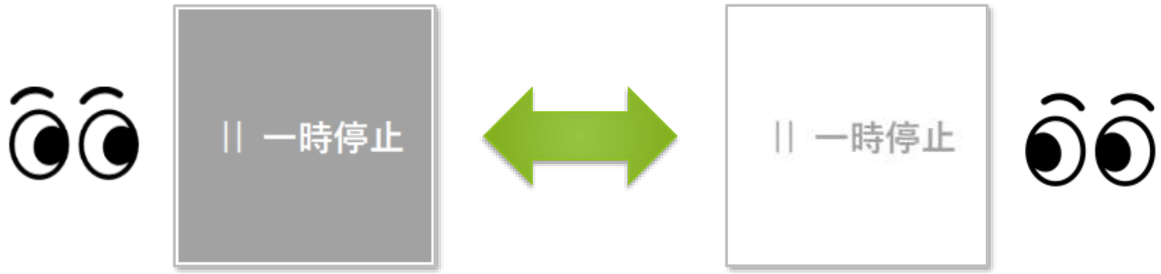
- 簡易モードでは、同じ所を見続けたときにクリックのみを行います。ダブルクリックやドラッグなど、クリック以外の操作はできません。
- 簡易モードでは、画面に一時停止ボタンのみが表示されます。見るマウスのメイン ウィンドウや個別のウィンドウは表示されません。

一時停止ボタンはドラッグしてデスクトップ画面上で移動できます。また、一時停止ボタンの端をドラッグすると大きさを変更できます。簡易モードでは視線/頭部追跡でドラッグすることができないため、ドラッグするには実際のマウスを使用する必要があります。

見るマウスの設定 - 簡易モード

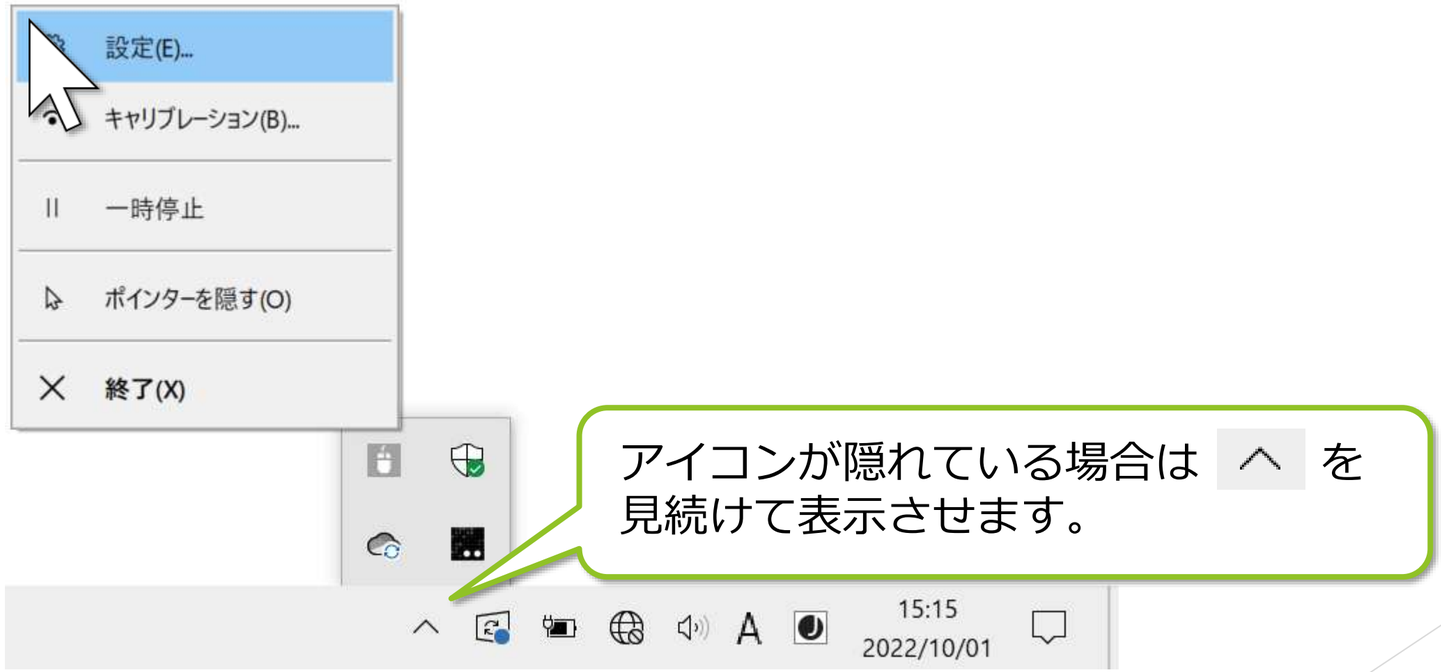
簡易モードでクリック操作を一時停止するには、一時停止ボタンを見続けます。
するとボタンの色が変わり、クリック操作が一時停止します。

一時停止を解除するには、再度一時停止ボタンを見続けます。



見るマウスの設定 - 簡易モード

簡易モードから通常モードへ戻すには、タスク バーの通知領域のアイコン を見続けて、表示されるメニューから [設定] を選びます。見るマウスの設定画面が表示されるので、本書 P.126 に記載している [スタートアップ] タブへ移動して開始モードを [通常] に設定すると、通常モードへ戻ります。

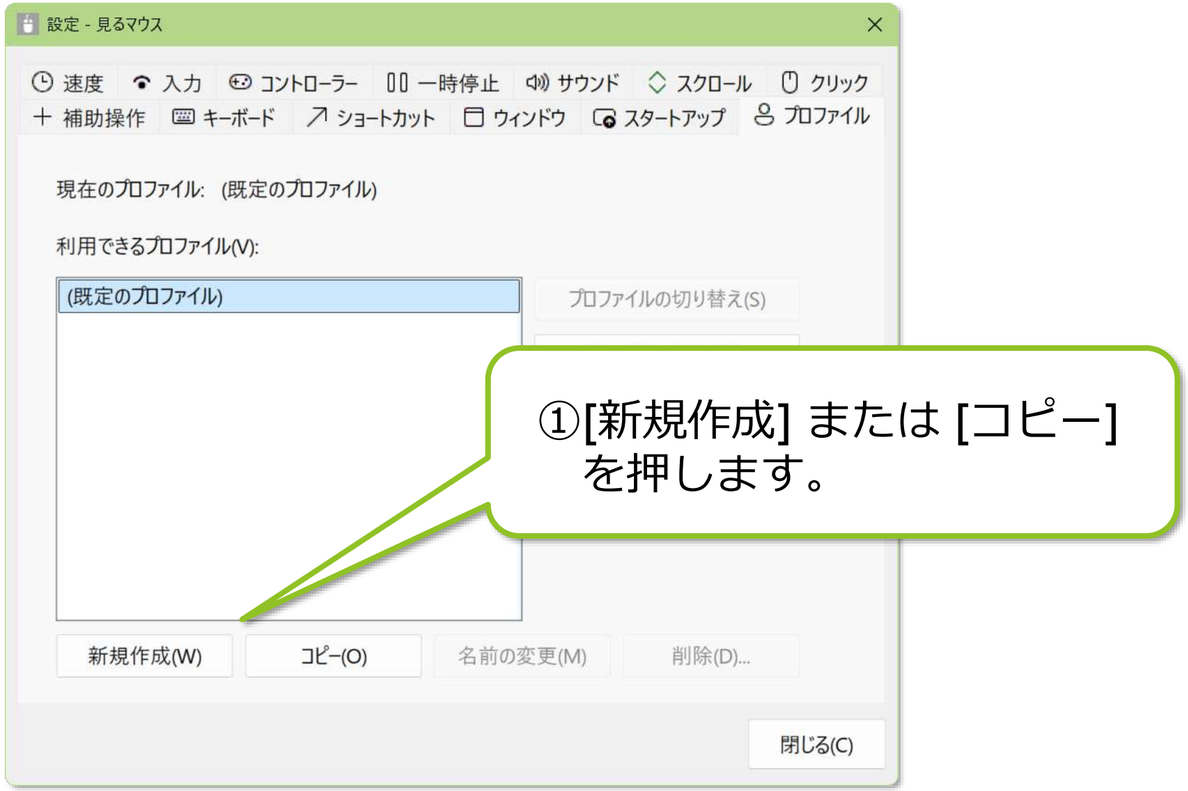


見るマウスの設定 - 簡易モード

簡易モード中に見るマウスを終了するには、タスク バーの通知領域のアイコン を見続けて、表示されるメニューから [終了] を選びます。見るマウスを次回起動したときは、簡易モードで起動します。

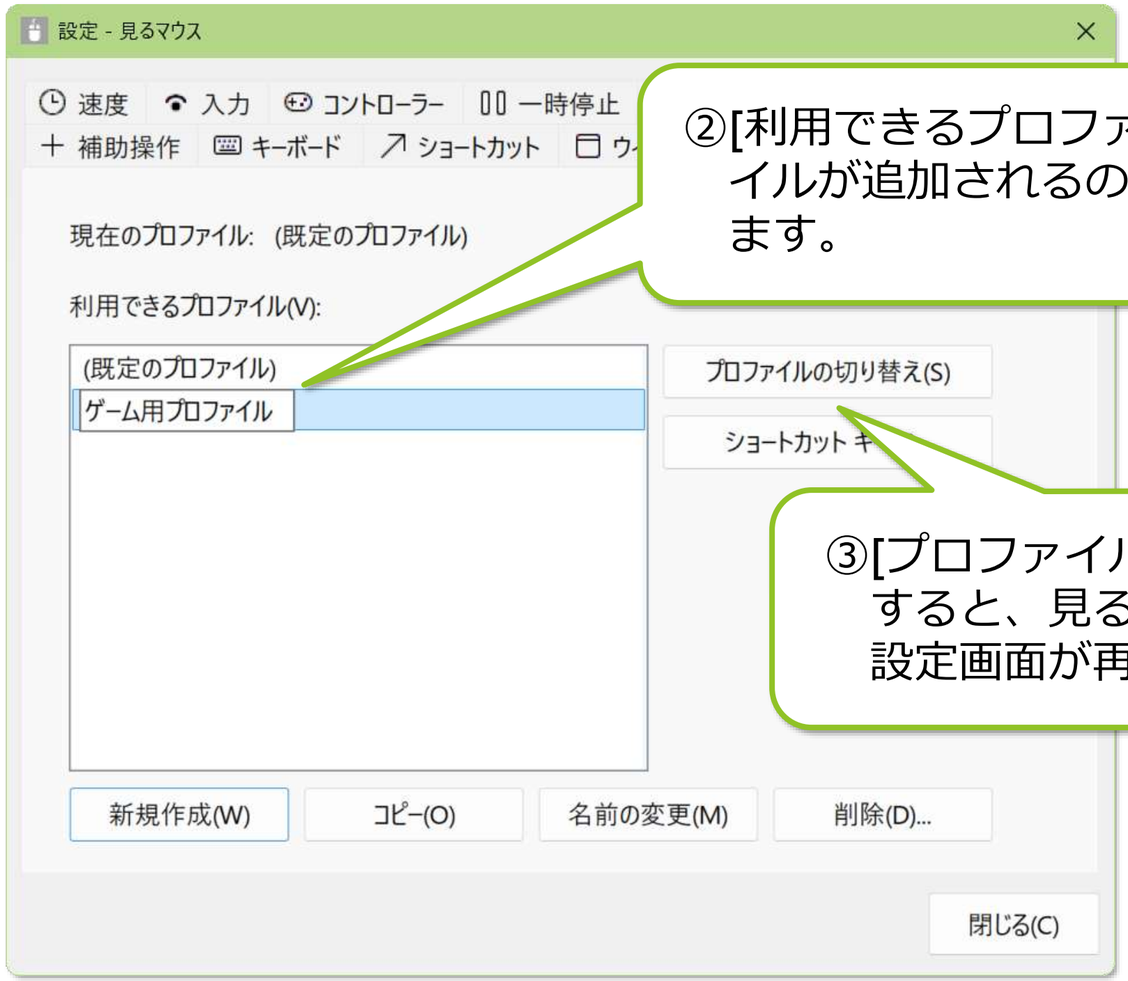
見るマウスの設定 - プロファイル

設定画面の [プロファイル] タブで、見るマウスの一連の設定を保存して切り替えることができます。例えば、ゲーム用に好みのショートカットの配置を予めプロファイルとして保存しておき、ゲームをプレイする直前にそのプロファイルへ切り替えることで、保存していたとおりにショートカットを素早く配置させることができます。



見るマウスの設定 - プロファイル

(続き)



②[利用できるプロファイル] にプロファイルが追加されるので、名前を入力します。

③[プロファイルの切り替え] を押します。すると、見るマウスが再起動して、この設定画面が再表示されます。

見るマウスの設定 - プロファイル

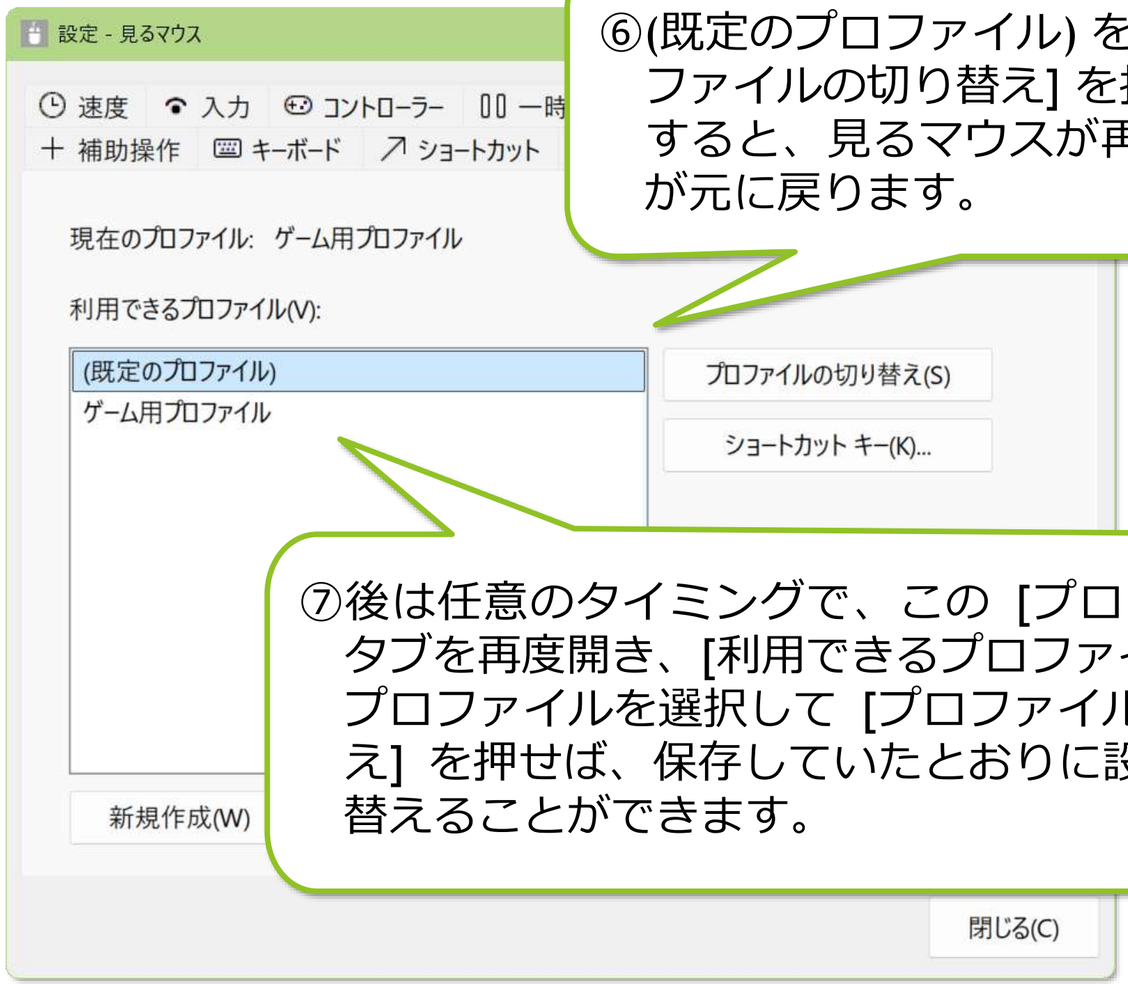
(続き)

④[現在のプロファイル] が②で入力した名前に変わります。

⑤[ショートカット] タブなどで、現在のプロファイルに保存したい設定を行います。

見るマウスの設定 - プロファイル

(続き)

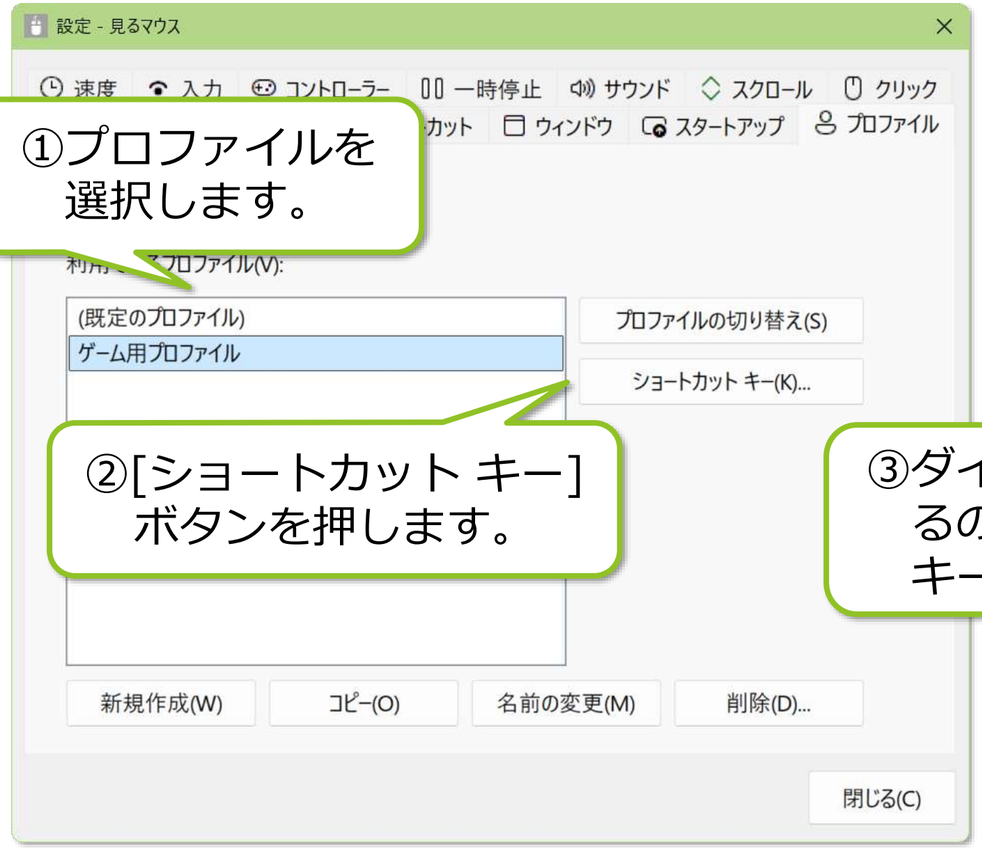


⑥(既定のプロファイル) を選択して、[プロファイルの切り替え] を押します。
すると、見るマウスが再起動して、設定が元に戻ります。

⑦後は任意のタイミングで、この [プロファイル] タブを再度開き、[利用できるプロファイル] からプロファイルを選択して [プロファイルの切り替え] を押せば、保存していたとおりに設定を切り替えることができます。

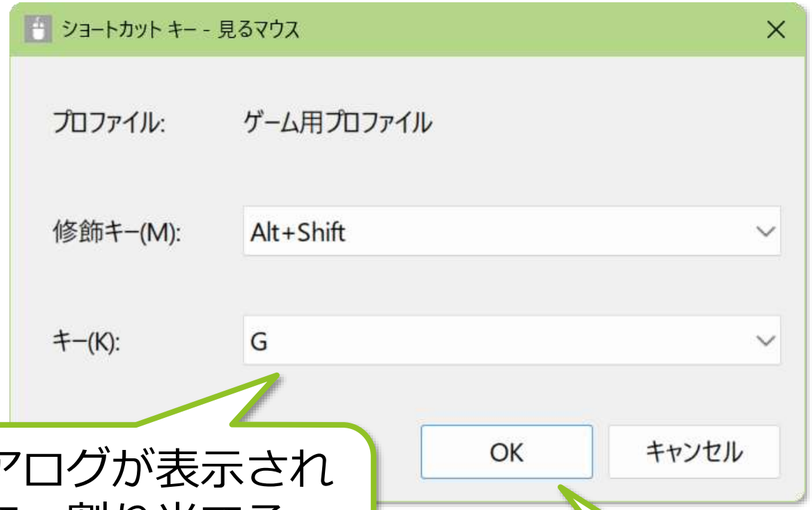
見るマウスの設定 - プロファイル

[プロファイルの切り替え] を押す以外の方法として、割り当てたキーボードのキーを押したときにプロファイルを切り替えることもできます。



①プロファイルを選択します。

②[ショートカット キー] ボタンを押します。



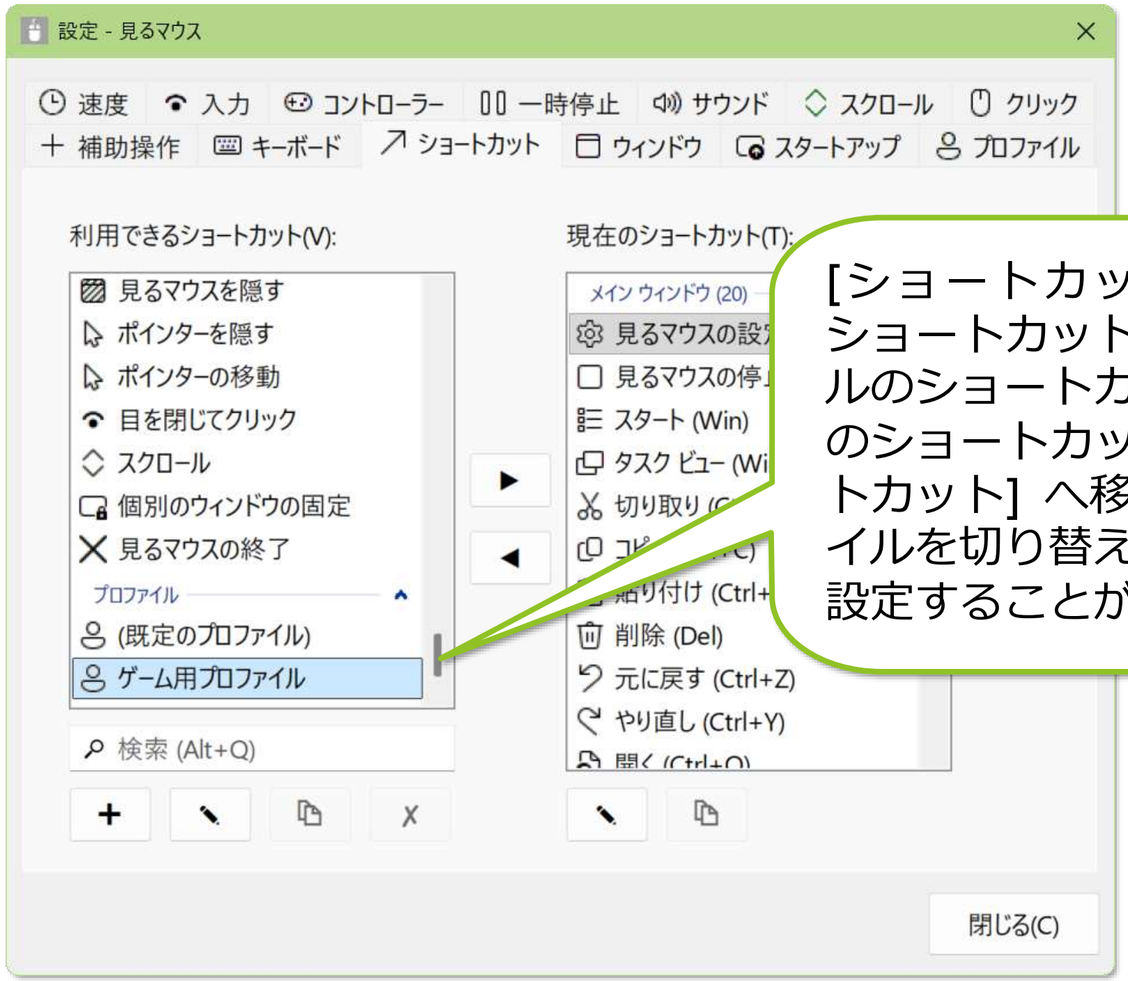
③ダイアログが表示されるので、割り当てるキーを選択します。

④[OK] ボタンを押します。この例では Alt + Shift + G キーを押すと、ゲーム用プロファイルに切り替わります。

※ 選択したキーによっては割り当てられない場合があります。その場合、④の [OK] ボタンは押せなくなりますので、別のキーを選択してください。

見るマウスの設定 - プロファイル

プロファイルを切り替えるためのショートカットを設定することもできます。

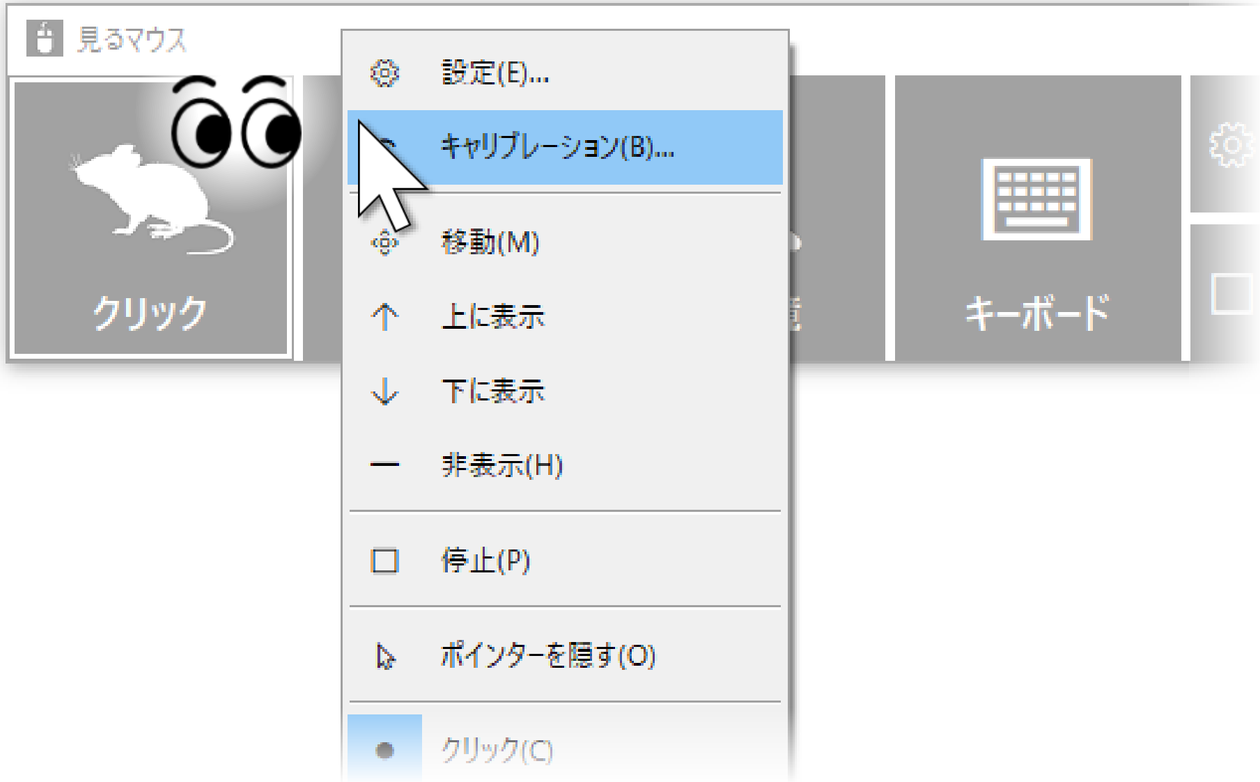


[ショートカット] タブの [利用できるショートカット] の一番下に、プロファイルのショートカットがあります。これを他のショートカットと同様に [現在のショートカット] へ移動させることで、プロファイルを切り替えるためのショートカットを設定することができます。

その他の機能

その他の機能 - 視線追跡のキャリブレーション

ウィンドウのタイトル バーを見続けたときに表示されるメニューの [キャリブレーション] から、視線/頭部追跡のキャリブレーションの画面を開くことができます。



※ 視線追跡装置として Tobii Eye Tracker 4C、Tobii EyeX、または SteelSeries Sentry をお使いの場合、メニューを選択してからキャリブレーションの画面が表示されるまでに 10 秒程かかります。

その他の機能 - 視線追跡のキャリブレーション

視線追跡装置として Tobii Eye Tracker 5、Tobii Eye Tracker 4C、Tobii EyeX、または SteelSeries Sentry をお使いで、かつ Tobii Dynavox Gaze Point をインストール済みの場合は、通常のキャリブレーションと Tobii Dynavox Gaze Point を使用したキャリブレーションのどちらを実行するかをメニューから選ぶことができます。

※ Tobii Dynavox Gaze Point のキャリブレーションの設定変更は、別途 Gaze Point の設定画面を開いて行ってください。

※ Tobii Dynavox Windows Control をインストール済みの場合も同様にメニューから選ぶことができます。

その他の機能 - 視線追跡のキャリブレーション

視線追跡装置として Irisbond Duo または EyeTech TM5 をお使いの場合は、キャリブレーションを実行する点の数をメニューから選ぶことができます。

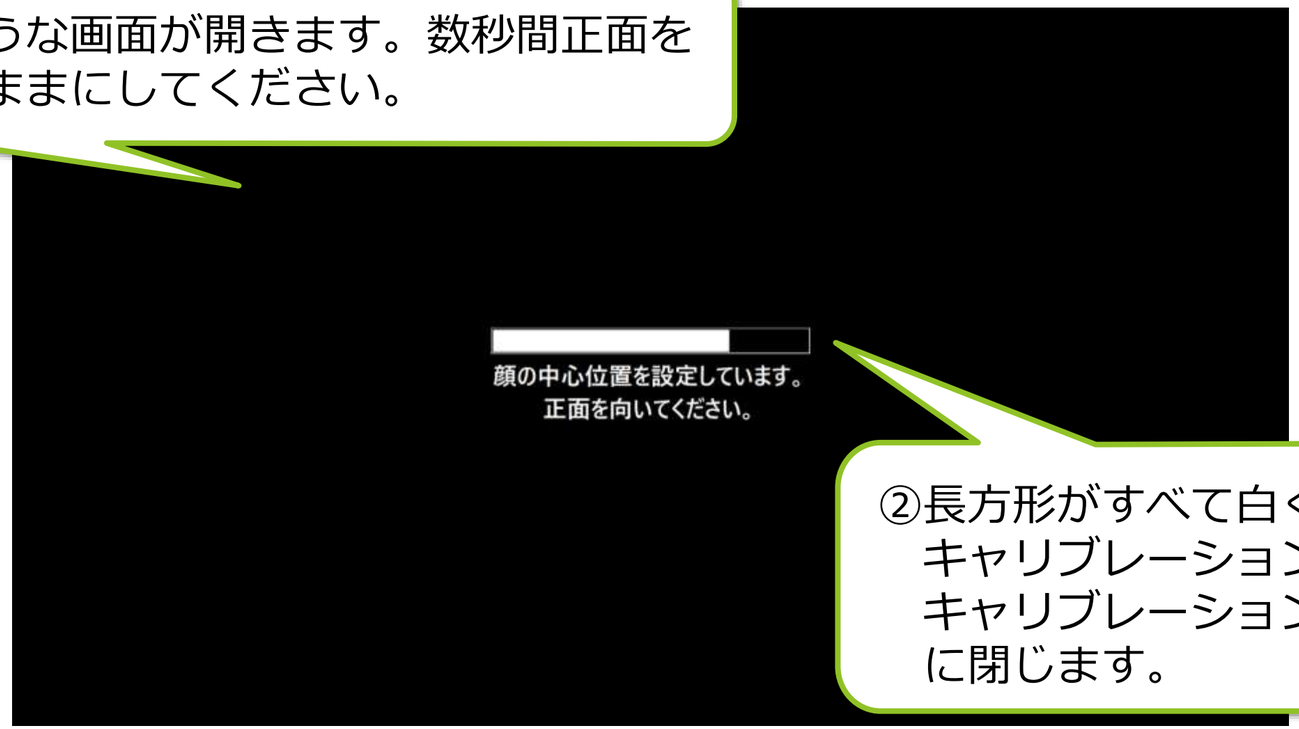
メニューから選ぶと、画面に白い丸が表示されます。その丸を見続けることで、キャリブレーションが完了します。キャリブレーションを中断するには、Esc キーを押します。

キャリブレーションを実行する点の数が多いほど、より正確な視線追跡が行えるようになりますが、その反面キャリブレーションに時間がかかります。

その他の機能 - 頭部追跡のキャリブレーション

頭部追跡をお使いの場合は、ウィンドウのタイトル バーを見続けたときに表示されるメニューの [キャリブレーション] から、頭部追跡のキャリブレーションの画面を開くことができます。

①このような画面が開きます。数秒間正面を向いたままにしてください。

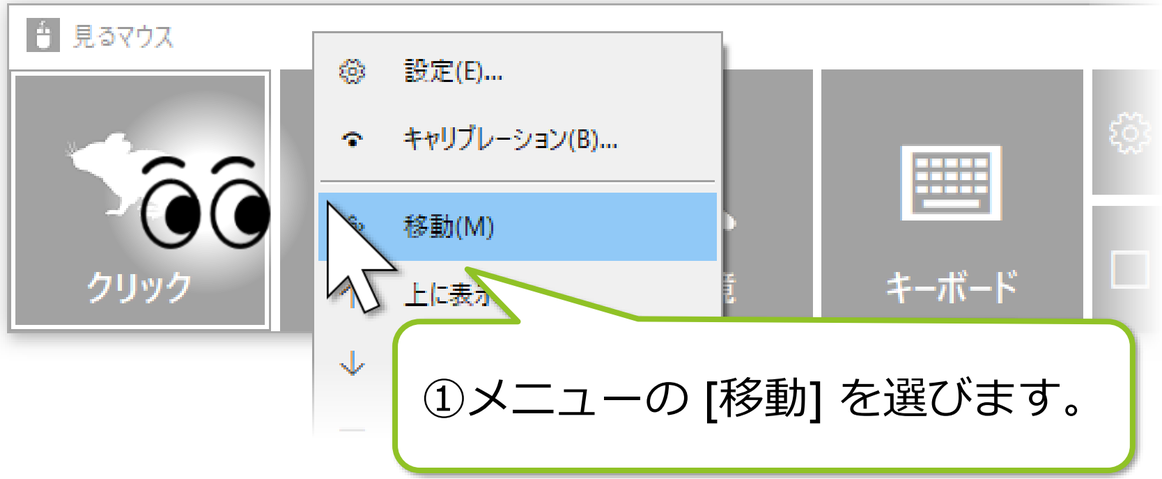


②長方形がすべて白く表示されたら、キャリブレーションは完了です。キャリブレーションの画面は自動的に閉じます。

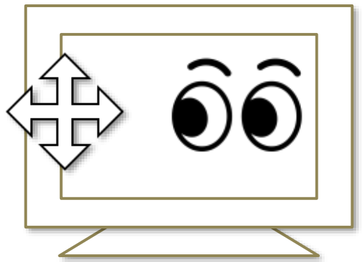
※ TrackIR 5 または SmartNav 4 で反射マーカーをお使いの場合も、同様の画面でキャリブレーションを実行することができます。

その他の機能 - ウィンドウの縦置き

見るマウスのウィンドウをデスクトップ画面の左右隅へ移動させると、ウィンドウを縦に表示することができます。同様に上下隅へ移動させると、横の表示に戻すことができます。



①メニューの [移動] を選びます。



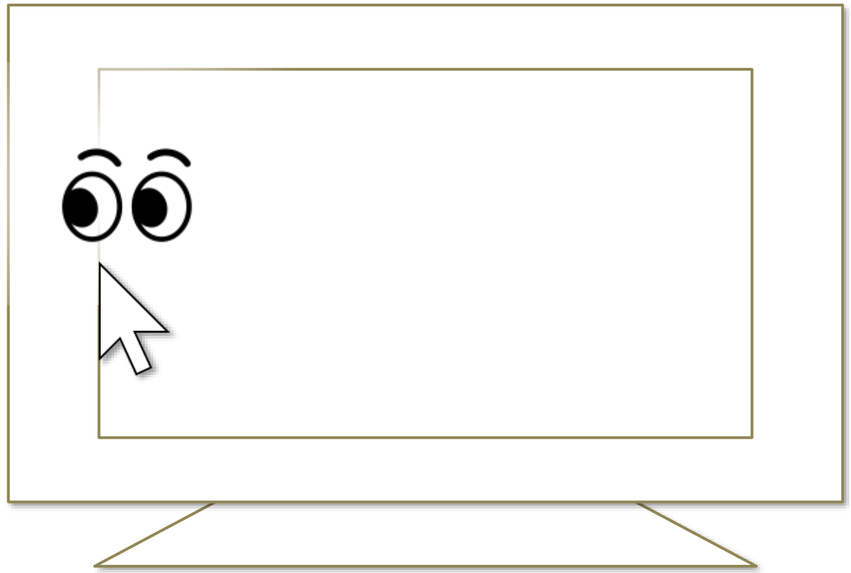
②デスクトップ画面の左隅または右隅を見続けます。

③見るマウスのウィンドウが縦に表示されます。

その他の機能 - ウィジェット

デスクトップ画面の左隅の、真ん中あたりの高さの所を見続けると、Windows 11 のウィジェットを表示します。

うまく表示できない場合は、ディスプレイの外枠を見るとうまくいきます。

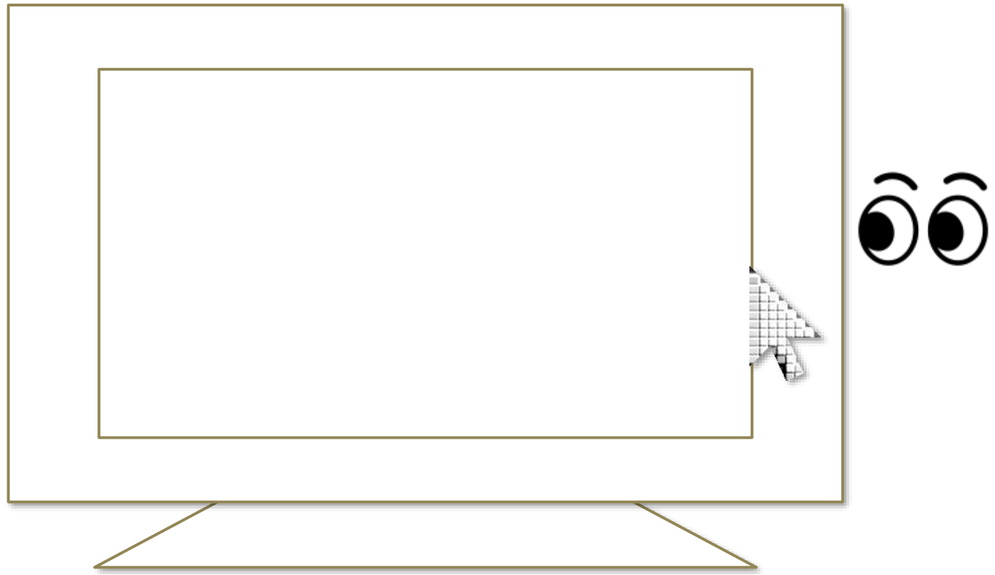


※ Windows 11 でタスク バーの配置が左揃えの場合は、特別何も起きません。
※ Windows 10 ではタスク ビューを表示します。
※ Windows 8.1 では最近使ったストア アプリの一覧を表示します。
※ Windows 7 では Windows Aero が有効な場合にフリップ 3D を使用します。

その他の機能 - 通知センターと予定表

デスクトップ画面の右隅の、真ん中あたりの高さの所を見続けると、Windows 11 の通知センターと予定表を表示します。

うまく表示できない場合は、ディスプレイの外枠を見るとうまくいきます。



※ Windows 10 ではアクション センターを表示します。

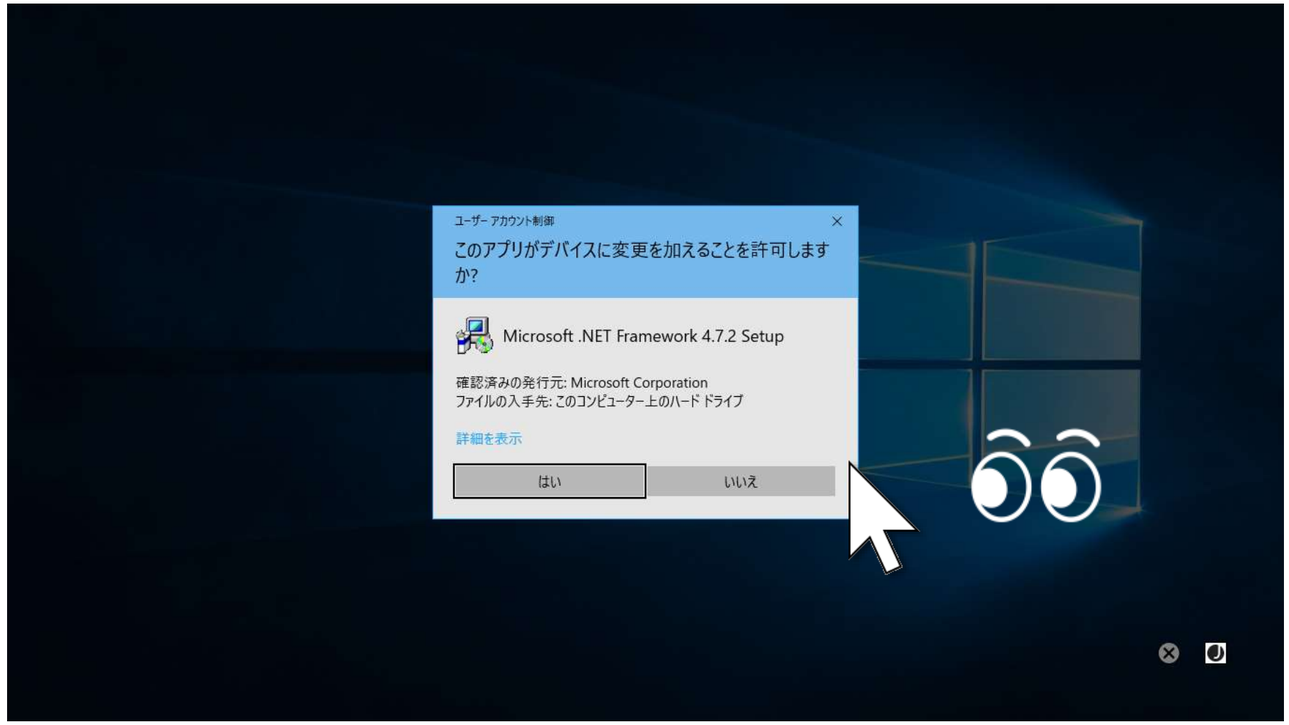
※ Windows 8.1 ではチャーム バーを表示します。

※ Windows 7 では特別何も起きません。

その他の機能 - ユーザー アカウント制御

アプリのインストールやアプリを管理者として実行するときに表示される、ユーザー アカウント制御の画面も視線追跡または頭部追跡でクリックできます。

このとき、見るマウスのウィンドウは表示されません。



※ ただし、見るマウスと Beam Eye Tracker、OpenTrack、または VSeeFace を同一の PC で実行している場合は、ユーザー アカウント制御の画面を頭部追跡で操作することはできません。

その他の機能 - ユーザー アカウント制御

(続き)

もし 1 台の PC を複数のユーザー アカウントで共用する場合、見るマウスのインストールを実行したユーザー アカウントとは別のユーザー アカウントで Windows にサインインして見るマウスを起動しても、ユーザー アカウント制御の画面を視線追跡または頭部追跡でクリックすることはできません。

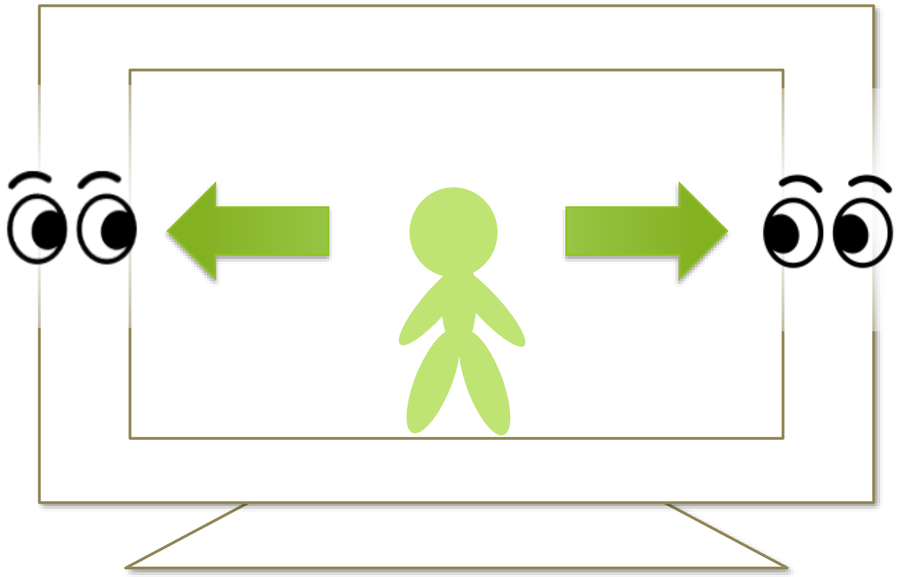
以下の手順を実施することで、別のユーザー アカウントでもユーザー アカウント制御の画面を視線追跡または頭部追跡でクリックできるようになります。

1. 見るマウスのインストールを実行したユーザー アカウントとは別のユーザー アカウントで、Windows にサインインします。
2. キーボードの Windows ロゴ キーを押したまま R キーを押します。
3. [ファイル名を指定して実行] の画面が表示されるので、[名前] に「control.exe /name Microsoft.EaseOfAccessCenter /page pageNoMouseOrKeyboard」を入力して [OK] をクリックします。
4. [マウスやキーボードを使わずにコンピューターを使用します] の画面が表示されるので、[他のインストールされたプログラム] の下にある [見るマウス] にチェックを付けて、[OK] または [適用] をクリックします。
5. Windows から一度サインアウトして、サインインし直します。

その他の機能 - ゲーム中のカメラ移動

マウス操作でカメラを移動させるようなゲームでは、見るマウスを使用することで見ている方向にカメラを移動させることができます。

こうしたゲームをプレイ中に同じ所を見続けたときの操作は、本書 P.92 に記載しているショートカット キーを使用することで切り替えることができます。

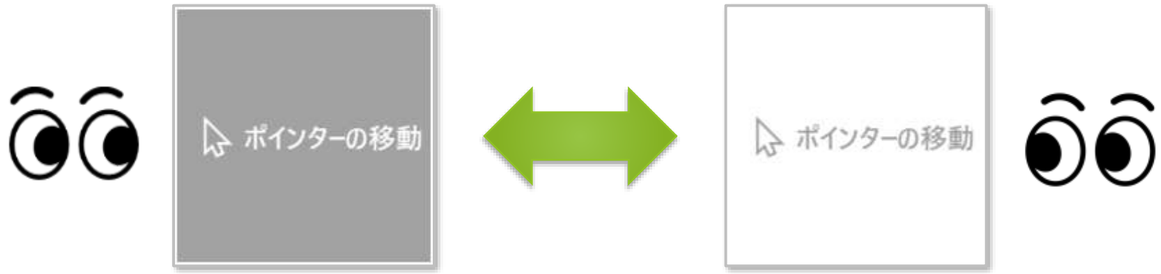


その他の機能 - ゲーム中のポインターの移動

ゲーム中にポインターを操作するときに、もし見ている所にポインターが移動しない場合は、[ポインターの移動] のショートカットを利用してください。本書 P.118 の画面で、[利用できるショートカット] にある [ポインターの移動] を [現在のショートカット] へ移動させると、そのショートカットが画面に表示されます。

[ポインターの移動] のショートカットを見続けると、ボタンの色が変わり、見ている所にゲーム中のポインターを移動させることができます。

ゲーム中にポインターの移動を終了して、前述のカメラ移動へ戻すには、再度 [ポインターの移動] のショートカットを見続けます。



カメラ移動用　　ポインターの移動用

※ [ポインターの移動] のショートカットは、ゲームのみで利用します。通常のデスクトップ画面では [ポインターの移動] のショートカットに効果はありません。

その他の機能 - ゲーム中のクリック操作

ゲームを開始すると、以下のすべての条件を満たす場合に、見るマウスのクリック操作が自動的に [クリック] に切り替わります。

- [クリックなし] 以外のクリック操作を使用している。
- クリック操作のショートカット キーを何も設定していない。
- 前述の [ポインターの移動] のショートカットを利用していないか、またはカメラ移動用の状態になっている。

もし [クリック] へ自動的に切り替えたくない場合は、本書 P.92 の手順で何か 1 つショートカット キーを設定してください。

その他の機能 - ゲーム中のマウス操作の停止

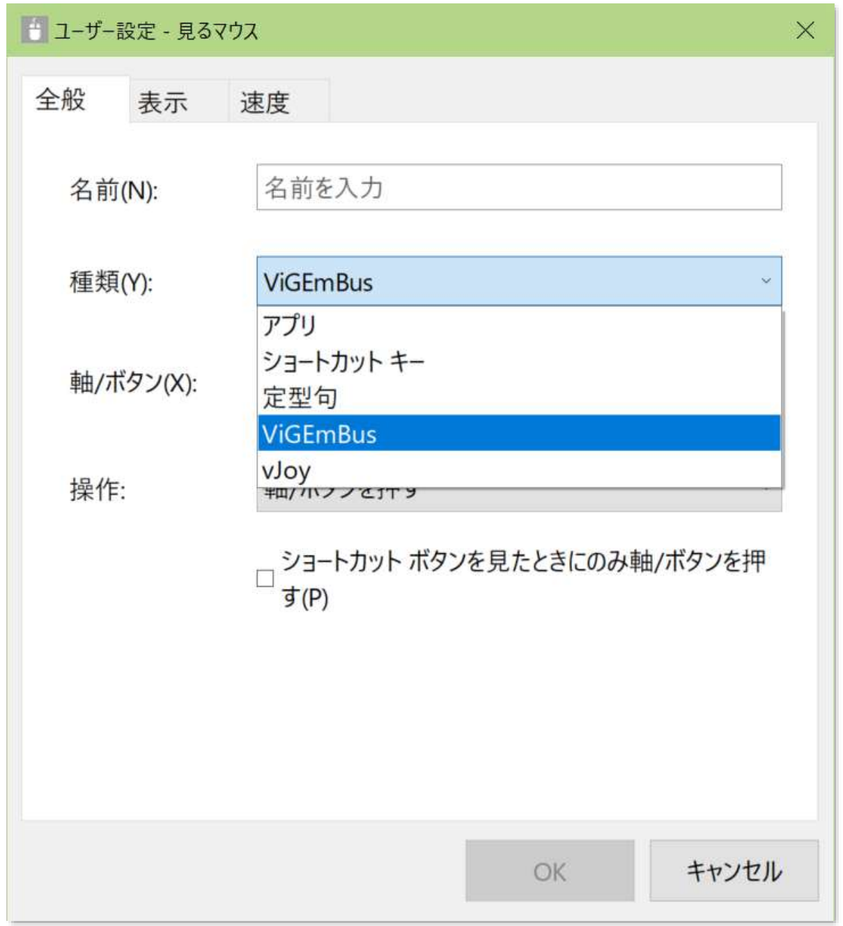
ゲーム中のカメラを視線追跡で移動させないようにすることもできます。

本書 P.86 に記載している設定画面の [一時停止] タブで、[操作] に [マウス制御のみを一時停止する] を設定します。すると、[見るマウスの停止] のショートカットの名前が [マウス制御の停止] に変わります。[マウス制御の停止] のショートカットを、本書 P.118 に記載している手順で個別のウィンドウに表示して利用してください。

マウス制御のみを停止すると、見ている所にポインターやゲーム中のカメラが移動しなくなり、同じ所を見続けてもクリックしなくなります。ただし、見るマウスのショートカット ボタンだけは、見続けることによりクリックすることができます。

その他の機能 - ゲーム コントローラーの代替

ViGEmBus をインストール済みの場合は、本書 P.101 の独自のショートカットの種類に [ViGEmBus] を選択することができます。



[ViGEmBus] を選択することにより、ゲーム コントローラーのスティックやボタンの入力を行うショートカットを設定することができます。

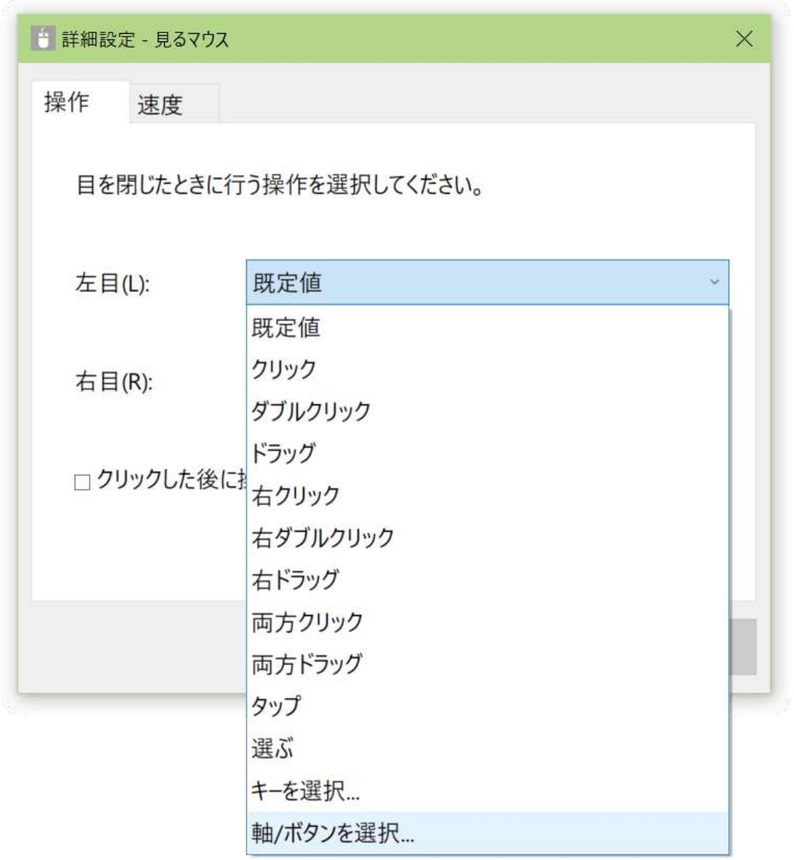
また、vJoy をインストールすると、[vJoy] を選択することができます。ViGEmBus がインストールされていない場合は、vJoy に加えて ScpVBus もインストールすると、[vXbox] を選択することができます。Xbox コントローラーに対応したゲームをプレイする場合は、[vJoy] よりも [ViGEmBus] または [vXbox] の方が適しています。

※ Windows 7 で vXbox を使用する場合は Microsoft Xbox 360 Accessories もインストールしてください。

その他の機能 - ゲーム コントローラーの代替

(続き)

また ViGEmBus をインストール済みの場合は、本書 P.56 の目を閉じたときに行う操作として [軸/ボタンを選択...] という項目が表示されます。



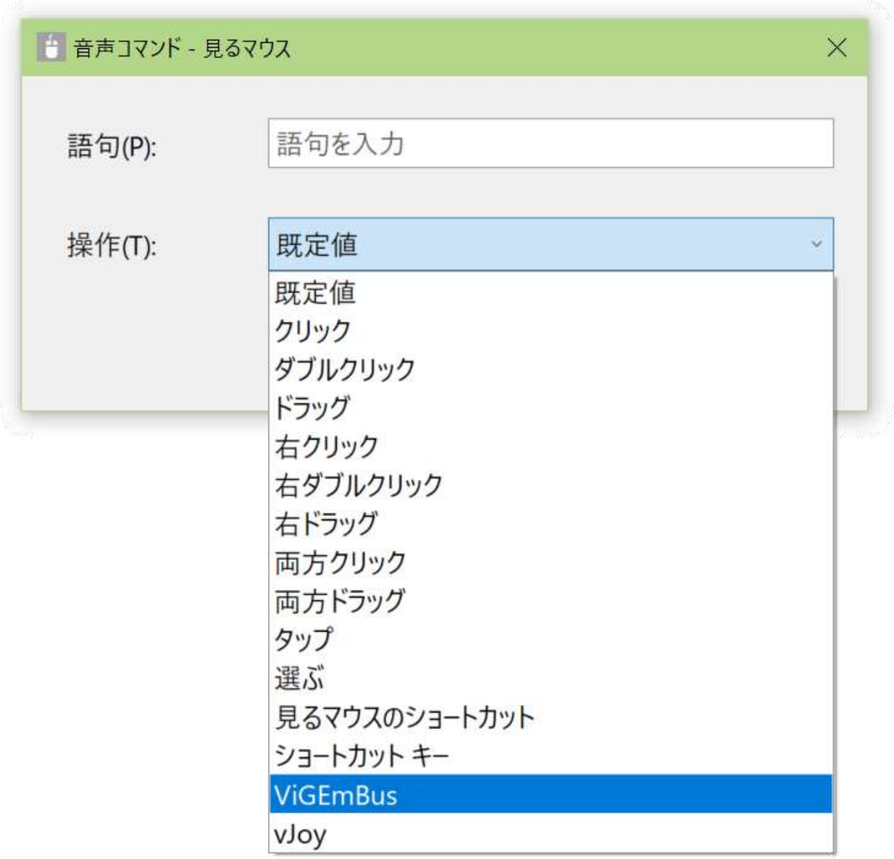
この項目を選択することにより、目を閉じたときにゲーム コントローラーのスティックやボタンの入力を行うように設定することができます。

vJoy もインストールすると、[軸/ボタンを選択...] を選んだ後に、[ViGEmBus] と [vJoy] のどちらを使用するかを選択することができます。ViGEmBus がインストールされていない場合は、vJoy に加えて ScpVBus もインストールすると、[vXbox] を選択することができます。

その他の機能 - ゲーム コントローラーの代替

(続き)

更に、ViGEmBus をインストール済みの場合は、本書 P.63 の音声コマンドの操作として [ViGEmBus] という項目が表示されます。



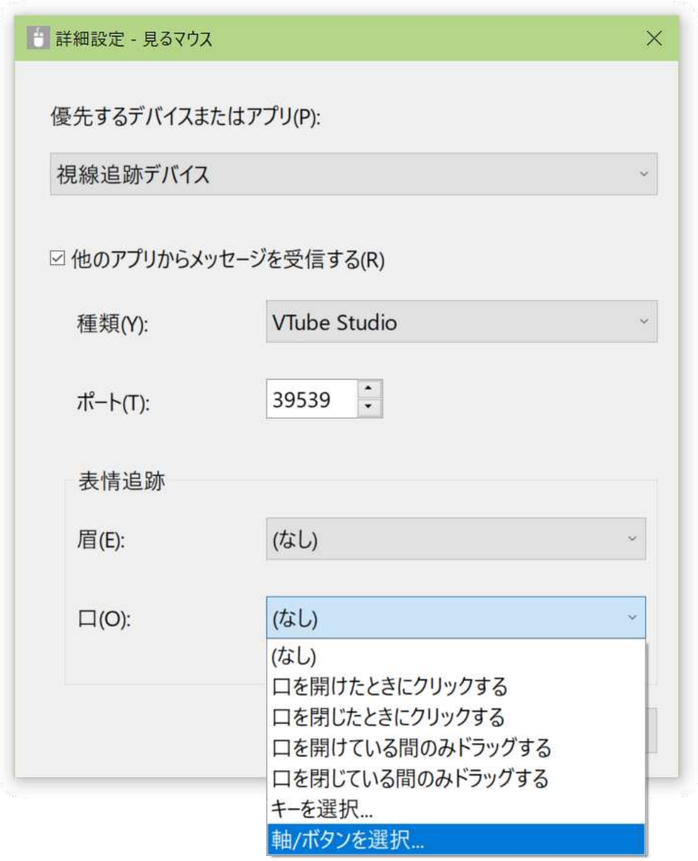
この項目を選択することにより、マイクに向かって特定の語句を話したときにゲーム コントローラーのスティックやボタンの入力を行うように設定することができます。

また、vJoy もインストールすると、[vJoy] という項目が表示されます。ViGEmBus がインストールされていない場合は、vJoy に加えて ScpVBus もインストールすると、[vXbox] という項目が表示されます。

その他の機能 - ゲーム コントローラーの代替

(続き)

更に、ViGEmBus をインストール済みの場合は、本書 P.80 の表情追跡の操作として [軸/ボタンを選択...] という項目が表示されます。



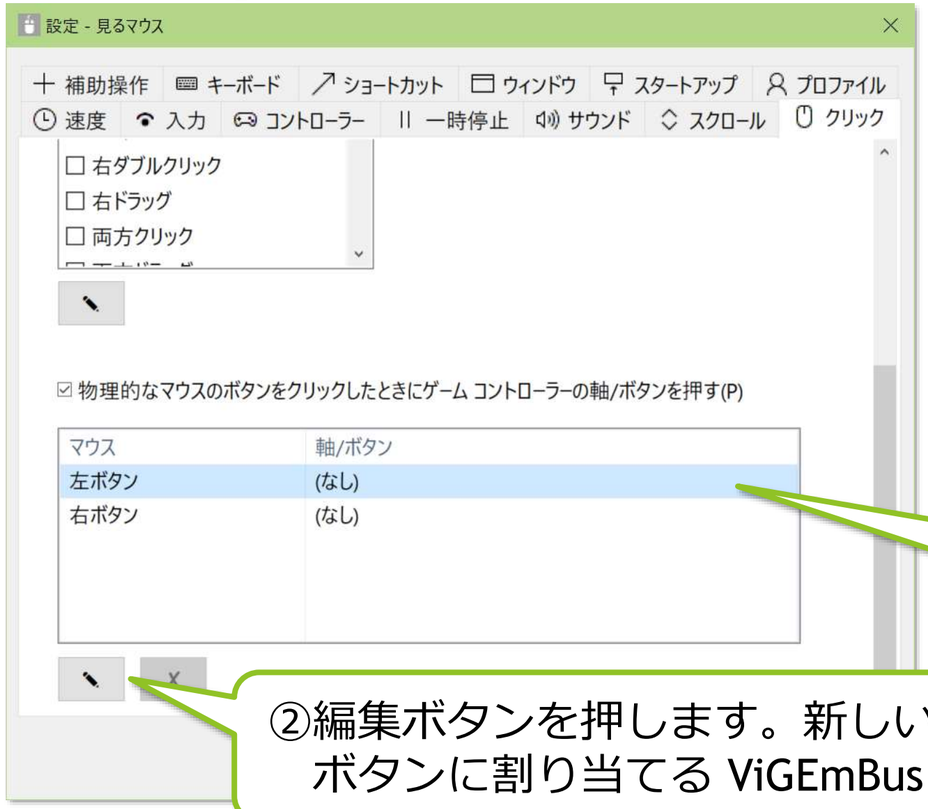
この項目を選択することにより、眉を上げたとき、口を開けたとき、または口を閉じたときにゲーム コントローラーのスティックやボタンの入力を行うように設定することができます。

vJoy もインストールすると、[軸/ボタンを選択...] を選んだ後に、[ViGEmBus] と [vJoy] のどちらを使用するかを選択することができます。ViGEmBus がインストールされていない場合は、vJoy に加えて ScpVBus もインストールすると、[vXbox] を選択することができます。

その他の機能 - ゲーム コントローラーの代替

(続き)

更に、ViGEmBus をインストール済みの場合は、本書 P.89 の [クリック] タブの下側に [物理的なマウスのボタンをクリックしたときにゲーム コントローラーの軸/ボタンを押す] という項目が表示されます。



この項目にチェックを付けることにより、物理的なマウスのボタンをクリックしたときに ViGEmBus のスティックやボタンの入力を行うように設定することができます。

※ 物理的なマウスの入力を無効化するわけではありません。物理的なマウスと、割り当てた操作の両方が入力されます。

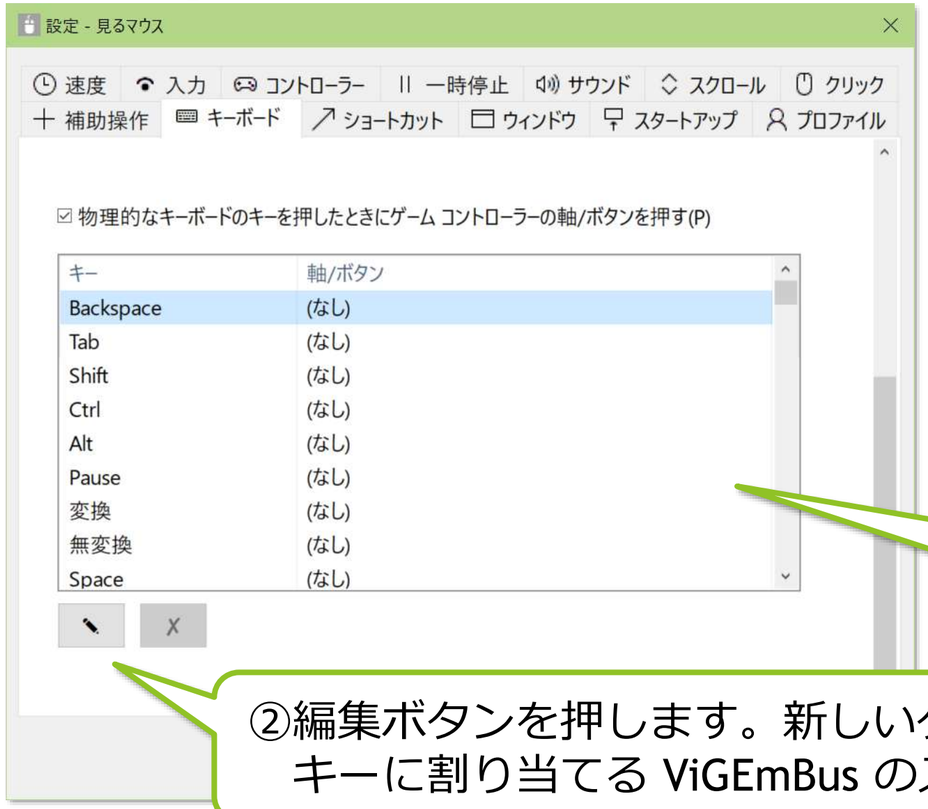
①チェックボックスにチェックを付けたら、マウスのボタンを選択します。

②編集ボタンを押します。新しいダイアログが表示されるので、マウスのボタンに割り当てる ViGEmBus のスティックやボタンを選択します。

その他の機能 - ゲーム コントローラーの代替

(続き)

更に、ViGEmBus をインストール済みの場合は、本書 P.95 の [キーボード] タブの下側に [物理的なキーボードのキーを押したときにゲーム コントローラーの軸/ボタンを押す] という項目が表示されます。



この項目にチェックを付けることにより、物理的なキーボードのキーを押したときに ViGEmBus のスティックやボタンの入力を行うように設定することができます。

※ 物理的なキーボードの入力を無効化するわけではありません。物理的なキーボードと、割り当てた操作の両方が入力されます。

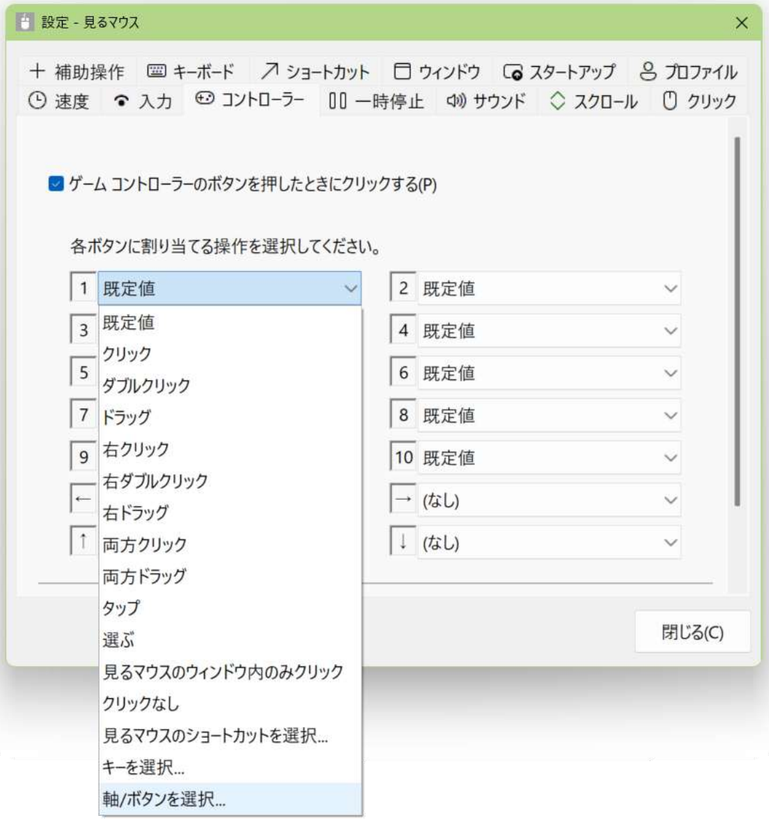
①チェックボックスにチェックを付けたら、キーを選択します。

②編集ボタンを押します。新しいダイアログが表示されるので、キーに割り当てる ViGEmBus のスティックやボタンを選択します。

その他の機能 - ゲーム コントローラーの代替

(続き)

更に、ViGEmBus をインストール済みの場合は、本書 P.82 の物理的なゲーム コントローラーのボタンに割り当てる操作として [軸/ボタンを選択...] という項目が表示されます。



この項目を選択することにより、物理的なゲーム コントローラーのボタンを押したときに ViGEmBus のスティックやボタンの入力を行うように設定することができます。

※ [ゲーム コントローラーのボタンを押したときにクリックする] にチェックを付けた場合、ViGEmBus、vJoy、及び vXbox 以外の物理的なゲーム コントローラーのボタンを押したときに、割り当てた操作が行われます。

※ 物理的なゲーム コントローラーの入力を無効化するわけではありません。物理的なゲーム コントローラーと、割り当てた操作の両方が入力されます。

その他の機能 - ゲーム コントローラーの代替

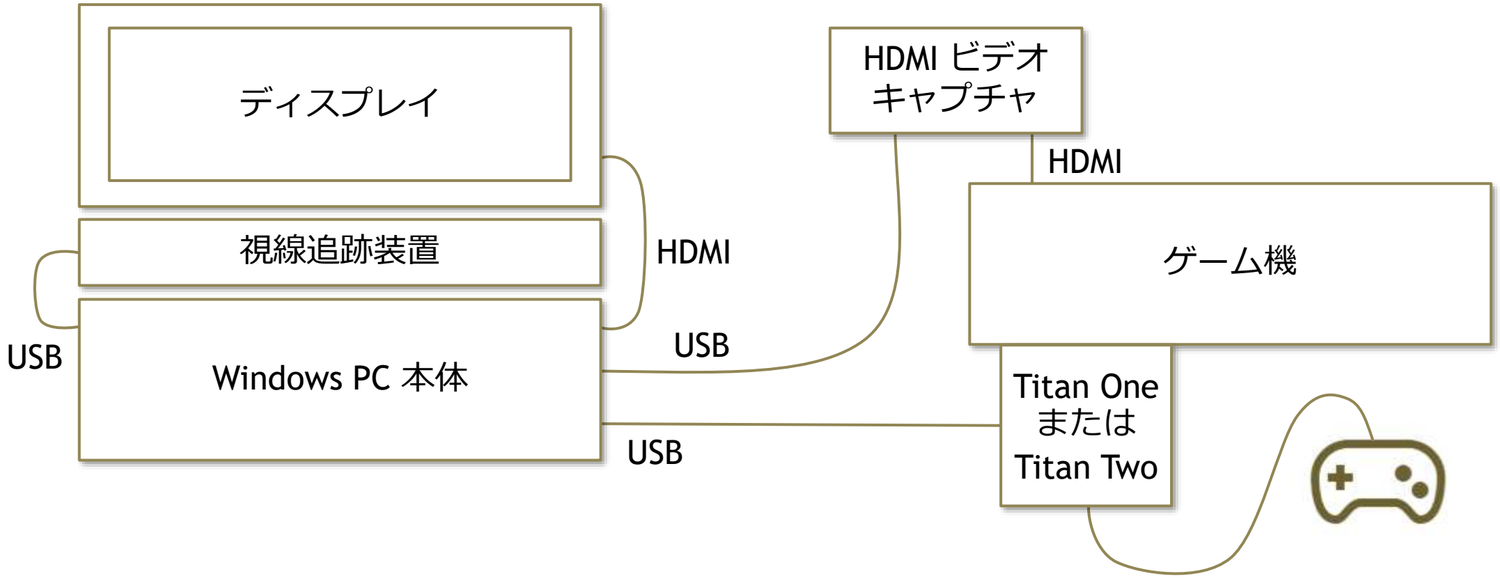
(続き)

見るマウスが使用する vJoy のデバイス番号は、見るマウスの設定画面の [コントローラー] タブで変えることができます。

vJoy をインストール済みの場合、[vJoy デバイス番号] の項目が表示されます。
初期設定は [自動] です。[自動] の場合、見るマウスは、番号が最も小さくかつ使用可能な vJoy デバイスの入力を行います。

その他の機能 - ゲーム コントローラーの代替

Titan One または Titan Two を使用することで、Titan One や Titan Two が対応しているゲーム機へのコントローラーの入力を行うことができます。別途 HDMI ビデオ キャプチャ機器を用意して、ゲーム機の画面を PC のディスプレイへ表示させることにより、視線追跡でゲームをプレイすることができます。



※ 最新のゲーム機では Titan One や Titan Two が動作しない場合があるようです。作者 topolo-Z はすべてのゲーム機で動作を確認したわけではありません。

その他の機能 - ゲーム コントローラーの代替

(続き)

Titan One を使用するには、Titan One を PC に接続し、Gtuner Pro の [Tools] > [Options] にてゲーム機と接続するための設定を行ってください。

Gtuner Pro のプラグインの画面を開いている場合は、閉じてください。見るマウスは、Gtuner Pro のプラグインと併用することはできません。

Titan One を PC に接続した状態で見るマウスを起動すると、本書 P.101 の独自のショートカットの種類に [Titan One] を選択することができます。[Titan One] を選択することにより、ゲーム機に対してコントローラーのスティックやボタンの入力を行うショートカットを設定することができます。

もし見るマウスの設定画面に表示されているボタンの名称が、お使いになるゲーム機と異なる場合は、見るマウスの設定画面の [コントローラー] タブにある [Titan One 出力] の項目をゲーム機に合わせて設定してください。

※ 見るマウスを実行中に Gtuner Pro のプラグインの画面を開くと、見るマウスの [Titan One] のショートカットが効かなくなります。もしそうなった場合は、Gtuner Pro のプラグインの画面を閉じて、見るマウスの設定画面の [コントローラー] タブにある [Titan One 出力] の項目を設定し直してください。

その他の機能 - ゲーム コントローラーの代替

(続き)

Titan Two を使用するには、最初に見るマウス側で、本書 P.101 の独自のショートカットの種類に [ショートカット キー] を選択してキー入力を行うショートカットを設定するか、または本書 P.154 の [ViGEmBus] を選択してゲーム コントローラーのスティックやボタンの入力を行うショートカットを設定してください。

次に Gtuner IV を起動し、[Input Translator] タブを開いてください。もし [GTUNER GIT] のアイコンのみが表示される場合は、アイコンをクリックして、[File Name] を入力して [Create] をクリックしてください。

もし見るマウス側で [ショートカット キー] のショートカットを設定した場合は、Gtuner IV の [Input Translator] タブの [Keyboard Mapping] で、見るマウスのショートカットに設定したキーと、ゲーム機に対して入力するスティックやボタンを関連付けます。

もし見るマウス側で [ViGEmBus] のショートカットを設定した場合は、Gtuner IV の [Input Translator] タブの [Controller Remapper] で、見るマウスのショートカットに設定したスティックやボタンと、ゲーム機に対して入力するスティックやボタンを関連付けます。

その他の機能 - ゲーム コントローラーの代替

(Titan Two の続き)

関連付けをしたら、Gtuner IV の [File] > [Save] を選択してファイルへ保存します。そして、[File] > [Install To] > [Memory Slot X] を選択して Titan Two 本体のメモリー スロットへ記録します。

次に、Gtuner IV の [Device Memory Slots] タブを開き、記録したメモリー スロットの番号をクリックして、Titan Two 本体へロードします。

最後に Gtuner IV の [Tools] > [KMG Capture] を選択し、[Keyboard] または [Gamepad/Joystick] にチェックを付けて、[Mouse] のチェックを外して、[ENTER CAPTURE MODE] をクリックしてください。

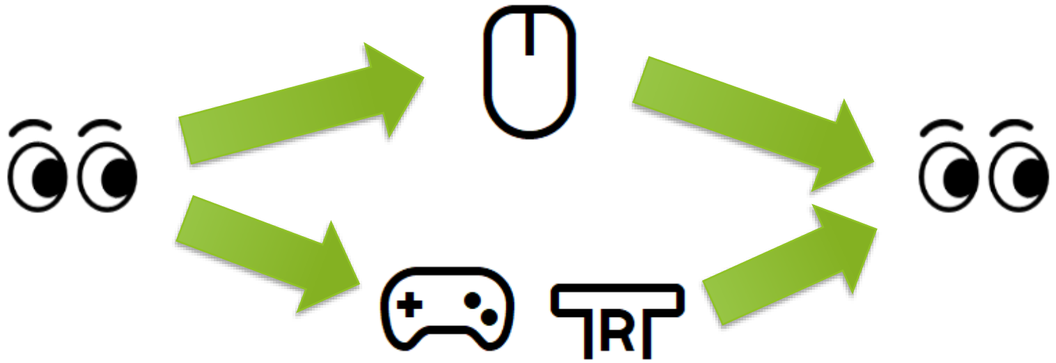
これにより、見るマウスのショートカットを使用して、ゲーム機に対してコントローラーのスティックやボタンの入力を行うことができます。

その他の機能 - 実際のマウスとの併用

実際のマウスとの併用も可能です。

見るマウスを使用中に実際のマウスを操作した場合は、視線/頭部追跡が一時停止し、実際のマウスの操作が優先されます。実際のマウスの操作をやめてしばらくすると再度視線/頭部追跡によるマウス操作ができるようになります。

実際のマウスの他に、Xbox コントローラーの右スティックを操作した場合も視線/頭部追跡が一時停止します。



※ 実際のマウスを操作した場合や Xbox コントローラーの右スティックを操作した場合に一時停止するかどうかは、設定で変えることができます。

その他の機能 - 視線追跡の停止

動画の視聴時のように視線/頭部追跡が長時間不要な場合には、視線/頭部追跡を停止することができます。

[見るマウスの停止] のショートカット、またはウィンドウのタイトル バーを見続けたときに表示されるメニューの [停止] から、視線/頭部追跡を停止することができます。本書 P.122 の [メイン ウィンドウを自動的に隠す] が有効な場合は、視線/頭部追跡を停止するとウィンドウが非表示になります。

その他の機能 - 視線追跡の停止

[見るマウスの停止] のショートカット、またはウィンドウのタイトル バーを見続けたときに表示されるメニューの [停止] から視線/頭部追跡を停止した場合は、前述の実際のマウスを操作した場合と違い、自動的に停止が解除されることはありません。

停止を解除するには、再度 [見るマウスの停止] のショートカットを見続けます。

また、停止時にウィンドウが非表示になった場合は、デスクトップ画面の左上隅を見てウィンドウを再表示させることでも、停止を解除できます。

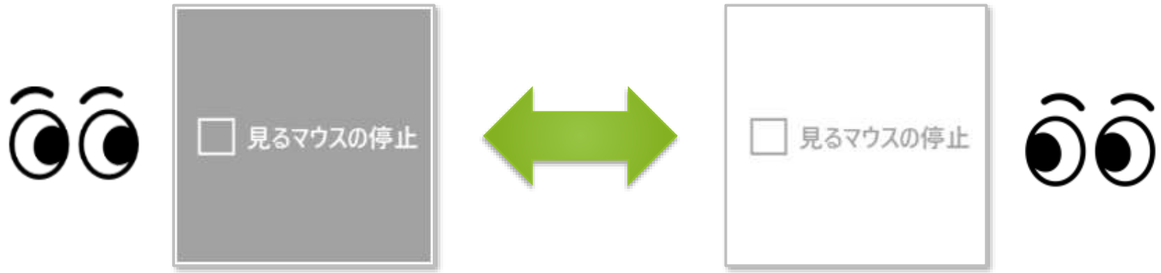
※ タスク バーを上または左に配置している場合は、画面の右下隅を見てください。ただし、本書 P.122 の [画面上のメイン ウィンドウの既定の位置] を変更した場合は、その位置を見てください。

その他の機能 - 視線追跡の停止

[見るマウスの停止] のショートカットは、本書 P.118 に記載している手順で個別のウィンドウに表示することもできます。

[見るマウスの停止] のショートカットを見続けると、ボタンの色が変わり、視線/頭部追跡が停止します。

停止を解除するには、再度 [見るマウスの停止] のショートカットを見続けます。

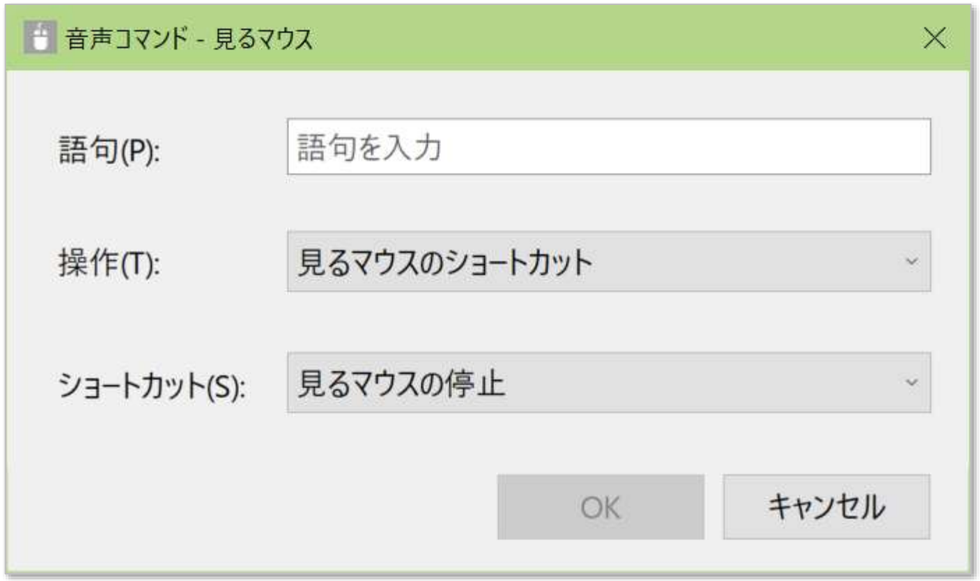


その他の機能 - 視線追跡の停止

音声コマンドで視線/頭部追跡を停止することもできます。

本書 P.63 の音声コマンドの操作として [見るマウスのショートカット] を選択し、[ショートカット] に [見るマウスの停止] または [マウス制御の停止] を選択すると、設定した語句をマイクに向かって話したときに視線/頭部追跡が停止します。

停止を解除するには、再度同じ語句をマイクに向かって話します。



その他の機能 - 視線追跡の停止

Alt + Shift + M キーを押すことでも、視線/頭部追跡を停止することができます。

自動的に停止が解除されることはありません。

Alt + Shift + M キーによる停止を解除するには、再度 Alt + Shift + M キーを押します。

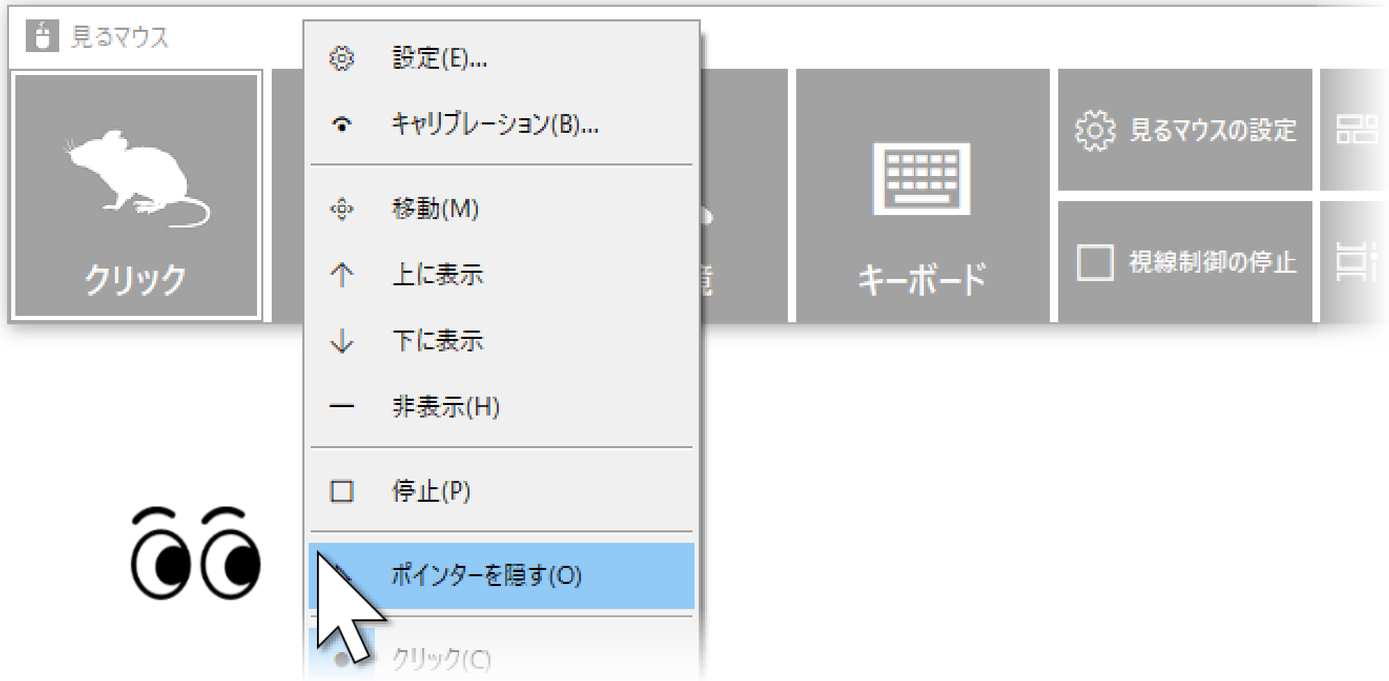
キーの組み合わせは、本書 P.86 に記載している設定画面の [一時停止] タブで変更することができます。

その他の機能 - マウス ポインターを隠す

電子書籍の閲覧時のように、クリック操作は必要でもマウス ポインターが邪魔になる場合には、マウス ポインターを非表示にすることができます。

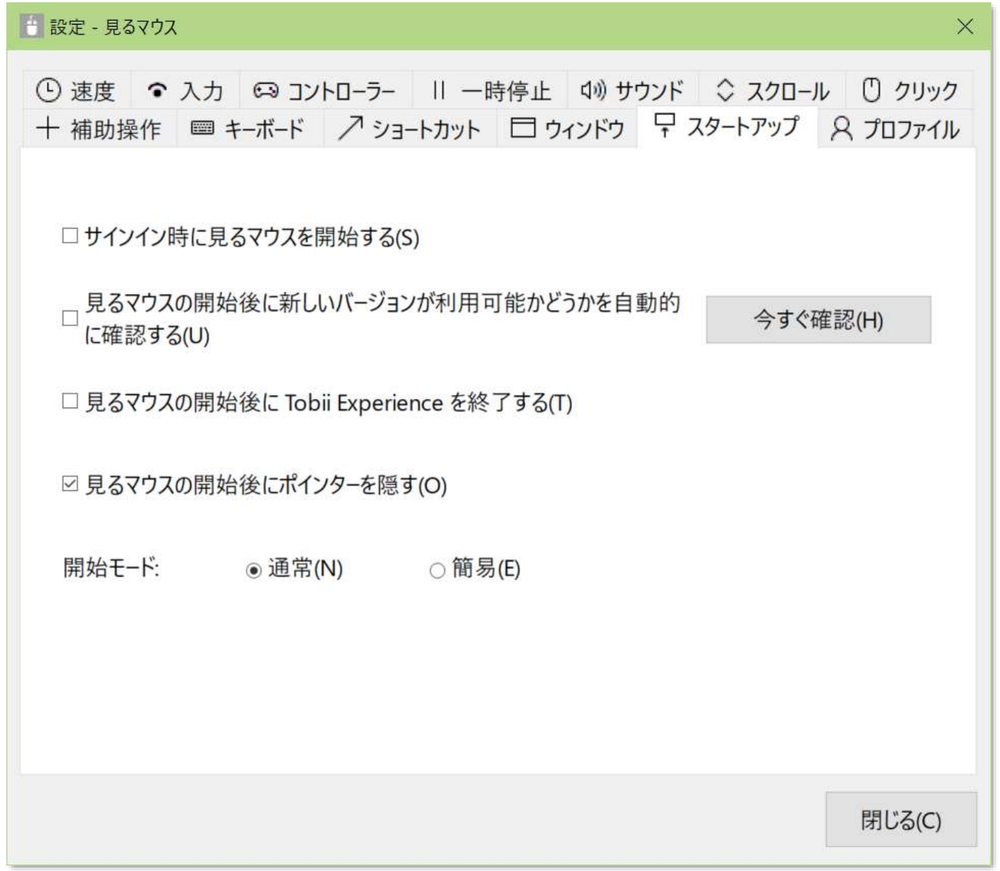
ウィンドウのタイトル バーを見続けたときに表示されるメニューの [ポインターを隠す] を選ぶと、マウス ポインターを非表示にすることができます。

もう一度 [ポインターを隠す] を選ぶと、再表示します。



その他の機能 - マウス ポインターを隠す

設定画面の [スタートアップ] タブで [見るマウスの開始後にポインターを隠す] にチェックを付けると、見るマウスを次回起動時に、最初からマウス ポインターが非表示になります。



その他の機能 - 見るマウスの固有のショートカット キー

以下のショートカット キーで、速度を調節できます。

- マウス ポインターの速度

Alt + Shift + 1	遅くする
Alt + Shift + 2	速くする

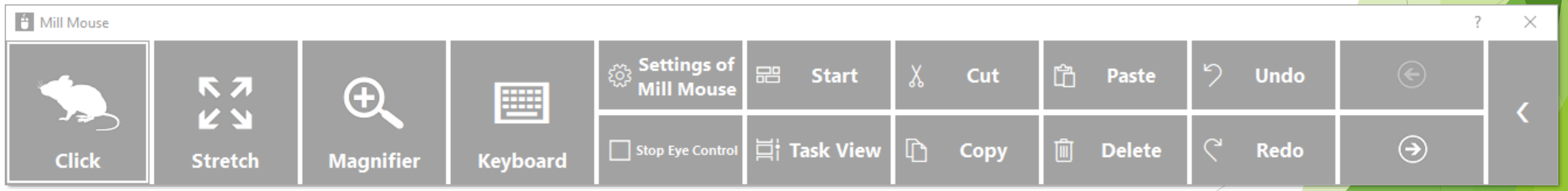
- クリックの間隔

Alt + Shift + 3	間隔を長くする
Alt + Shift + 4	間隔を短くする

その他の機能 - 他言語対応

日本語以外に、以下の言語に対応しています。
Windows の言語設定に従って、ウィンドウに表示する言語が変わります。

- 英語
- 簡体字中国語
- 繁体字中国語
- 韓国語
- アフリカーンス語
- アラビア語
- イタリア語
- インドネシア語
- ウルドゥ語
- エストニア語
- オランダ語
- カタルニア語
- ギリシャ語
- クロアチア語
- スウェーデン語
- スペイン語
- スロバキア語
- スロベニア語
- セルビア語 (キリル/ラテン)
- チェコ語
- テルグ語
- デンマーク語
- ドイツ語
- トルコ語
- ノルウェー語 (ブークモール)
- バレンシア語
- ハンガリー語
- バングラ語
- ヒンディー語
- フィンランド語
- フランス語
- ブルガリア語
- ベトナム語
- ヘブライ語
- ポーランド語
- ボスニア語
- ポルトガル語
- マレー語
- リトアニア語
- ルーマニア語
- ロシア語

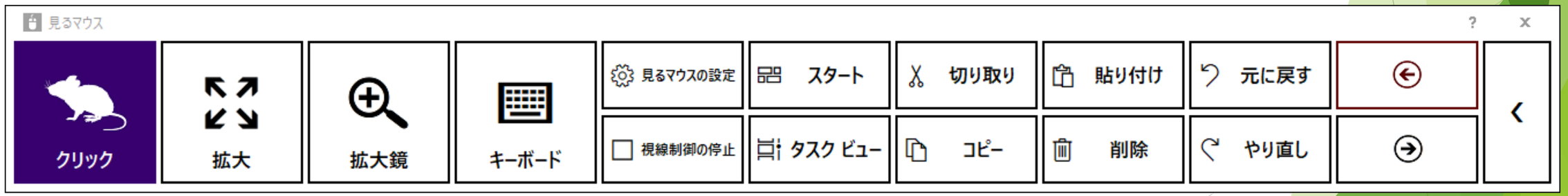


※ アラビア語環境、ウルドゥ語環境、またはヘブライ語環境の場合、デスクトップ画面の右上または左下にウィンドウが表示されます。
※ スペイン語環境とポルトガル語環境の場合、Ctrl+S の代わりに Ctrl+G を使う等、ショートカット キーが変わります。

その他の機能 - ハイ コントラスト対応

ハイ コントラストに対応しています。

Windows のハイ コントラスト設定に従って、ウィンドウの配色が切り替わります。



※ Windows の初期設定では、左 Shift + 左 Alt + Print Screen キーを押すことでハイ コントラストの有効/無効を切り替えることができます。

ヒント - ボタン等が小さすぎる場合

ボタン等が小さすぎて操作し難い場合は、以下の設定を変更してみてください。

1. Windows 11 または Windows 10 のスタート メニューから [設定] アイコン をクリックします。
2. [システム] > [ディスプレイ] > [拡大縮小とレイアウト] の % 値を変更します。
3. それでも小さすぎる場合は、表示スケールの詳細設定の [カスタム スケーリング] で大きいサイズに変更します。(カスタム スケーリングの設定を反映するには、Windows にサインインし直す必要があります。)

※ Windows 8.1, Windows 7 の場合は、以下の設定を変更してみてください。

1. デスクトップ画面を右クリック > [画面の解像度] をクリックします。
2. [テキストやその他の項目の大きさの変更] をクリックします。
3. 大きいサイズに変更して、[適用] をクリックします。
4. Windows にサインインし直します。

ヒント - Tobii Core Software のアップグレード

Tobii Eye Tracking Core Software を新しいバージョンにアップグレードすると、うまく動かなくなる場合があります。そのときは、以下の手順でクリーン インストールをお試しください。(⚠ Windows に詳しい人向けの手順です。以下の手順を行うと、キャリブレーションのプロフィール等は削除されます。)

1. コントロール パネルの [プログラムと機能] から、Tobii Eye Tracking ソフトウェアをアンインストールします。
2. Tobii Eye Tracker 4C 等の視線追跡装置を PC に接続した状態でデバイス マネージャーを開き、[ユニバーサル シリアル バス デバイス] の EyeChip をアンインストールします。EyeChip が無い場合は [Eye Tracking Devices] 内のドライバーをアンインストールします。
3. レジストリ エディターを開き、以下のキーを削除します。
   - HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Tobii
   - HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥WOW6432Node¥Tobii
4. エクスプローラーを開き、以下のフォルダーを削除します。
   - %localappdata%¥Tobii
   - %programdata%¥Tobii
   - %programdata%¥TetServer
5. Windows を再起動します。
6. 新しいバージョンの Tobii Eye Tracking Core Software をインストールします。
7. 視線追跡のキャリブレーションを行います。

ヒント - SSML または SAPI TTS XML の使用

本書 P.107 に記載している [定型句を音声で読み上げる] を有効にした場合、[定型句] には SSML または SAPI TTS XML で以下のように記述することもできます。

SSML の例	<speak version="1.0" xmlns="http://www.w3.org/2001/10/synthesis" xml:lang="ja-JP"> こんにちは<break time="300ms" />調子はどうですか </speak>
SAPI TTS XML の例	 こんにちは<silence msec="300" />調子はどうですか

[定型句] の先頭に、SSML の場合は <speak>、SAPI TTS XML の場合は任意の XML タグを記述してください。

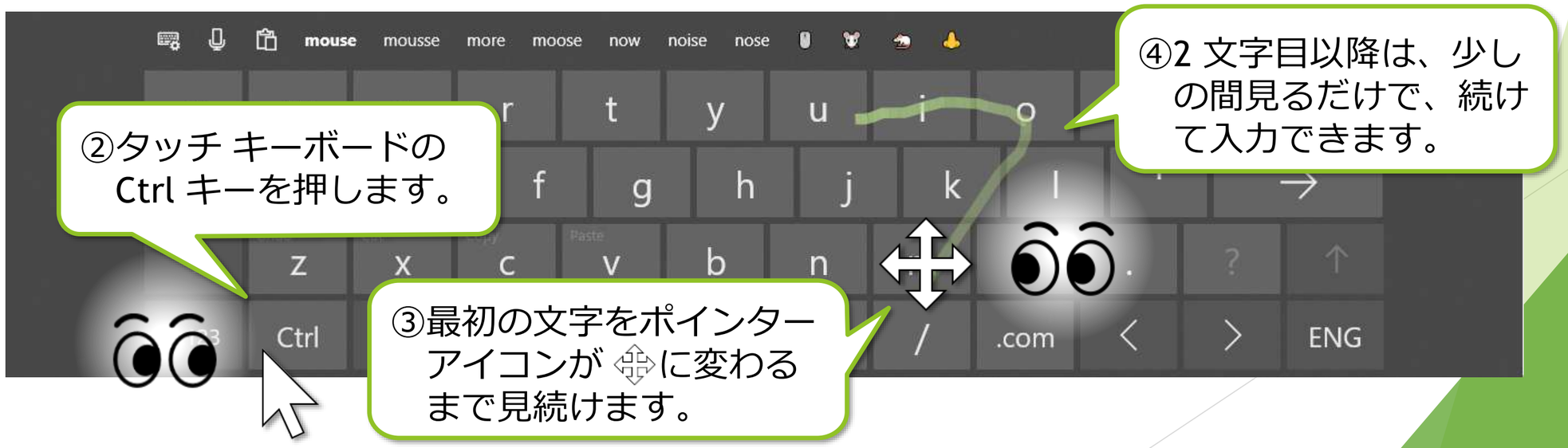
※ Windows 11 または Windows 10 の Microsoft Edge を使用したオンラインの音声では、SSML も SAPI TTS XML も使用できません。
※ Windows 7 では SSML で日本語は使用できません。

ヒント - スワイプによる文字入力の使用

Windows 11 または Windows 10 (October 2018 Update 以降) では、タッチ キーボードでスワイプして文字を入力できます。日本語は未対応です。

見るマウスでスワイプによる文字入力を使用するには、以下のようにしてください。

①見るマウスを [ドラッグ] に切り替えます。



②タッチ キーボードの Ctrl キーを押します。

③最初の文字をポインターアイコンが ✥ に変わるまで見続けます。

④2 文字目以降は、少しの間見るだけで、続けて入力できます。

ヒント - 50 音配列のキーボードの使用

Windows 11 のタッチ キーボードでは 50 音配列を使用できます。
タッチ キーボードの左上の アイコン > [キーボード レイアウト] > [50 音] を選ぶと、50 音配列になります。

※ Windows 10, Windows 8.1, Windows 7 のタッチ キーボードでは 50 音配列を使用できません。
※ スクリーン キーボードでは 50 音配列を使用できません。

ヒント - 他の PC の遠隔操作

VNC や Parsec、Moonlight などのリモート デスクトップ ソフトウェアを使用することで、見るマウスをインストールした Windows PC から他の PC を視線/頭部追跡で遠隔操作することができます。

ただし遠隔操作する他の PC に対しては、以下の機能制限があります。

- 本書 P.7 及び P.88 に記載しているスクロール機能は使用できません。
- 本書 P.7 に記載している、枠に少し「引っかかる」機能は使用できません。
- 本書 P.87 に記載している [クリックした項目のテキストを音声で読み上げる] の機能は使用できません。

※ もし Moonlight の [ゲームではなくリモートデスクトップにマウスを最適化] を有効にした場合は、本書 P.151 に記載の [ポインターの移動] も有効にしてください。

ヒント - 視線/頭部追跡装置無しでの使用

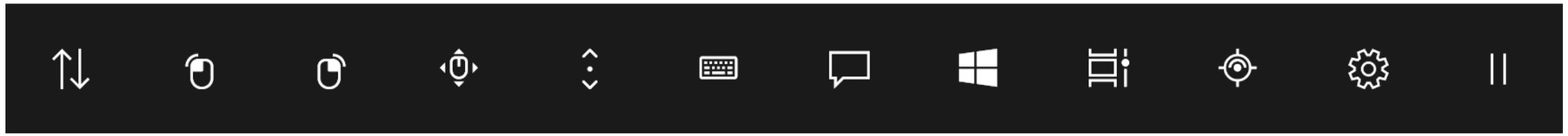
本書 P.61 の [マイクに向かって何か話したときにクリックする]、及び本書 P.81 の [ゲーム コントローラーのボタンを押したときにクリックする] の設定は、視線/頭部追跡装置無しでも機能します。

視線/頭部追跡装置が無い場合は、本書 P.85 でゲーム コントローラーの方向パッドまたは Xbox コントローラーの左スティックに [ポインターの移動] を割り当てると、方向パッドまたは左スティックでマウス ポインターを画面全体へ移動させることができます。

ただし視線/頭部追跡装置が無い場合は、以下の機能制限があります。

- 本書 P.35 に記載している [選ぶ] のクリック操作は使用できません。
- 本書 P.48 に記載している [同じ場所を見続けたときにクリックする]、[目を閉じたときにクリックする]、及び [見るために使用する目] の設定は機能しません。
- 本書 P.105 に記載している [ショートカット ボタンを見たときにのみキーを押す] の設定は機能しません。
- 本書 P.141 に記載している [キャリブレーション] は使用できません。
- 本書 P.151 に記載している [ポインターの移動] のショートカットは使用できません。
- 本書 P.195 に記載している [Windows の視線制御] のショートカットは使用できません。
- マウス操作でカメラを移動させるゲームをプレイ中など、画面上にマウス ポインターが表示されないときには、見るマウスのメイン ウィンドウ及び個別のウィンドウをクリックできない場合があります。

Windows の視線制御



Windows の視線制御 - 設定

Windows 標準の視線制御を Tobii Eye Tracker 5、Irisbond Duo、EyeTech TM5、TrackIR 5、Beam Eye Tracker、OpenTrack、VSeeFace、OpenSeeFace、iPhone/iPad または Android スマートフォン/タブレットで使用することができます。使用するには以下の手順で設定を行ってください。

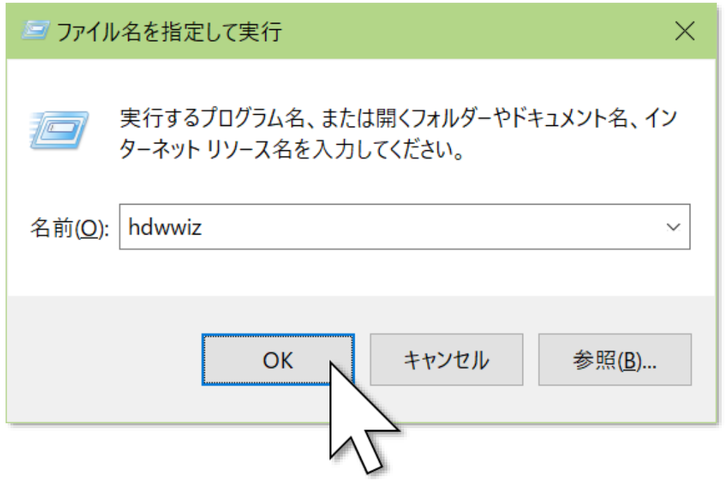
1. Microsoft 社が公開しているサンプル ドライバーの ZIP ファイルを、以下の URL からダウンロードします。
   https://github.com/MSREnable/GazeHid/raw/master/EyeGazeIoctl%20Driver.zip
2. ダウンロードした ZIP ファイルを、デスクトップなどの適当な場所に展開します。

※ この手順で Windows 標準の視線制御を使用するためには、Windows 11 または Windows 10 (Fall Creators Update 以降) の 64 ビット環境が必要です。

Windows の視線制御 - 設定

(続き)

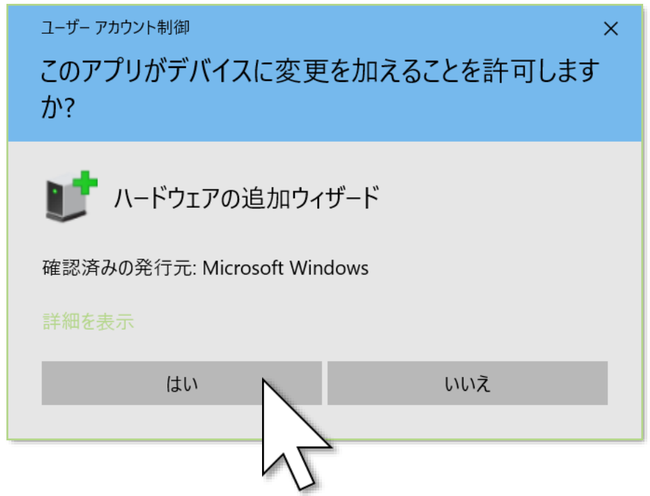
3. キーボードの Windows ロゴ キーを押したまま R キーを押します。
4. [ファイル名を指定して実行] の画面が表示されるので、[名前] に「hdwwiz」を入力して [OK] をクリックします。



Windows の視線制御 - 設定

(続き)

5. ユーザー アカウント制御の画面が表示されるので、[はい] をクリックします。

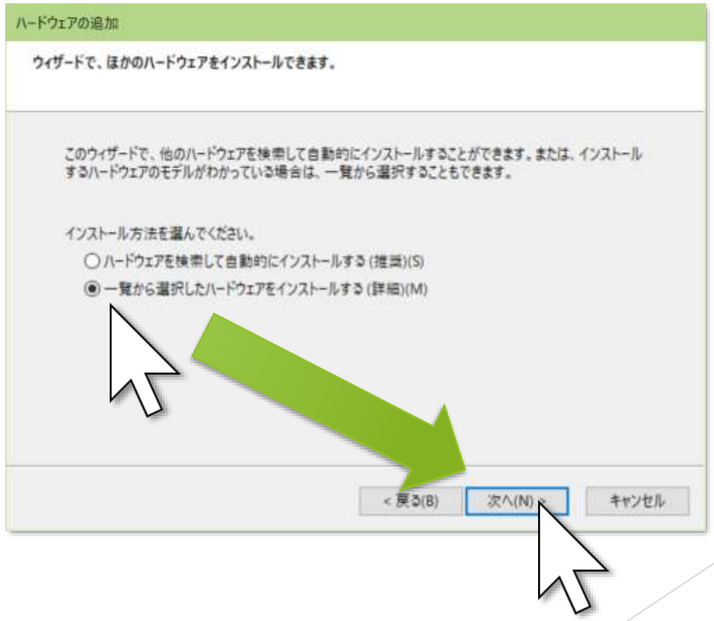


※ Windows の標準アカウントをお使いの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力する必要があります。

Windows の視線制御 - 設定

(続き)

6. [ハードウェアの追加] の画面が表示されるので、[次へ] をクリックします。
7. [一覧から選択したハードウェアをインストールする (詳細)] を選択して、[次へ] をクリックします。



Windows の視線制御 - 設定

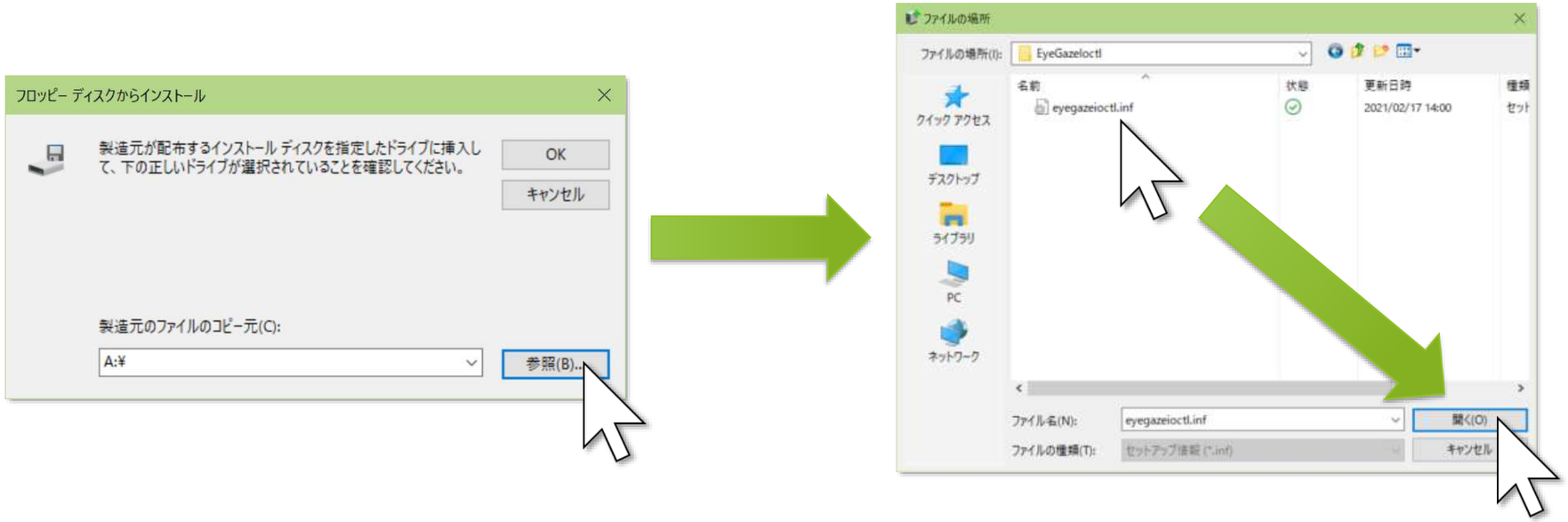
(続き)

8. [次へ] をクリックして、[ディスク使用] をクリックします。

Windows の視線制御 - 設定

(続き)

9. [参照] をクリックして、2. の手順で展開した場所の eyegazeioctl.inf を選択して [開く] をクリックします。

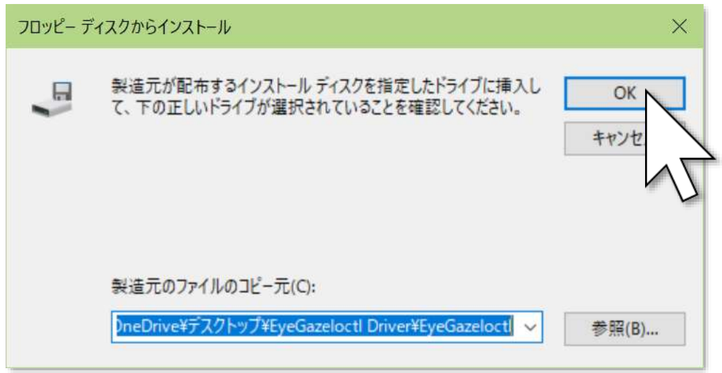


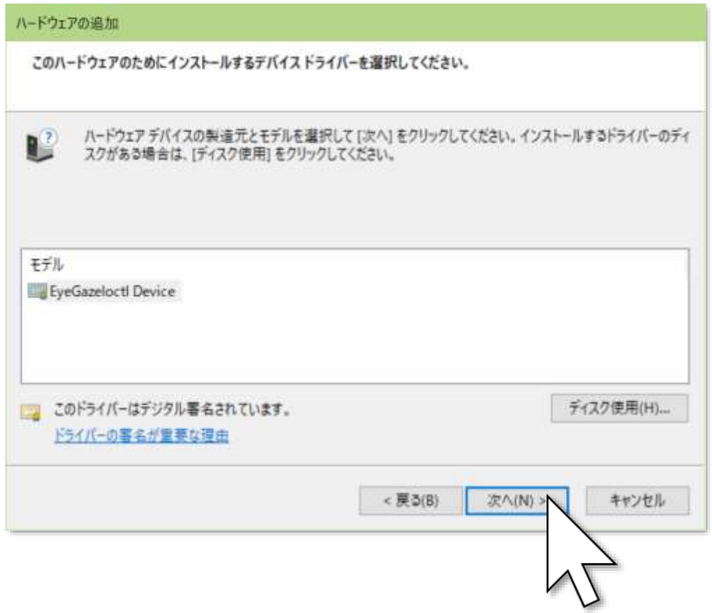
※ .inf が表示されない場合もあります。

Windows の視線制御 - 設定

(続き)

10. [OK] をクリックして、[次へ] をクリックします。

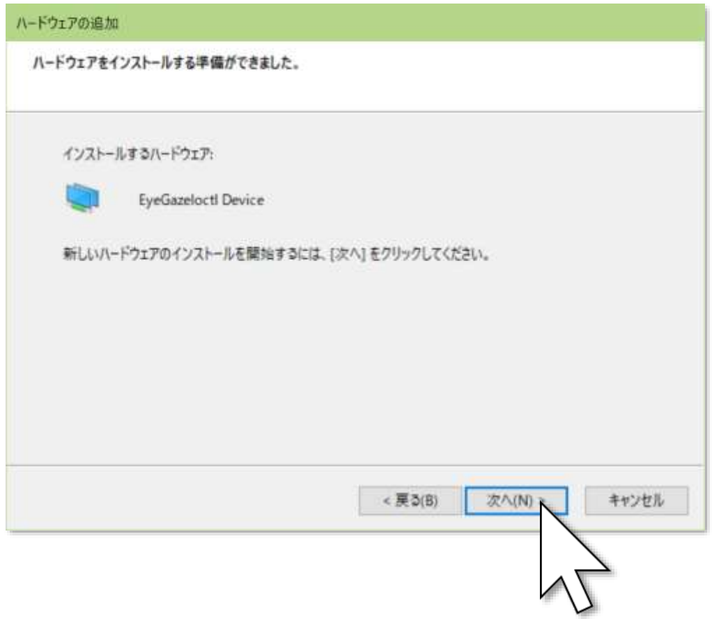


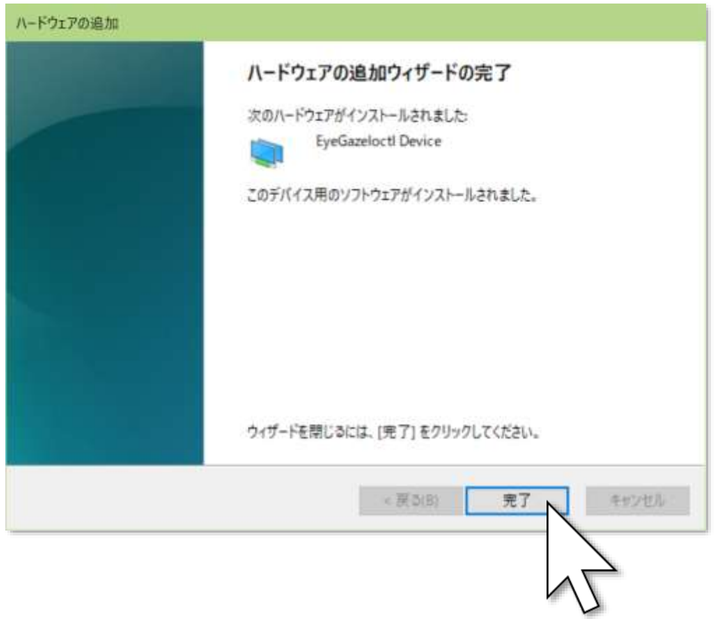


Windows の視線制御 - 設定

(続き)

11. [次へ] をクリックして、[完了] をクリックします。

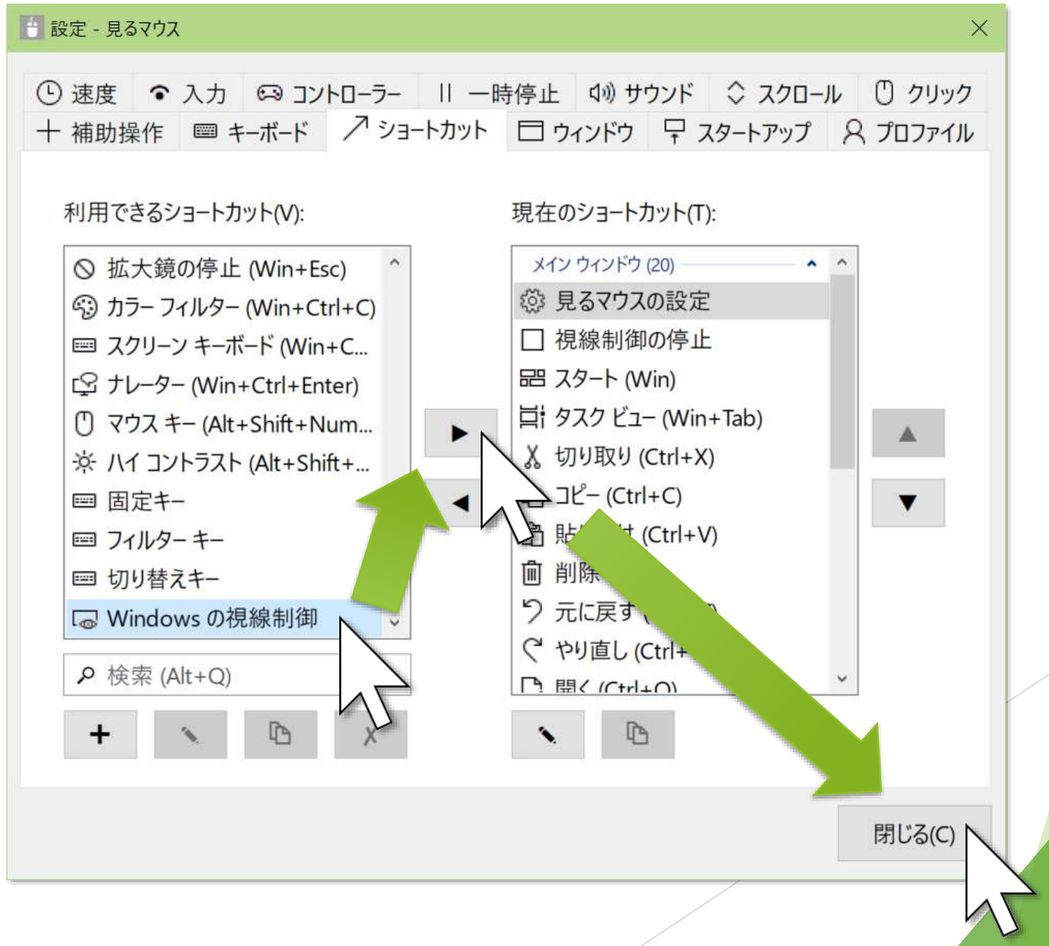




Windows の視線制御 - 設定

(続き)

12. 見るマウスを起動して、見るマウスの設定画面を開いて [ショートカット] へ移動します。
13. [利用できるショートカット] の下の方にある [Windows の視線制御] を選択して、▶ ボタンを押して [現在のショートカット] へ移動させて、[閉じる] をクリックします。



Windows の視線制御 - 設定

(続き)

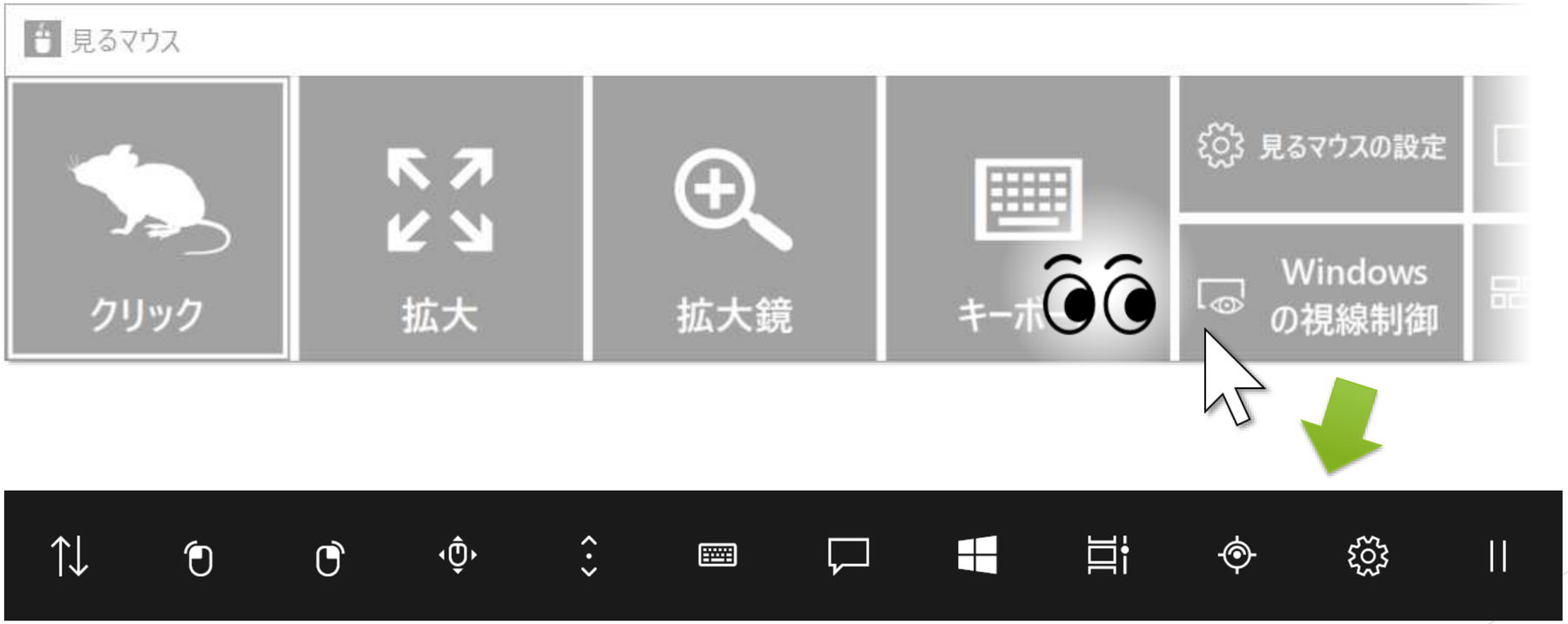
14. 見るマウスのウィンドウに [Windows の視線制御] が表示されます。

Windows の視線制御を使用するための設定は、これで完了です。

手順 1. でダウンロードした ZIP ファイルと手順 2. で展開したファイルは、削除して構いません。

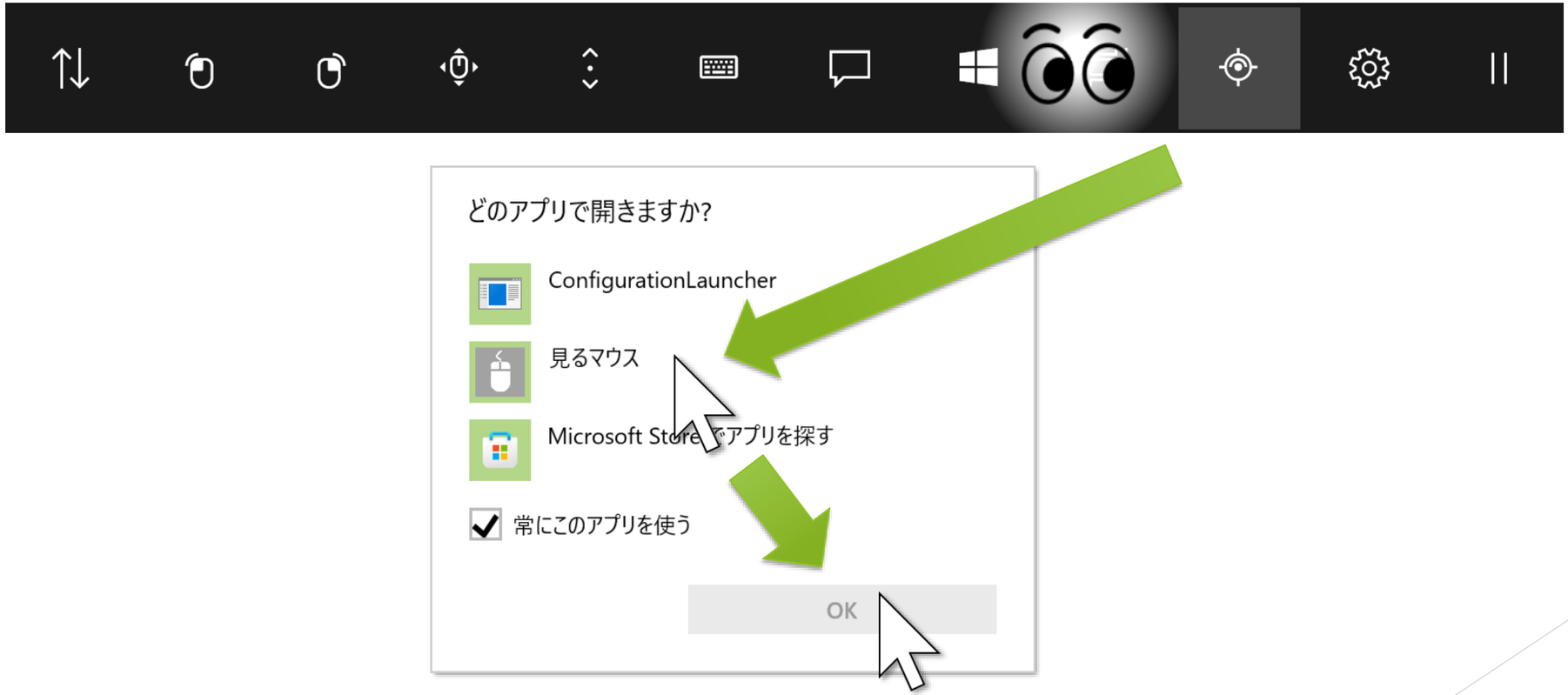
Windows の視線制御 - 使用方法

見るマウスのウィンドウに表示されている [Windows の視線制御] を選ぶと、Windows の視線制御用のパネルが表示されて機能を使用できるようになります。また、見るマウスのウィンドウは非表示になります。



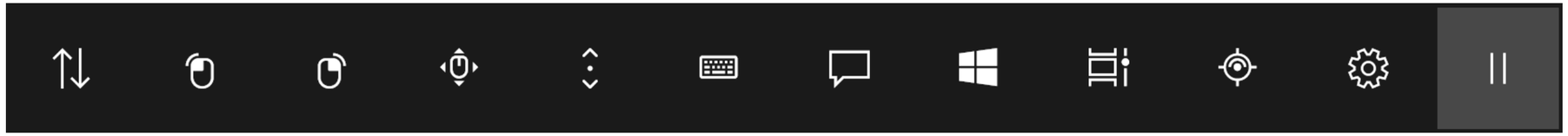
Windows の視線制御 - 使用方法

キャリブレーションの際に「どのアプリで開きますか?」と表示された場合は、[見るマウス] をクリックして [OK] をクリックしてください。



Windows の視線制御 - 終了方法

Windows の視線制御を終了して見るマウスへ戻るには、まず視線制御用のパネルの一番右にある一時停止アイコンを選びます。



次に、デスクトップ画面の左上隅を見ます。すると Windows の視線制御用のパネルは非表示になり、見るマウスのウィンドウが再表示されます。

これで、見るマウスへ戻ることができます。

※ タスク バーを上または左に配置している場合は、画面の右下隅を見てください。ただし、本書 P.122 の [画面上のメイン ウィンドウの既定の位置] を変更した場合は、その位置を見てください。

特記事項

アンインストール

見るマウスをアンインストールするには、コントロール パネルの [プログラムと機能] からアンインストールしてください。

また、Windows の視線制御を使用するために設定したサンプル ドライバーをアンインストールするには、デバイス マネージャーを開き、[Eye Tracking Devices] 内または [Sample Device] 内の EyeGazeIoctl Device を右クリックして、[デバイスのアンインストール] を選んでアンインストールしてください。

既知の問題

- 視線追跡装置として Tobii Eye Tracker 5 を使用した場合、33Hz 程度のかなり低いサンプリング レートで動作します。そのためマウス ポインターが滑らかに移動しません。
- 頭部追跡装置として SmartNav 4 を見るマウスで使用した場合、NaturalPoint 社の SmartNav Software は動作しなくなります。もし SmartNav Software を使用したい場合は、見るマウスを終了後に、お使いの PC に接続した SmartNav 4 の USB ケーブルを一度取り外して、接続し直してください。
- 一部のゲームでは、[ポインターの移動] のショートカットを利用しても、見ている所にマウス ポインターが移動しません。

制限事項とサード パーティに関する通知

- 見るマウスはフリー ソフトです。本アプリの使用に起因するいかなる事態に対しても、作者 topolo-Z は責任を負いかねます。
- 同梱の gcdapi.dll は、Jefferson Koppe 氏が開発したものです。
  https://www.consoletuner.com/kbase/device_api.htm
- 同梱の IrisbondAPI.dll 及び PGRFlyCapture.dll は、IRISBOND CROWDBONDING 社が開発した SDK に含まれているものです。
  https://www.irisbond.com/en/
- 同梱の QuickLink2.dll は、EyeTech Digital Systems 社が開発した SDK に含まれているものです。
  https://eyetechds.com/
- 同梱の ViGEmClient.dll は、Nefarius Software Solutions 社が開発したものです。
  https://github.com/nefarius/ViGEmClient

制限事項とサード パーティに関する通知

(続き)

- 見るマウスは Vosk 及び Small モデルの言語データをダウンロードして使用しています。Vosk は Alpha Cephei 社が開発したものです。
  https://github.com/alphacep/vosk-api

  また Small モデルの各言語データのライセンスは、以下の URL の通りです。
  https://alphacephei.com/vosk/models
- 見るマウスは VMC Protocol を使用しています。
  https://protocol.vmc.info/
- 見るマウスは oscpack を使用しています。以下の URL の “Terms of use” に従います。
  http://www.rossbencina.com/code/oscpack/
- ネズミのシルエットの著作権は、フロップデザインに帰属します。
  作者 topolo-Z がフロップデザインのシルエット素材を購入して使用しています。
  https://www.flopdesign.com/

作者への連絡先

- 作者: topolo-Z
- メール アドレス: topolo-z@outlook.jp
- ホーム ページ: https://millmouse.wordpress.com/
  https://mill-mouse.blogspot.com/

付録 - ショートカット キー

見るマウスで利用できるショートカット キーは、以下の 86 種類です。

- スタート (Windows ロゴ キー)
- クイック設定 (Windows ロゴ キー+A)
- デスクトップの表示 (Windows ロゴ キー+D)
- エクスプローラー (Windows ロゴ キー+E)
- 設定 (Windows ロゴ キー+I)
- キャスト (Windows ロゴ キー+K)
- ロック (Windows ロゴ キー+L)
- 回転ロック (Windows ロゴ キー+O)
- 映す (Windows ロゴ キー+P)
- ファイル名を指定して実行 (Windows ロゴ キー+R)
- すべての場所の検索 (Windows ロゴ キー+S)
- クリップボード (Windows ロゴ キー+V)
- ウィジェット (Windows ロゴ キー+W)
- 絵文字 (Windows ロゴ キー+ピリオド(.))
- システム (Windows ロゴ キー+Pause)
- タスク ビュー (Windows ロゴ キー+Tab)
- 最大化 (Windows ロゴ キー+↑)
- 最小化 (Windows ロゴ キー+↓)
- 左にスナップ (Windows ロゴ キー+ ←)
- 右にスナップ (Windows ロゴ キー+ →)

付録 - ショートカット キー

(続き)

- 音声アクセス (Windows ロゴ キー+Ctrl+S)
- 日付と時刻 (Windows ロゴ キー+Alt+D)
- 画面領域切り取り (Windows ロゴ キー+Shift+S)
- Ctrl キーを押したままにする
- すべて選択 (Ctrl+A)
- コピー (Ctrl+C)
- 新規作成 (Ctrl+N)
- 開く (Ctrl+O)
- 印刷 (Ctrl+P)
- 保存 (Ctrl+S)
- 貼り付け (Ctrl+V)
- 切り取り (Ctrl+X)
- やり直し (Ctrl+Y)
- 元に戻す (Ctrl+Z)
- 拡大 (Ctrl+正符号(+))
- 縮小 (Ctrl+負符号(-))
- アプリの切り替え (Ctrl+Alt+Tab)
- タスク マネージャー (Ctrl+Shift+Esc)
- 閉じる (Alt+F4)
- ホーム (Alt+Home)

付録 - ショートカット キー

(続き)

- 戻る (Alt+ ←)
- 進む (Alt+ →)
- Shift キーを押したままにする
- ヘルプ (F1)
- 名前の変更 (F2)
- 検索 (F3)
- 更新 (F5)
- 全画面表示 (F11)
- Backspace キー (Backspace)
- コンテキスト メニュー
- 削除 (Del)
- Enter キー (Enter)
- Esc キー (Esc)
- スクリーンショット (Print Screen)
- スペース キー (Space)
- Tab キー (Tab)
- 上矢印キー (↑)
- 下矢印キー (↓)
- 左矢印キー (←)
- 右矢印キー (→)

付録 - ショートカット キー

(続き)

- メール
- Web ブラウザー
- 明るくする
- 暗くする
- 再生/一時停止
- 停止
- 前のトラック
- 次のトラック
- ミュート
- 音量を上げる
- 音量を下げる
- 電源
- スリープ

付録 - ショートカット キー

(続き)

- アクセシビリティ (Windows ロゴ キー+U)
- 拡大鏡の拡大 (Windows ロゴ キー+正符号(+))
- 拡大鏡の縮小 (Windows ロゴ キー+負符号(-))
- 拡大鏡の停止 (Windows ロゴ キー+Esc)
- カラー フィルター (Windows ロゴ キー+Ctrl+C)
- スクリーン キーボード (Windows ロゴ キー+Ctrl+O)
- ナレーター (Windows ロゴ キー+Ctrl+Enter)
- マウス キー (左 Alt+左 Shift+Num Lock)
- ハイ コントラスト (左 Alt+左 Shift+Print Screen)
- 固定キー
- フィルター キー
- 切り替え キー
- Windows の視線制御

付録 - ショートカット キー

- ※ [クイック設定] (Windows ロゴ キー+A) は Windows 11 でのみ利用できます。Windows 10 では代わりに [アクション センター] (Windows ロゴ キー+A) を利用できます。Windows 8.1 では代わりに [チャーム] (Windows ロゴ キー+C) を利用できます。Windows 7 では代わりになるショートカット キーはありません。
- ※ [設定] (Windows ロゴ キー+I)、[キャスト] (Windows ロゴ キー+K)、[回転ロック] (Windows ロゴ キー+O)、[すべての場所の検索] (Windows ロゴ キー+S) は Windows 11, Windows 10, Windows 8.1 でのみ利用できます。Windows 7 では代わりになるショートカット キーはありません。
- ※ [クリップボード] (Windows ロゴ キー+V)、[絵文字] (Windows ロゴ キー+ピリオド(.))、[画面領域切り取り] (Windows ロゴ キー+Shift+S)、[カラー フィルター] (Windows ロゴ キー+Ctrl+C)、[スクリーン キーボード] (Windows ロゴ キー+Ctrl+O) は Windows 11 と Windows 10 でのみ利用できます。Windows 8.1 と Windows 7 では代わりになるショートカット キーはありません。
- ※ [ウィジェット] (Windows ロゴ キー+W) は Windows 11 でのみ利用できます。Windows 10 では代わりに [Windows Ink ワークスペース] (Windows ロゴ キー+W) を利用できます。Windows 8.1 と Windows 7 では代わりになるショートカット キーはありません。
- ※ [音声アクセス] (Windows ロゴ キー+Ctrl+S) は Windows 11 2024 Update 以降でのみ利用できます。Windows 11 2023 Update 以前と Windows 10 では代わりに [音声認識] (Windows ロゴ キー+Ctrl+S) を利用できます。 Windows 8.1 と Windows 7 では代わりになるショートカット キーはありません。
- ※ [日付と時刻] (Windows ロゴ キー+Alt+D) は Windows 10 でのみ利用できます。Windows 11, Windows 8.1, Windows 7 では代わりになるショートカット キーはありません。

付録 - ショートカット キー

- [最大化] (Windows ロゴ キー+↑) と [最小化] (Windows ロゴ キー+↓) は、Windows 8.1 または Windows 7 でコントロール パネルの [コンピューターの簡単操作センター] の [ウィンドウが画面の端に移動されたとき自動的に整列されないようにします] が有効な場合には効きません。(Windows 8.1 のストア アプリを除く)
- [左にスナップ] (Windows ロゴ キー+ ←) と [右にスナップ] (Windows ロゴ キー+ →) は、コントロール パネルの [コンピューターの簡単操作センター] の [ウィンドウが画面の端に移動されたとき自動的に整列されないようにします] が有効な場合には効きません。(Windows 8.1 のストア アプリを除く)
- [タスク ビュー] (Windows ロゴ キー+Tab) は Windows 11 と Windows 10 でのみ利用できます。Windows 8.1 では代わりに [最近使ったアプリ] (Windows ロゴ キー+Ctrl+Tab)、Windows 7 では代わりに [フリップ 3D] (Windows ロゴ キー+Ctrl+Tab) を利用できます。
- [アプリの切り替え] (Ctrl+Alt+Tab) は、Windows 7 で Windows クラシック テーマまたはハイ コントラスト テーマを使用している場合には効きません。
- [回転ロック] (Windows ロゴ キー+O)、[明るくする]、[暗くする] は、お使いの PC のディスプレイによっては効かない場合があります。
- [電源] と [スリープ] を選んだときの動作は、コントロール パネルの [電源オプション] の [電源ボタンを押したときの動作] と [スリープ ボタンを押したときの動作] で設定した動作になります。
- 拡大鏡をショートカット キーで開始するには、[拡大鏡の拡大] (Windows ロゴ キー+正符号(+)) を使用します。このとき、拡大鏡は全画面表示で開始します。

付録 - ショートカット キー

※ [ナレーター] (Windows ロゴ キー+Ctrl+Enter) は Windows 11 と Windows 10 でのみ利用できます。Windows 8.1 では代わりに Windows ロゴ キー+Enter でナレーターを利用できます。Windows 7 では代わりになるショートカット キーはありません。

※ [カラー フィルター] (Windows ロゴ キー+Ctrl+C)、[マウス キー] (左 Alt+左 Shift+Num Lock)、[ハイ コントラスト] (左 Alt+左 Shift+Print Screen)、[固定キー]、[フィルター キー]、[切り替えキー] は、コントロール パネルの [コンピューターの簡単操作センター] または Windows 11, Windows 10 の設定でキーボード ショートカットを無効にしている場合には効きません。

※ [Windows の視線制御] は Windows 11 と Windows 10 (Fall Creators Update 以降) でのみ利用できます。Windows 8.1 と Windows 7 では代わりになるショートカットはありません。